

令和6年版

消 防 年 報



塩釜地区消防事務組合消防本部
(令和7年刊行)

は じ め に

この年報は、塩釜地区消防事務組合における令和6年中の消防現勢及び消防諸般の状況を統計的に収録したものです。

本書は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化の参考に資するとともに、本組合消防の実態を広く一般に紹介することを目的として編集しました。

本書の記載内容で予算に関するものは会計年度、消防統計的なものについては暦年として編集しましたが、表中に年月日を明示したものについては、その時点での現況です。

その他の表につきましては、特に記載のない限り、令和7年4月1日現在をもって収録しました。

何とぞ御高覧の上、今後とも消防行政に対しまして深い御理解とより一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年10月

塩釜地区消防事務組合消防本部

目 次

○ 塩釜地区消防事務組合管内位置図	1
○ 塩釜地区消防事務組合構成市町の概要	2
○ 塩釜地区消防事務組合一目統計	3
○ 令和6年度の主な行事等	4
○ 塩釜地区消防事務組合の沿革	8
○ 塩釜地区消防事務組合組織図	21
○ 本部庁舎・消防署等位置・管内情勢	22

第 1 編 総 務

○ 令和7年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算(当初予算)	23
○ 構成市町負担金状況	23
○ 組合予算と職員数・人口・世帯数の推移	24
○ 組合議会等・歴代消防長	25
○ 職員配置状況	26
○ 職員年齢状況	26
○ 救急救命士階級構成表	26
○ 消防救助隊の編成	26
○ 職員資格取得状況	27
○ 職員研修状況	27

第 2 編 予 防

○ 用途別建築同意処理状況	28
○ 市町別建築同意処理状況	28
○ 防火対象物数	29
○ 危険物施設数	30
○ 危険物廃止届出数	30
○ 第四類危険物の貯蔵取扱許可数量	31
○ 第四類以外危険物の貯蔵取扱許可数量	31
○ 市町別危険物施設の許可及び検査状況	32
○ 石油コンビナート等特別防災区域概要	33

第3編 警 防

○ 消防水利現況・消火薬剤保有状況	35
○ 消防車両等の現況(その1)	36
○ 消防車両等の現況(その2)・消防車両等配置状況	37
○ 消防資機材保有状況(その1)	38
○ 消防資機材保有状況(その2)	39
○ 救急資器材保有状況	40
○ 組合管内各市町消防団現況	41
○ 組合管内各市町消防団機械器具現況	41

第4編 指 令

○ 通信施設配置状況	42
○ 無線通信施設	42
○ 消防緊急通信指令システム図	43
○ 通信指令装置の機能概要	44
○ その他の機器の概要	45
○ 災害受付状況・応急手当の口頭指導実施状況(1～6月)	46
○ 災害受付状況・応急手当の口頭指導実施状況(7～12月)	47

第5編 火 災 統 計

○ 令和6年の火災概要	48
○ 火災の概況	49
○ 市町別火災概況	50
○ 月別火災発生状況	51
○ 四季別火災発生状況	51
○ 火災件数と損害額	52
○ 出火原因別の火災発生状況	52
○ 初期消火状況	53
○ 「放火・放火の疑い」の発生状況	53
○ 死傷者の発生状況	54
○ その他	55
○ 過去5年間の火災発生状況	56
○ 過去10年間の主な火災	58

第6編 救急統計

○ 令和6年の救急概要	59
○ 市町別救急発生状況・市町事故別救急発生状況	60
○ 救急発生状況の推移	61
○ 事故別救急発生状況	61
○ 月別救急発生状況	62
○ 時間別救急発生状況	62
○ 曜日別救急発生状況	63
○ 年齢区分別搬送状況	63
○ 年代別性別搬送状況	64
○ 傷病程度別搬送状況	64
○ 現場到着所要時間別出場状況	65
○ 収容所要時間別搬送状況	65
○ 医療機関別搬送状況	66
○ 救急隊事故別救急発生状況	67
○ 診療科目別搬送状況	67
○ 救急隊員の行った応急処置等の状況	68
○ 応急手当の普及状況	69
○ 過去5年間の市町別救急発生状況	70
○ 過去の主な救急事故	71
○ 市町別救急活動支援出動状況	73
○ 救急活動支援種別出動状況	73

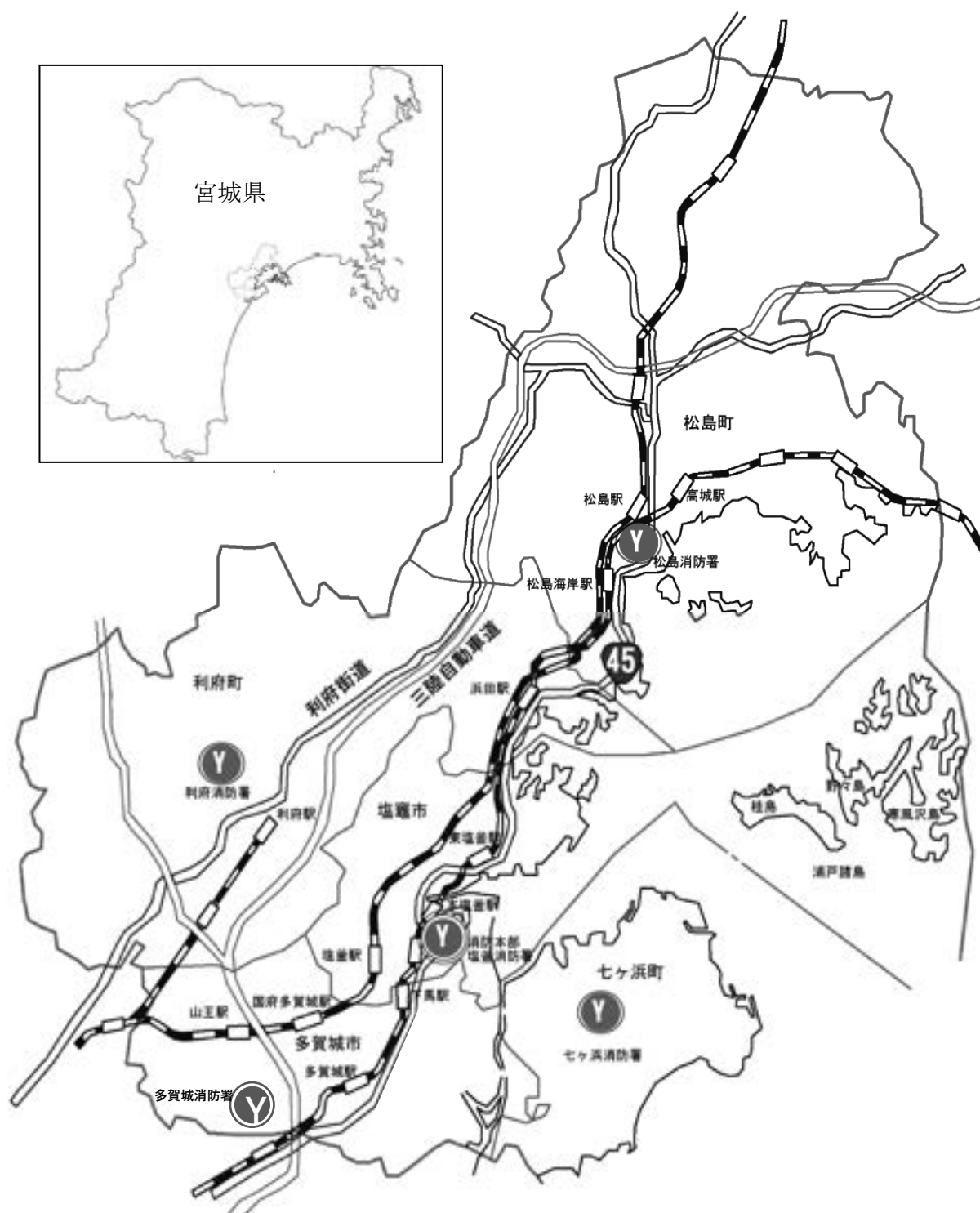
第7編 救助統計

○ 令和6年の救助概要	74
○ 市町別出動状況	75
○ 事故種別出動状況	75
○ 月別救助出動件数・救助人員	76
○ 時間別救助出動状況	76
○ 曜日別救助出動状況	76

第8編 協力団体

○ 塩釜地区防災安全協会	77
○ 塩釜地区防火委員会	78
○ 塩釜地区女性防火クラブ連合会	78
○ 塩釜地区少年消防クラブ連絡協議会	79
○ 塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会	79
○ 宮城県消防協会塩釜地区支部	80
○ 令和7年度塩釜地区統一防火標語入選作品	81
○ 第48回塩釜地区防火書道展最優秀作品	81

塩釜地区消防事務組合管内位置図



塩釜地区消防事務組合構成市町の概要

塩釜地区消防事務組合は、塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町及び利府町の二市三町で構成されています。管内面積は148.71㎢で、職員定数は232名、1消防本部・5消防署・事務局(2課)で構成されています。

管内の特色は、中世の時代から宗教・政治・交通・廻船の要所として栄えてきた歴史があり、現在は観光・水産都市として賑わう沿岸部、浦戸諸島という4つの有人島と複数の無人島を含めた島しょ地域、職住近接型のニュータウンに加えて、東北の各都市へのエネルギーを供給する役割を持つ石油コンビナート区域も有しており、東北地方の要ともいえる地域でもあります。

塩 竈 市

陸奥の「国府多賀城」の荷揚げ港として、また、鹽竈神社の門前町として古くから栄えてきた塩竈市は、商工、観光港と合わせて、特定重要港、特定第三種漁港の指定を受ける港湾・水産都市であります。管内においては、行政、産業経済、交通の面で中心的役割を担っています。

多 賀 城 市

8世紀前半、陸奥の国府が置かれた多賀城市は、管内最古の歴史を持ち、文化をはぐくむ史跡のまちの整備がなされております。また、仙台港の開港とともに仙台湾臨海部における大型工業拠点都市としての役割を担っており、更には、多賀城駅周辺地域の開発整備や八幡地区の津波復興拠点の整備が進んでいます。

松 島 町

日本三景の一つ松島町は、古くから景勝地として知られ、瑞巖寺や五大堂など、多くの文化財と、観光施設、宿泊施設を有し、国内外から多くの観光客が訪れる観光地として訪れる人々を魅了しております。沿岸部では、かき養殖等の浅海漁業、北部では稲作を中心とした農業が盛んで、観光業をはじめ、農林業、漁業、商工業など、様々な産業がバランス良く発達し、町の活力を支えています。

七 ヶ 浜 町

三方を海に囲まれた七ヶ浜町は、明治時代から避暑地として多くの外国人に愛され、現在も七ヶ浜国際村を拠点に国際交流が盛んに行われています。また、菖蒲田海水浴場、松島四大観「多聞山」など豊かな自然と景観、豊富な水産資源に恵まれ、ひとと自然が調和したまちづくりが進められております。

利 府 町

緑地に囲まれた利府町は、かつては農業(稲作・梨栽培)が主産業の町であったが、現在は商工業が盛んな町へと変貌を遂げています。職住近接型ニュータウン整備に伴い、多くの人が移住し、人口も増加傾向にあります。また、自然を生かした県民のいこいの場、大型運動施設を中心とした生涯スポーツ振興などにも力を入れています。

一 目 統 計

面 積	人 口	世 帯 数	消 防 予 算
148.71km²	179,655人	79,950世帯	3,886,753千円
塩竈市 17.38km ² 多賀城市 19.69km ² 松島町 53.56km ² 七ヶ浜町 13.19km ² 利府町 44.89km ²	塩竈市 51,726人 多賀城市 61,628人 松島町 12,885人 七ヶ浜町 17,553人 利府町 35,863人	塩竈市 24,416世帯 多賀城市 28,380世帯 松島町 5,723世帯 七ヶ浜町 6,954世帯 利府町 14,477世帯	一人当たり 21,635円 一世帯当たり 48,618円

(令和7年4月1日現在)

庁 舎 等	消 防 職 員	保 有 車 両
消防本部 1 消防署 5 資機材倉庫 1	条 例 定 数 220人 実 員 199人 (男性190人、女性9人) 平 均 年 齢 36.9歳 平均勤続年数 16.1年	ポ ン プ 車 9台 救 助 工 作 車 1台 化 学 車 3台 消 防 艇 1艇 大 型 水 槽 車 1台 救 急 車 9台 は し ご 車 2台 そ の 他 21台

※実員は定数外（派遣者等）を除く。

(令和6年分)

火 災	救 急	救 助	119 番 通 報 件 数
火災件数 53件	救急件数 10,505件 搬送人員 9,930人	救助件数 51件 救助人員 54人	総通報件数 14,427件
建物火災 27件 林野火災 0件 車両火災 5件 船舶火災 0件 その他火災 21件	平均現場到着所要時間 8分37秒 平均病院等収容所要時間 47分32秒	火 災 4件 交通事故 10件 水難事故 2件 建物事故 22件 機械事故 1件 その他 12件	固定電話 5,750件 携帯電話 7,456件 加入電話 1,092件 その他 129件

防 火 対 象 物	危 険 物 施 設	消 防 団 員	消 防 水 利
3,933棟	1,088施設	699人	総計 3,623
特定防火対象物 1,145棟 非特定防火対象物 2,788棟	製造所 2施設 貯蔵所 892施設 取扱所 194施設	塩竈市塩竈 70人 塩竈市浦戸 48人 多賀城市 141人 松島町 182人 七ヶ浜町 177人 利府町 81人	消火栓 2,798 防火水槽 668 その他 157

令和6年度の主な行事等

月 日	記 事
令和6年 4月18日	管理者通常点検(消防本部)   ▲管理者通常点検① ▲管理者通常点検② 職員の厳正な規律保持と士気高揚を目的とした「管理者・消防長通常点検」を実施
7月2日	第48回宮城県消防救助技術指導会出場   ▲ロープブリッジ渡過 水平に展張されたロープ20mを、往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過で渡る。 ▲ロープブリッジ救出 建物や河川の中州等に取り残された要救助者を救出することを想定した訓練。  ▲障害突破 災害現場の様々な障害を想定し、いかなる状況下でも対応することを目的とした訓練。
7月17日	第52回東北地区支部消防救助技術指導会(水上の部)出場  ◀溺者救助 水難事故を想定した訓練で、救助者、補助者の2名で救出する。

月 日	記 事
8 月 23 日	第52回全国消防救助技術大会(水上の部)出場  ◀ 基本泳法 顔を水面につけず、傷病者のもとへ救助に向かう訓練。救助者の泳力が求められる。
11 月 8 日	消防救急艇「あさぎり」譲渡式   ▲管理者あいさつ ▲記念撮影 消防救急艇「あさぎり」は、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合様にて、離島災害における救急艇として活躍していました。しかし、気仙沼大島大橋の全面供用の開始とともに、その役目を終えていましたが、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合様のご厚意により当組合へ無償で譲渡いただけることになり、塩竈市津波防災センターにおいて譲渡式を執り行った。
11 月 2 日 11 月 3 日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(秋田県秋田市)   ▲各部隊活動状況 地震により土砂内に取り残された要救助者の救助を想定した訓練 ▲各部隊活動状況 交通事故車両から住民を救助資機材を使用して救助し、救護テントまでの搬送を想定した訓練 秋田県沿岸南部を震源とする内陸直下型地震による建物倒壊、火災、交通事故、土砂災害、液状化、地盤沈下等の人的、物的ともに甚大な被害を想定し、実践的かつ効果的な訓練を実施。緊急消防援助隊宮城県大隊陸上隊等の活動を円滑に行うため、各関係機関との連携活動能力の向上を図ることを目的に実施した。

月 日	記 事
11 月 21 日	防災講演会(七ヶ浜国際村)   東北大学災害科学国際研究所から講師を招き、「災害時の人間の心理と行動～人は何を思い、どう行動するのか～」と題し、講演をいただいた。
12 月 19 日 12 月 20 日	令和6年度警防研修会(運転技術向上研修)   ▲実車を用いて、日常点検ポイントの説明 ▲模型を使用した構造説明 大型自動車の「車両構造及び日常管理」に関する基礎知識や管理上のポイントについて、製造メーカーから講師を招き、消防自動車の日常における適切な管理と災害現場における最高性能を発揮した警防活動の向上を目的に専門知識の教養と技術指導をいただいた。
11 月 29 日	火災調査実務講習会   ▲「鑑識要領について」の講義 ▲リチウムイオン電池の鑑識見分を実施 総務省消防庁消防大学校消防研究センターから講師を招き、火災調査業務の諸般の能力向上及び火災調査究明率の向上を目的とし、「鑑識要領について」をテーマに実技を含めた講義をいただいた。

月 日	記 事
2 月 4 日 2 月 5 日	救急実技訓練   坂総合病院救急科長を指導医として迎え、救急現場を想定して現場に則した一連の活動をシミュレーション形式で実施。救急隊の基本的な現場活動における安全管理、傷病者の観察、病態判断、関係者への説明、接遇、救命処置等の技術のほか、適切な病院選定等について指導医の検証を受け救急活動の標準化を図るための訓練を行った。
2 月 25 日 2 月 26 日	令和6年度警防研修会(火災性状・放水技術研修)   ▲火災性状の確認 ▲放水器具を用いた放水技術研修 近年の住宅等における建物構造変化(防火・耐火性能)に応じた更なる効果的な火災防ぎょ活動及び安全管理能力を向上させることを目的に、宮城県消防学校の実火災体験型施設を活用し、火災性状の確認及び状況に応じた放水技術等の訓練を実施した。
3 月 1 日 ～ 3 月 7 日	春の火災予防運動に伴う 火災予防普及啓発活動(消防本部及び各消防署)   ▲防災フェス消防ひろば(消防本部・利府消防署) ▲チャレンジ!こども消防隊(多賀城消防署) 火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることを目的に火災予防運動期間を中心に火災予防普及啓発活動を実施。消防本部及び利府消防署では、防災フェス消防ひろばを、多賀城消防署では、梯子車乗車体験をはじめ、防火衣の着衣体験などを含めた「チャレンジ!こども消防隊」を幼少期の防火教育の一環として開催するなど、各消防署で運動を実施した。

塩釜地区消防事務組合の沿革

年 号	月 日	記 事
昭和45年	4 月 1 日	・塩竈市、多賀城町、松島町、七ヶ浜町、利府町の1市4町で、塩釜地区消防事務組合を設立し、塩竈市に消防本部、1消防署、1出張所、多賀城町に1分署を設置、消防車6台、救急車2台、消防艇1隻、職員定数120名(実員80名)で発足 ・初代消防長に大沼盛就任
	7 月 9 日	職員3名採用し、実員83名となる。
	7 月 22 日	消防副士長制度を採用
昭和46年	2 月 2 日	多賀城町鶴ヶ谷字内手2番地の1に多賀城消防分署庁舎完成移転し、業務を開始(ポンプ車2台、救急車1台、職員19名)
	3 月 23 日	指令車(トヨタクラウン 2,000cc)を更新し、消防本部に配置
	4 月 1 日	職員38名採用し、実員120名となる。
	6 月 16 日	塩竈市尾島町17番22号に消防本部、塩釜消防署庁舎完成し、業務を開始(ポンプ車3台、救急車1台、指令車1台、広報車1台、職員44名)
	11 月 20 日	七ヶ浜町吉田浜字野山15番地の45に七ヶ浜出張所を開設(ポンプ車1台職員6名)
昭和47年	11 月 26 日	松島町磯崎字浜1に松島出張所を開設(ポンプ車2台、広報車1台、職員17名)
	12 月 1 日	利府町利府字大町20番地に利府出張所を開設 (ポンプ車1台、職員6名)
	1 月 1 日	多賀城市市制施行に伴い、多賀城分署を消防署に、松島出張所を分署に昇格
	4 月 1 日	消防施設整備第一期計画を作成、定数条例2名(消防吏員以外の職員)を増員し122名とする。
昭和48年	11 月 21 日	普通消防ポンプ自動車(ニッサン130馬力)1台を購入し、塩釜消防署に配置
	3 月 27 日	40t級化学消防艇「まつしま」を建造、一本松出張所に配置し、消防艇「うらしお」を廃艇
	4 月 1 日	・二代消防長に児玉金七就任 ・消防施設整備第二期計画に基づき、定数条例6名を増員し128名とする。
	6 月 15 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け多賀城消防署に配置
	11 月 5 日	農協共済連合会から3B型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
昭和49年	12 月 1 日	松島分署救急業務を開始
	2 月 12 日	18m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し塩釜消防署に配置
	4 月 1 日	消防施設整備第二期計画に基づき条例定数6名を増員し、134 名とする。
昭和50年	4 月 1 日	定数条例2名を増員し、136名とする。
	6 月 10 日	塩釜港石油基地防災協議会から化学ポンプ自動車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	6 月 28 日	松島町松島字蛇ヶ崎右53番地に松島分署新庁舎完成移転し、業務を開始
昭和51年	8 月 1 日	三代消防長に板宮秀夫就任
	12 月 1 日	特別消防隊(隊員20名) 発足、初代隊長に鹿新吉就任
	2 月 13 日	トヨタ2B型救急車を購入(更新)し、松島分署に配置
	3 月 15 日	塩釜港石油基地防災協議会と塩竈市との協定により一本松出張所に泡原液貯蔵タンク(10kℓ容量)1基建設
	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画を作成、定数条例8名増員し、144 名とする。
	4 月 21 日	日本損害保険協会からトヨタ2B型救急車の寄贈を受け多賀城消防署に配置
	8 月 17 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け塩釜消防署に配置

年 号	月 日	記 事
昭和51年	10 月 1 日	多賀城市山王字中山王23番地の2に多賀城消防署西部出張所を開設 (ポンプ車1台、職員8名)
昭和52年	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画に基づき、定数条例5名を増員し、149 名とする。
	4 月 12 日	指令車(トヨタクラウン 2,000cc)を更新し、消防本部に配置
	12 月 20 日	塩釜地区消防事務組合職員章を制定
昭和53年	1 月 31 日	消防本部庁舎裏に救助訓練塔完成
	2 月 1 日	消防音楽隊(隊員22名)発足、初代隊長に山路一郎就任
	3 月 14 日	水槽付消防ポンプ自動車購入し、松島分署に配置
	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例8名増員し、157 名とする。
	6 月 12 日	17時14分宮城県沖地震発生(震度5マグニチュード7.4)管内で死者5名負傷者62 名、倒壊家屋多数、その他塩釜地区石油コンビナート地域においてもタンクの破損、 また東北石油の原油タンク破壊など大きな被害をもたらした。
	9 月	第1回消火技術コンクールを開催(月見ヶ丘スポーツ広場)
	9 月 7 日	日本消防協会から2B型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	10 月 1 日	七ヶ浜町吉田浜字野山5番地の56に七ヶ浜出張所新庁舎完成移転し、業務を 開始(化学車1台、ポンプ車2台、職員16名)
	10 月 19 日	塩釜ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
昭和54年	11 月 4 日	35m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し、塩釜消防署に配置
	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例2名増員し、159 名とする。
	4 月 19 日	日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車の寄贈を受け、松島分署に配置
	5 月 11 日	資材搬送用として、普通トラックを購入し、塩釜消防署に配置
	8 月 2 日	災害時の職員搬送用として29人乗マイクロバスを購入し消防本部に配置
	8 月 24 日	消防本部に主幹制度を採用
	9 月 14 日	日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	11 月 1 日	自主防災組織強化のため塩釜地区少年婦人防火委員会発足
昭和55年	3 月 6 日	化学消防ポンプ自動車日野A-1級を購入(更新)し、多賀城消防署に配置
	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例6名増員し、165 名とする。
	7 月 8 日	利府出張所を増改築
	9 月 1 日	日本消防協会から広報車の寄贈を受け、松島分署に配置
	9 月 8 日	日本損害保険協会から軽化学車の寄贈を受け、七ヶ浜出張所に配置
	10 月 4 日	広報車としてトヨタカーリーナバン1,600 ccを購入(更新)し、多賀城消防署に配置
	12 月 23 日	トヨタ2B型救急車を購入(更新)し、松島分署に配置
昭和56年	3 月 12 日	CD-1型普通消防ポンプ自動車を購入(更新)し、利府出張所に配置
	4 月 1 日	・機構改革により警防課に通信係を新設、塩釜消防署警防係を警防第一係及び 警防第二係に改組、多賀城消防署に設備係を新設する。 ・消防施設整備第四期5ヵ年計画を作成
	8 月 28 日	多賀城市大代三丁目中野武彦氏よりニッサンサニーの寄贈を受け、多賀城消防 署事務連絡車として配置
	9 月 28 日	日本消防協会から2B改良型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置
	11 月 10 日	CD-1型普通消防ポンプ自動車2台購入(更新)し、塩釜消防署及び多賀城消 防署に配置
昭和57年	4 月 1 日	B型消防救急指令装置を導入し、通信指令室を2階に移設、業務を開始
	4 月 5 日	鹽竈神社氏子青年会から広報車として、トヨタコロナ 1,800ccセダンの寄贈を受け 塩釜消防署に配置
	4 月 28 日	第1回幼年消防クラブ地区大会を県民の森で開催
	8 月 24 日	宮城県消防協会から緊急給水用ろ水器の寄贈を受け消防本部に配置

年 号	月 日	記 事
昭和57年	10 月 22 日	CD-1型普通ポンプ自動車2台購入(更新)し、多賀城消防署及び七ヶ浜出張所に配置
	10 月 26 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、西部出張所に配置
	11 月 20 日	消防本部庁舎(会議室、書庫)増築
昭和58年	4 月 27 日	4・27林野火災発生、覚知 12:44(119) 鎮火4月28日13:05 利府町における損害は山林等578ha、建物18棟(罹災世帯6世帯、罹災人員30名)を焼失し、合計102,6820千円に及んだ。
	5 月 1 日	管理者に内海勇三塩竈市長就任
	7 月 1 日	四代消防長に豊島繁就任
昭和59年	10 月 1 日	人口急増等を勘案し、七ヶ浜出張所を分署に昇格
	3 月 15 日	日本損害保険協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	3 月 31 日	一本松出張所廃止
昭和60年	5 月 10 日	全国消防長会主催による第15回「危険物委員会」塩竈市で開催
	8 月 2 日	第27回「宮城県操法大会」多賀城市で開催
	11 月 1 日	全管内を対象に毎日広報(防火パトロール)を開始
	11 月 10 日	国庫補助事業により救助工作車購入、塩釜消防署に配置
	11 月 14 日	防衛庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入し、多賀城1号車として多賀城消防署に配置
	3 月 1 日	分担金条例の一部改正(施行日昭和60年4月1日)
	4 月 1 日	・防災無線並びに防災ファクシミリ設置運用開始 ・宮城県消防協会塩釜支部の事務受託
	9 月 9 日	鹽竈神社からトヨタ2B型改良型救急車の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	10 月 1 日	塩釜消防署七ヶ浜分署に救急車(トヨタ2B型)配置、救急業務を開始
	11 月 1 日	機構改革により課長補佐制の導入
昭和61年	11 月 22 日	国庫補助事業により大型水槽車(水10t)三菱19t級 290馬力を購入し塩釜消防署に配置
	4 月 1 日	・消防施設整備第五期5ヵ年計画を作成 ・電算導入による検討プロジェクトチーム(6名)発足
	8 月 5 日	8・5集中豪雨発生、警戒発令日時8月4日15:15 塩釜地区消防事務組合管内における被害状況は住宅(全壊1棟、半壊6棟、一部損壊16棟、床上浸水 3,838棟、床下浸水 3,283棟)、田畑(流失・埋没 329ha冠水1,346ha)、崖崩れ(211箇所)、道路損壊(211箇所)、河川損壊(40箇所)に及び合計損害額は約10,764,794千円に及んだ。
	8 月 28 日	(財)日本消防協会から電源照明用資機材等搬送車1台寄贈され塩釜消防署に配置
	12 月 5 日	消防本部警防戦術計算統計検討委員会発足(22名)
昭和62年	2 月 18 日	国庫補助事業により化学消防ポンプ車購入(更新)塩釜消防署に配置
	3 月 1 日	消防本部に情報通信室新設
	3 月 28 日	宮城県共済農業協同組合連合会よりニッサンキャラバン型救急車の寄贈(更新)を受け七ヶ浜分署に配置
	4 月 1 日	職員給与の電算化導入
	7 月 15 日	指令車購入(更新)し、消防本部に配置
	7 月 26 日	丸文汽船(株)から、ニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け松島分署に配置(更新)
	8 月 28 日	(財)日本消防協会からトヨタ2B型救急車の寄贈を受け利府出張所に配置

年 号	月 日	記 事
昭和62年	10 月 19 日	情報電送装置(ファクシミリ)を各署所に導入
昭和63年	2 月 16 日	防衛庁補助事業により、軽化学車を購入、4号化学車として多賀城消防署に配置
	3 月 1 日	消防緊急情報システム(地図等検索装置)を消防本部情報通信室に配置
	3 月 29 日	利府町利府字堀切前11番地の1に塩釜消防署利府出張所新庁舎完成
	4 月 1 日	利府出張所、分署に昇格
	6 月 10 日	宗教法人瑞巖寺からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け松島分署に配置
	7 月 1 日	消防計画策定委員会発足
	8 月 10 日	消防本部庁舎増改築
	8 月 25 日	塩釜ガス株式会社からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	9 月 3 日	カメイ株式会社からニホンフォードテルスター、指令2号車の寄贈を受け消防本部に配置
	10 月 25 日	千葉妙雄氏、株式会社ごんきやからトヨタクラウンセダン型消防連絡車の寄贈を受け消防本部に配置
昭和64年	11 月 1 日	塩釜地区消防事務組合条例規則等検討委員会発足(22名)
	1 月 7 日	昭和天皇崩御
	1 月 8 日	年号が「平成」と制定される。
	1 月 11 日	30周年記念事業検討委員会発足
	2 月 16 日	管内防災支援地図を作製
	2 月 24 日	昭和天皇の大喪の礼が行われる。
	3 月 29 日	(有)山源工務店から指揮車(三菱パジェロエステートバン)の寄贈を受け消防本部に配置
	3 月 30 日	塩釜中央ライオンズクラブからスバルレックスコンビF型ライオンズ号の寄贈を受け消防本部に配置
	4 月 1 日	・塩釜地区消防事務組合衛生管理者委員会発足(7名) ・管内独居高齢者を対象にテレホンパトロールを開始
	4 月 14 日	(社)日本損害保険協会から軽化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、5号化学車として利府分署に配置
平成元年	7 月 1 日	・管内住民に対し消防広報紙(消防通信)を発刊(年4回) ・職員の勤務時間見直しにより4週6休制を実施
	12 月 6 日	(財)日本防火協会から防火広報車(トヨタハイエース)の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
平成2年	1 月 26 日	国庫補助及び起債事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入(更新)し、松島分署に配置
	4 月 1 日	・救急業務検討委員会発足(14名) ・職員3名を採用し、実員165名となる。
	4 月 19 日	塩釜地区消防事務組合創立20周年記念式典を開催(出席者 225名)
	6 月 1 日	消防施設整備計画策定委員会発足(24名)
	6 月 9 日	職員互助会創立20周年記念パーティを開催(出席者486名)
	7 月 1 日	職員定数の適正化計画により、定数条例改正、185名とする。
	9 月 28 日	当組合創立20周年記念事業として「組合消防のあゆみ」を発刊
	10 月 1 日	特殊勤務手当検討委員会発足(9名)
	11 月 12 日	天皇陛下即位礼正殿の儀が行われる。
	11 月 26 日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置
	12 月 17 日	消防本部と塩釜消防署の組織分離検討委員会発足(9名)

年 号	月 日	記 事
平 成 3 年	1 月 21 日	災害時の職員搬送用として31人乗マイクロバス購入(更新)
	1 月 30 日	放火防止対策検討委員会発足(6名)
	4 月 1 日	・消防施設整備第六期5ヵ年計画の実施 ・職員5名採用し、実員170名となる。 ・組織機構改革により消防本部と塩釜消防署の分離 ・組織機構改革により当直司令制の導入 ・職員の勤務時間見直しにより土曜閉庁方式の導入
	4 月 10 日	新消防艇「さくら」就航(更新)
	5 月 1 日	管理者に三升正直塩竈市長就任
	6 月 11 日	多賀城市工場地帯防災協議会発足
	8 月 29 日	救急救命士法施行に伴う救急救命中央研修所へ職員1名を派遣
	10 月 1 日	宮城県防災ヘリコプター導入に伴い隊長1名(副隊長)派遣 (期間平成5年9月30日まで2年間)
平 成 4 年	1 月 31 日	企業三者共同による広報車(トヨタカムリ)の寄贈を受け、多賀城消防署に配置 (更新)
	2 月 1 日	消防業務検討委員会発足(10名)
	3 月 2 日	国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、松島分署に配置(更新)
	3 月 10 日	国庫補助及び起債事業により利府分署敷地に救助訓練塔を建設
	3 月 19 日	起債事業により多賀城消防署増改築
	3 月 25 日	多賀城消防署増改築及び救助訓練塔落成式を開催(出席者 112名)
	3 月 30 日	石油貯蔵交付金により油火災消火用薬剤貯蔵タンク(10kℓ)を更新
	4 月 1 日	・五代消防長に目黒久就任 ・職員5名採用し、実員172名となる。
	5 月 19 日	初めて救急救命士1名資格取得
	5 月 24 日	多賀城ライオンズクラブから広報連絡車(日産ADライトバン)の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)
	6 月 11 日	財団法人花園まちづくり記念財団から防災パトロール車(三菱パジェロルーフワゴン)の寄贈を受け、利府分署に配置(更新)
	12 月 1 日	職員の勤務時間見直しにより、4週7休制試行を実施
平 成 5 年	3 月 18 日	35m級梯子自動車(日野自動車)を購入し、多賀城消防署に配置
	4 月 1 日	職員7名を採用し、実員179名となる。
	6 月～9 月	職員の体力錬成の一環として栗駒山登山実施(標高1,628m)
	9 月 1 日	火災予防の個別指導のため、管内全世帯の一般防火指導を開始
	9 月 9 日	救急救命士養成のため、広島市消防局救急救命士養成所へ職員1名派遣
	10 月 1 日	週休二日制(試行)
平 成 6 年	3 月 27 日	救急救命士1名資格取得し、計2名となる。
	4 月 1 日	・職員5名を採用し、実員182名(定数185名)となる。 ・塩釜消防署七ヶ浜分署が多賀城消防署に所管替えとなる。 ・1週間当たり40時間勤務を実施(完全週休二日制) ・国庫・県補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメデック 4,000cc)を塩釜消防署に導入業務開始 ・国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、利府分署へ配置(更新) ・消防戦術の見直しにより、火災出場区分を改正
	4 月 5 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名を派遣

年 号	月 日	記 事
平成 6 年	8 月 5 日	消防本部書庫完成
	9 月 12 日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員2名を派遣
	11 月 2 日	六代消防長に吉田稔就任
	11 月 12 日	救急救命士1名資格取得し、計3名となる。
	12 月 27 日	職員定数条例の改正により定数203名(5ヵ年計画で18名を増員)となる。
平成 7 年	2 月 15 日	消防庁舎建設検討委員会発足
	3 月 1 日	塩釜ガス(株)から広報車(トヨタスプリンターカリブ)の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置(更新)
	3 月 8 日	宮城県共済農業協同組合連合会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)
	3 月 28 日	・18m級梯子車を20m級屈折梯子車(日野自動車)に更新し、松島分署に配置 ・CD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)1台購入し、塩釜消防署に配置(更新)
	4 月 1 日	職員8名を採用し、実員189名(定員203名)となる。
	4 月 4 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	4 月 17 日	宗教法人瑞巖寺から広報車(トヨタスプリンターカリブ)の寄贈を受け松島分署に配置(更新)
	5 月 12 日	救急救命士2名資格取得し、計5名となる。
	6 月 23 日	平成7年1月17日発生の阪神・淡路大震災を踏まえ、全国消防機関相互による迅速な援助体制整備のため緊急消防援助隊発足
	8 月 29 日	(財)日本消防協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置(更新)
	10 月 5 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	11 月 15 日	救急救命士1名資格取得し、計6名となる。
平成 8 年	1 月 23 日	緊急消防援助隊発足に伴い派遣隊員(24名) 任命
	3 月 1 日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3 月 27 日	市町村波第2波(150.19MHz)増波し、運用開始
	3 月 29 日	・超音波式潮位観測装置(検潮部湾内3か所)処理装置を消防本部、同表示装置を組合構成市町に設置、観測システム業務開始 ・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)を1台購入し、七ヶ浜分署に配置(更新) 水槽付消防ポンプ自動車(日野)を1台購入し、西部出張所配置
	4 月 1 日	・職員7名を採用し、実員193名(定員203名)となる。 ・消防施設整備第七期5ヵ年計画の実施
	4 月 9 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	4 月 25 日	救急救命士1名資格取得し、計7名となる。
	9 月 6 日	アボロキャップ型作業帽を採用
	10 月 1 日	・消防組織法の一部改正(平成7年10月1日公布)の施行に伴い、平成8年8月19日、消防職員委員会規則を制定し、10月1日から施行、同日、委員長に消防長に準ずる職員として次長を充て、委員長以下13名の委員会を設置 ・消防本部電話交換をダイヤルイン方式に変更
	10 月 15 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	11 月 13 日	救急救命士1名資格取得し、計8名となる。
	11 月 29 日	第1回消防職員委員会開催
	12 月 19 日	北海道・東北ブロック初の緊急消防援助隊合同訓練に当組合から救急部隊、消火
	～ 20 日	部隊各1隊参加(仙台市宮城野区港二丁目1番 訓練会場)

年 号	月 日	記 事
平成 8 年	12 月 25 日	塩消ニュース創刊20周年特別号を発刊
平成 9 年	3 月 1 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により新防火衣・防火靴更新
	3 月 6 日	最新式消火システム「インパルス」を塩釜署に1基配備
	3 月 28 日	・全国波第2波(148.75MHz)並びに第3波(154.15MHz)増波運用開始 ・防火衣保管用ロッカー設置(全署所) ・熱画像カメラ塩釜署に1基配置、ファイバースコープ塩釜消防署・多賀城消防署・松島分署に各1基配置
	4 月 1 日	職員10名を採用し、実員201名(定員203名)となる。 (県消防学校初任科教育、現行6か月から概ね1年間となる。)
	4 月 8 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	4 月 18 日	救急救命士1名資格取得し、計9名となる。
	5 月 24 日	多賀城ライオンズクラブから防災車両として、ジープ型指揮車の寄贈を受け、多賀城消防署に配備、又同車両用けん引き型トレーラーがソニー(株)仙台テクノロジーセンターから寄贈される。
	8 月 8 日	平成9年6月28日、松島町根廻地内で発生した列車脱線事故に係る迅速的確な救助活動により、消防本部に対し東日本旅客鉄道から感謝状
	9 月 8 日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員1名派遣
	9 月 12 日	平尾昌晃氏ふれあい募金会より消防福祉号として、三菱デリカスペースギア8人乗りワゴン車1台の寄贈を受け消防本部に配置
	10 月 6 日	・職員定数条例の改正により定数220名となる(消防吏員17名増員) ・塩釜労働福祉会館土地建物取得事業関係補正予算案議決 (10月28日売買契約・11月11日嘱託登記)
	10 月 24 日	救急救命士1名資格取得し、計10名となる。
	11 月 5 日	自治体消防50周年記念講演会を塩釜商工会議所に於いて、消防本部・職員互助会共催により、OBの桜井真氏を講師に迎え開催 (演題「消防のはじまりと近代消防への歩み」)
	11 月 18 日	鹽竈神社から消防搬送車として三菱ふそう2t自動車1台の寄贈を受け消防本部に配置
	12 月 25 日	分担金条例一部改正議案議決(基準財政需要額の100分の60を、100分の66に改正、施行日・平成10年4月1日)
平成10年	1 月 12 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により指令車(トヨタクラウン)1台購入し、指令1として配置(更新)
	3 月 20 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)を1台購入し、多賀城消防署に配置(更新)
	3 月 23 日	陸上自衛隊多賀城駐屯地周辺消防施設設置助成事業により水-II型水槽付消防ポンプ自動車を更新配置
	3 月 24 日	利府救急車(救急5)を災害対応特殊救急車に更新配置
	4 月 1 日	・職員7名を採用し、実員208名(定員220名)となる。 ・利府分署配置人員を8名増員(現行総員21名から29名)し、救急隊の専従化を図る。
	4 月 23 日	救急救命士2名資格取得し、計12名となる。
平成11年	9 月 1 日	・旧塩釜労働福祉会館を改修し、新消防本部庁舎として移転執務開始 ・元職員(32名)を対象とした、消防協力援助隊発足
	11 月 25 日	救急救命士1名資格取得し、計13名となる。
	3 月 1 日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3 月 24 日	旧消防本部事務室を改修し、新情報通信室に新鋭指令施設を導入する。
	3 月 25 日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置

年 号	月 日	記 事
平成11年	3 月 29 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により高規格救急自動車(ニッサンハイメデック 3,270cc)を多賀城消防署に導入業務開始
	4 月 1 日	・七代消防長に田中一夫就任 ・職員9名を採用し、実員216名(定員220名)となる。 ・利府分署配置人員を2名増員(現行総員29名から31名) ・機構改革により情報通信室を指令課に改め、組織替えを図る。
	5 月 1 日	塩釜地区消防事務組合規約の一部改正により議員定数14名を12名に改正
	5 月 13 日	救急救命士1名資格取得し、計14名となる。
	7 月 1 日	・塩釜地区消防事務組合の共同処理する事務の変更及び組合規約の変更により事務局及び介護保険課(定員5名)を設置 ・職員定数条例の改正により定数225名となる。
	8 月 30 日	日本消防協会から、C-1級可搬消防ポンプ付軽積載車(三菱ミニカ)の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	10 月 1 日	介護認定審査業務開始
	12 月 8 日	救急救命士1名資格取得し、計15名となる。
平成12年	4 月 1 日	・消防長を本部長とする行財政改善推進本部を設置し、行財政の改善に取り組む。 ・「煙火消費及び建設用びょう打ち銃用空包に係る許可事務」及び「液化石油ガス設備工事届及び特定液化石油ガス設備工事事業関係の事務」が県より移譲され業務を開始する。
	4 月 12 日	救急救命士1名資格取得し、計16名となる。
	7 月 31 日	塩釜地区消防事務組合消防音楽隊活動を一時休止する。
	9 月 1 日	行政需要の変化に的確に対応し、効果的な行政施策を計画的に推進するため、基本計画となる「消防プラン21」を策定し、計画行政の推進を図る。
	10 月 19・20 日	塩釜地区消防事務組合職員互助会30周年記念行事を七ヶ浜町国際村にて開催(出席者648名)
	10 月 23 日	救急救命士1名資格取得し、計17名となる。
	12 月 8 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の救助工作車Ⅱ型(三菱ふそう5.5t大型自動車)を更新配置
平成13年	2 月 2 日	塩釜地区消防事務組合規約変更許可となる。 (負担割合を構成市町の基準財政需要額の総額に対する構成市町ごとの構成割合とする。)
	4 月 1 日	・職員の再任用に関する制度施行 (消防司令以下は平成19年度以降施行) ・事務局が5名から7名体制となり、介護認定審査業務を消防職員のみで執行する。 ・職員定数条例の改正により定数227名となる。 ・本部組織の機構改革により、危険物係を保安係、救急係を救急救助係に改組するとともに隔日勤務職員を増員し当直体制の強化を図る。 ・基本計画に基づき施設整備に係る「消防施設整備第8期5ヵ年計画」の実施
	4 月 10 日	救急救命士1名資格取得し、計18名となる。
	9 月 ～10月	第56回国民体育大会(夏季・秋季)及び第1回全国障害者スポーツ大会の開催に伴い消防警備を実施する。
平成14年	3 月 1 日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3 月 26 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、七ヶ浜分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(三菱ふそう5.5t大型自動車)を更新配置
	4 月 1 日	・八代消防長に渡邊杜夫就任 ・職員3名(内初の女性消防官1名)を採用し、実員219名(定員227名)となる。

年 号	月 日	記 事
平成14年	6 月	2002年FIFAワールドカップサッカー大会が日本・韓国の20都市で開催され、利府町にある宮城スタジアムでも3試合(6/9メキシコVSエクアドル、6/12アルゼンチンVSスウェーデン、6/18日本Vストルコ)が行われ消防警備を実施する。
	8 月 1 日	119番FAX通信システムを導入・運用開始
	10 月 24 日	救急救命士1名資格取得し、計19名となる。
	12 月 11 日	国庫補助事業により利府分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5.5t大型自動車)を更新配置
平成15年	3 月 13 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、塩釜消防署配置の高規格救急自動車(トヨタハイメディク 3,400cc)を更新配置
	4 月 1 日	・職員4名を採用し、実員219名(定員227名)となる。 ・仙台市消防局と初の人事交流
	5 月 1 日	管理者に佐藤 昭塩竈市長就任
	11 月 19 日	塩釜消防署配置の指揮車(トヨタハイラックスサーフ 2,700cc)を更新配置
平成16年	3 月 30 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅳ型(日野自動車10t大型自動車)を更新配置
	4 月 1 日	・職員3名(内女性1名)を採用し、実員220名(定員227名)となる。 ・機構改革により消防危機管理監を配置する。 ・消防組織法改正に伴い、緊急消防援助隊へ都道府県隊指揮隊、消火隊、救急隊、後方支援隊の4隊、14名を国に登録 ・改正服制基準による新活動服を採用
	4 月 20 日	救急救命士1名資格取得し、計20名となる。
	11 月 2 日	消防本部警防課配置の指揮車(スズキエスクード 2,000cc)を更新配置
平成17年	11 月 11 日	救急救命士1名資格取得し、計21名となる。
	2 月 17 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	3 月 1 日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3 月 30 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、松島分署配置の水-Ⅱ型水槽付消防ポンプ自動車(日野自動車5t大型自動車)を更新配置
平成18年	4 月 1 日	・消防力の充実強化のため松島分署、七ヶ浜分署及び利府分署を消防署へ昇格させる。 ・職員4名を採用し、実員223名(定員227名)となる。
	8 月 18 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計2名となる。
	11 月 1 日	九代消防長に芳賀輝秀就任
	11 月 14 日	救急救命士1名取得し、計22名となる。
平成18年	12 月 6 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計3名となる。
	3 月 27 日	(社)日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)の寄贈を受け、七ヶ浜消防署に配置(更新)
	4 月 1 日	・障害者自立支援法施行に伴い、事務局の介護保険課を介護審査課に改め、障害者自立支援審査業務開始 ・職員5名を採用し、実員225名(定員227名)となる。
	6 月 8 日	宗教法人瑞巖寺から指揮車(トヨタサクシード(4WD))の寄贈を受け松島消防署に配置(更新)
平成18年	6 月 14 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計4名となる。

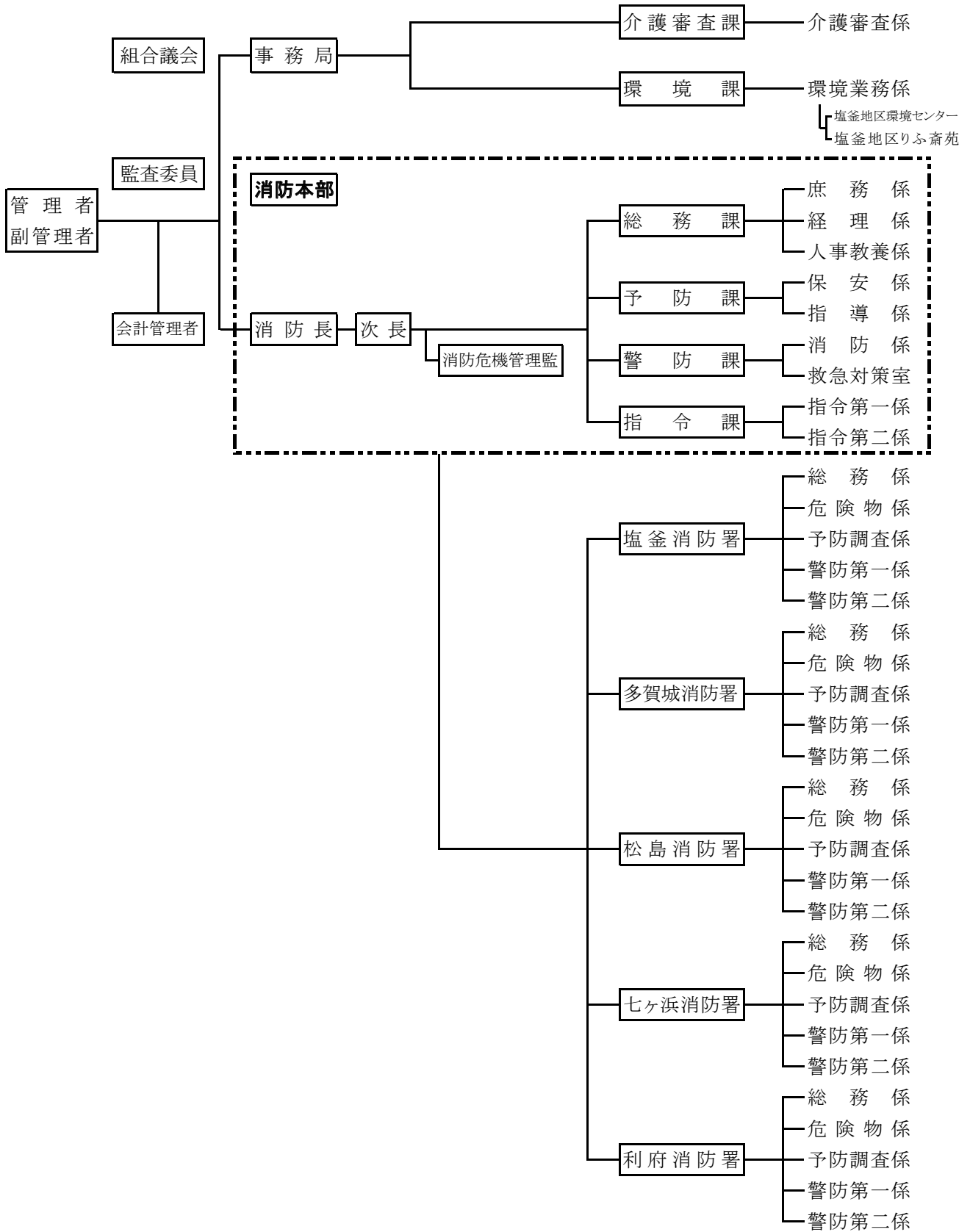
年 号	月 日	記 事
平成18年	7 月 25 日	救急救命士1名が薬剤投与実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	9 月 1 日	財団法人日本宝くじ協会助成事業により、消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」を西部出張所に配置
	10 月 6 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計5名となる。
	11 月 21 日	CD-1型消防ポンプ自動車(日野自動車2t車ベース)1台購入し松島消防署に更新配置
平成19年	2 月 28 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)を松島消防署に更新配置。当組合の救急自動車が全て高規格救急自動車となる。
	3 月 15 日	株式会社白寿殿から消防連絡車(トヨタクラウン)の寄贈を受け、消防本部に更新配置
	4 月 1 日	・職員5名(内女性1名)を採用し、実員225名(定員227名)となる。 ・ホームページ開設
	9 月 1 日	平成19年度宮城県総合防災訓練が多賀城市(陸上自衛隊多賀城駐屯地)で開催される。
平成20年	3 月 28 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(トヨタハイメデック2,700cc)を利府消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員6名を採用し、実員225名(定員227名)となる。
	7 月 4 日	宗教法人瑞巖寺から搬送1(トヨタダイナ)の寄贈を受け消防本部に配置
	12 月 26 日	宮城県消防広域化推進計画が策定され、県内3消防本部体制により、県中ブロックとして仙台市消防局・黒川地域行政事務組合消防本部との広域化の枠組みが示される。
平成21年	3 月 27 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、大型高所放水車(高所1)を塩釜消防署に更新配置
	4 月 1 日	・職員6名(内女性1名)を採用し、実員225名(定員227名)となる。 ・十代消防長に平山優就任 ・警防課救急救助係を救急対策室に改編
	12 月 24 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)を多賀城消防署に更新配置
平成22年	2 月 25 日	指揮車(マツダビアンテ1,900cc)を購入し利府消防署に更新配置
	3 月 27 日	市町村振興総合補助事業によりCD-1型消防ポンプ自動車(日野自動車2t車ベース)を利府消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員10名を採用し、実員226名(定員227名)となる。
平成23年	2 月 3 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、指揮車(マツダビアンテ1,900cc)を七ヶ浜消防署に更新配置
	3 月 11 日	14時46分三陸沖を震源とするM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度6強を観測。また、大津波の襲来により多数の死傷者が発生、さらに仙台地区石油コンビナート(多賀城市)で火災が発生し、甚大な被害をもたらした。 県内隣接消防本部をはじめ緊急消防援助隊の長野県隊、岡山県隊、徳島県隊及び兵庫県隊の応援を受け活動に当たった。
	3 月 29 日	消防本部新庁舎完成
	4 月 1 日	・職員8名を採用し、実員224名(定員227名)となる。 ・十一代消防長に志賀寧就任

年 号	月 日	記 事
平成23年	4 月 1 日	・小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型(日野プロフィア8,860cc、水槽容量10,000ℓ)を購入し塩釜消防署に更新配置 ・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された支援車Ⅰ型(日野プロフィア12,910cc)を利府消防署に配備
平成24年	1 月 11 日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を塩釜消防署に更新配置
	3 月 26 日	・消防車両整備指定寄付金により、CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を多賀城消防署に更新配置 ・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を七ヶ浜消防署に更新配置
	3 月 27 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、救助工作車Ⅱ型(日野レンジャー6,403cc)を多賀城消防署に配置
	4 月 1 日	・職員12名を採用し、実員223名(定員227名)となる。
	10 月 23 日	平成24年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(図上訓練)を宮城県総合運動公園グランディ・21セキスイハイムスーパーアリーナ(宮城県総合体育館)で実施。県外33機関、県内23機関が相互に連携して災害対応図上訓練をし、災害即応体制の向上を図った。
平成25年	3 月 5 日	仙台農業協同組合及び全国共済農業協同組合連合会宮城県支部より高規格救急車(トヨタ2,693cc)の寄贈を受け、七ヶ浜消防署に更新配置
	4 月 1 日	・職員13名を採用し、実員216名(定員227名)となる。 ・消防救急無線のデジタル化が整備され、本部庁舎4階に高機能消防通信システム(超音波式潮位観測装置、全国瞬時警報システム含む)を導入して、消防指令センターを運用開始する。
平成26年	3 月 20 日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車(日野自動車5t車ベース)を多賀城消防署西部出張所に更新配置
	4 月 1 日	・塩釜地区消防事務組合と塩釜地区環境組合が再編統合され組合規約を変更、共同処理する事務にし尿処理場及び火葬場の管理運営等に関する事務が追加、事務局に環境課(定数6名)を設置 ・職員定数条例の改正により定数232名となる。 ・職員17名(旧塩釜地区環境組合職員3名を含む)を採用し、実員223名(内女性6名)となる。 ・十二代消防長に並木明就任
	11 月 28 日	組合倉庫完成
	12 月 8 日	高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を購入し松島消防署に更新配置
平成27年	3 月 23 日	指揮隊車(トヨタレジアスエース2,693cc)を購入し消防本部に配置
	3 月 26 日	人員輸送車(日野エレッセⅡ4,000cc)を購入し消防本部に更新配置
	3 月 27 日	・搬送車(いすゞフォワード5,193cc)を購入し塩釜消防署に更新配置 ・CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,000cc)を購入し塩釜消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員12名を採用し、実員228名(定員232名)となる。
	10 月 1 日	・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された津波・大規模風水害対策車(いすゞフォワード7,790cc)を塩釜消防署に配備
	12 月 17 日	高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を購入し利府消防署に更新配置
平成28年	2 月 1 日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車(日野レンジャー6,403cc)を塩釜消防署に更新配置

年 号	月 日	記 事
平成28年	3 月 25 日	指揮車(日産セレナ1,997cc)を購入し多賀城消防署に更新配置
	3 月 31 日	指令車(トヨタカムリハイブリット2,493cc)を購入し消防本部に更新配置
	4 月 1 日	職員10名を採用し、実員227名(定員232名)となる。
	4 月 17 日	宮城県林野火災防ぎょ訓練が宮城県総合運動公園(利府町)で開催。27機関300名が参加し、消防職員・消防団員の火災防ぎょ技術の向上を図った。併せて、組合主体で訓練に参加する航空機・車両の見学写真撮影会(来場者500名)を実施し、県民に広く防災思想の普及を図った。
	8 月 31 日	台風第10号被害により、初の緊急消防援助隊宮城県大隊の災害派遣として、岩手県岩泉町へ出動。主に岩泉町小本川流域の行方不明者救助活動を実施し、宮城県大隊として2名救出した。 派遣期間:8月31日～9月9日(10日間) 最大59名、延べ236名が出動
平成29年	2 月 8 日	高規格救急自動車(日産パラメディック3,498cc)を購入し多賀城消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員6名を採用し、実員228名(定員232名)となる。
	7 月 ～8月	平成29年度全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ)・第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)が開催され、特別警戒を実施
平成30年	8 月 23 日	第46回全国消防救助技術大会が宮城県総合運動公園(利府町)で開催
	2 月 1 日	高規格救急自動車(日産パラメディック3,498cc)を購入し、塩釜消防署に更新配置
	3 月 1 日	35m級先端屈折式梯子自動車(日野自動車)を購入し、多賀城消防署に更新配置
	4 月 1 日	・職員6名を採用し、実員225名(定員232名)となる。 ・十三代消防長に柴正浩就任
	9 月 1 日	平成30年度宮城県総合防災訓練が七ヶ浜町で開催 70機関約2,000人が参加し、大規模災害対応能力の向上を図った。
平成31年	9 月 6 日	北海道胆振東部地震に伴い、緊急消防援助隊宮城県大隊の一員として北海道勇払郡厚真町へ後方支援小隊2隊(支援1、搬送1)が出動。主に宮城県大隊の後方支援活動を実施
	9 月 11 日	援活動を実施
	1 月 22 日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5,120cc)を購入し、七ヶ浜消防署に更新配置
	3 月 15 日	アステラス製薬株式会社より高規格救急自動車1台(トヨタハイメディック)の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	3 月 29 日	有限会社中央交通及び株式会社白寿殿より消防連絡車(トヨタクラウン)の寄贈を受け、消防本部に更新配置
令和元年	4 月 1 日	・職員6名を採用し、実員222名(定員232名)となる。 ・寄贈された高規格救急車を塩釜消防署に配置し、救急隊2隊体制で運用開始
	5 月 1 日	年号が「令和」と制定される。
	10 月 1 日	2020東京オリンピック・パラリンピックにおける警備業務の準備・運営のため、組織委員会からの要請に基づき、職員1名を派遣
	10 月 12 日	令和元年東日本台風の警戒活動を実施(救助15件42名救出、救急17件、調査17件)
	10 月 13 日	令和元年東日本台風に伴い、県広域消防応援隊の一員として、丸森町へ出動 延べ27隊69名が要救助者検索、住民の安否確認等の活動を実施
令和2年	10 月 25 日	
	3 月 11 日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5,120cc)を購入し、利府消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員8名を採用し、実員221名(定員232名)となる。
令和3年	4 月 30 日	岩沼市臨空工業団地物流倉庫火災に伴い、県広域消防応援隊の一員として、岩沼市プロロジスパーク岩沼Ⅰへ出動
	5 月 4 日	延べ20隊42名が消火活動を実施
	3 月 22 日	水槽付き消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5,120cc)を購入し、松島消防署に更新配置
	4 月 1 日	・これまでの多賀城消防署と西部出張所を統廃合し、多賀城市八幡字一本柳117番地の17に多賀城消防署を開設(指揮車、ポンプ車2台、はしご車、化学車、救助工作車、救急車2台等、計12台、職員42名) ・職員12名を採用し、実員225名(定員232名)となる。

年 号	月 日	記 事
令 和 3 年	6 月 20 日	東京2020オリンピック競技大会開催に係る聖火リレーが管内で開催。聖火リレー走者の安全確保(着衣火災・急病対応)のため消防特別警戒を実施
	7 月 21 日	東京2020オリンピック競技大会サッカー競技(男女10試合)が宮城スタジアム(利府町)で開催され、競技会場のテロ災害等大規模災害に対応するため、県内消防本部(局)が一体となり、警戒する「みやぎ方式」での消防特別警戒計画を策定。新型コロナウイルス感染症に係る対策を講じ、過去最大規模(延べ168隊1,041名)で警戒を実施
	7 月 31 日	塩釜地区りふ斎苑落成式
	7 月 30 日	塩釜地区りふ斎苑供用開始(火葬炉8炉(人体炉7炉、ペット炉1炉)告別収骨室4室、待合室7室、バグフィルターなど)
	8 月 1 日	
令 和 4 年	2 月 15 日	・高規格救急自動車(日産パラメディック2,480cc)を購入し七ヶ浜消防署に更新配置 ・泡消火薬剤の残留性有機汚染物質(PFOS)に係る国際条約及び法律改正等の環境問題に対応するため、これまで当組合で保有していた泡消火薬剤の処分と併せて新たな泡消火薬剤(合成界面活性剤総量:12,640ℓ)を更新。組合倉庫及び各署化学消防自動車へ配備
	4 月 1 日	・職員8名を採用し、実員220名(定員232名)となる。 ・十四代消防長に小野秀一就任
	10 月 6 日	第39回消火技術コンクールを実施し、地域住民の有事の際における通報、初期消火技術の習得に合わせて、地域ぐるみの防火防災組織の協力態勢の確立に役立てた。
令 和 5 年	1 月	令和4年の救急出場件数が当消防本部史上最多の10,080件を記録する。
	2 月 15 日	消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を購入し、松島消防署に更新配置
	3 月 31 日	・旧多賀城消防署解体工事完了に伴い、多賀城市に事業用地を返還する。 ・旧塩竈斎場解体工事完了に伴い、塩竈市に事業用地を返還する。
令 和 6 年	4 月 1 日	職員7名を採用し、実員223名(定員232名)となる。
	2 月 24 日	高規格救急自動車(日産パラメディック2,480cc)を購入し松島、利府消防署に更新配置
	4 月 1 日	・十五代消防長に星和彦就任 ・職員8名を採用し、実員226名(定員232名)となる。
令 和 7 年	11 月 8 日	消防艇「さくら」の後継船として、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合様から、消防救急艇「あさぎり」の譲渡を受け運用開始。(平成25年建造、全長13.98m、最大搭載人員12名)
	1 月 22 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック2,693cc)を購入し塩釜、多賀城消防署に更新配置
	2 月 26 日	岩手県大船渡市林野火災に伴い、緊急消防援助隊宮城県大隊の一員として職員派遣。主に消火、後方支援活動を実施。
	3 月 16 日	(期間延べ19日、部隊延べ19隊66名を派遣)
	4 月 1 日	・定数条例改正により、育児休業や派遣、初任総合教育中の職員は定数外として、取扱うこととした。 ・職員16名を採用し、実員230名(定員232名)となる。

塩釜地区消防事務組合組織図



本 部 庁 舎 ・ 消 防 署 等 位 置

区 分	所 在 地	構 造	敷地 m ²	建物 m ²		竣 工
消防本部	〒985-0021 塩竈市尾島町17番22号	RC造 4階建	2,212.41	建	282.10	H23.3.29
				延	992.71	
塩釜消防署		RC造 2階建		建	518.00	S46.5.31
				延	911.60	
				増築	125.60	S63.11.25
多賀城消防署	〒985-0874 多賀城市八幡字一本柳117番地の17	鉄骨造 2階建	4,698.07	建	1,110.90	R3.2.19
				延	1,658.24	
松島消防署	〒981-0213 松島町松島字蛇ヶ崎右53番地	RC造2階 塔屋付	1,265.71	建	301.00	S50.3.25
				延	545.75	
七ヶ浜消防署	〒985-0821 七ヶ浜町汐見台七丁目5番322号	鉄骨造 2階建 一部平屋	1,020.00	建	300.91	S53.9.10
				延	441.80	
利府消防署	〒981-0112 利府町利府字堀切前11番1号	鉄骨造 2階建 塔屋付	2,176.16	建	369.00	S63.3.29
				延	546.62	
組合倉庫	塩竈市貞山通二丁目1番1号	鉄骨造 2階建	224.52	建	145.92	H26.11.28
				延	255.81	

管 内 情 勢

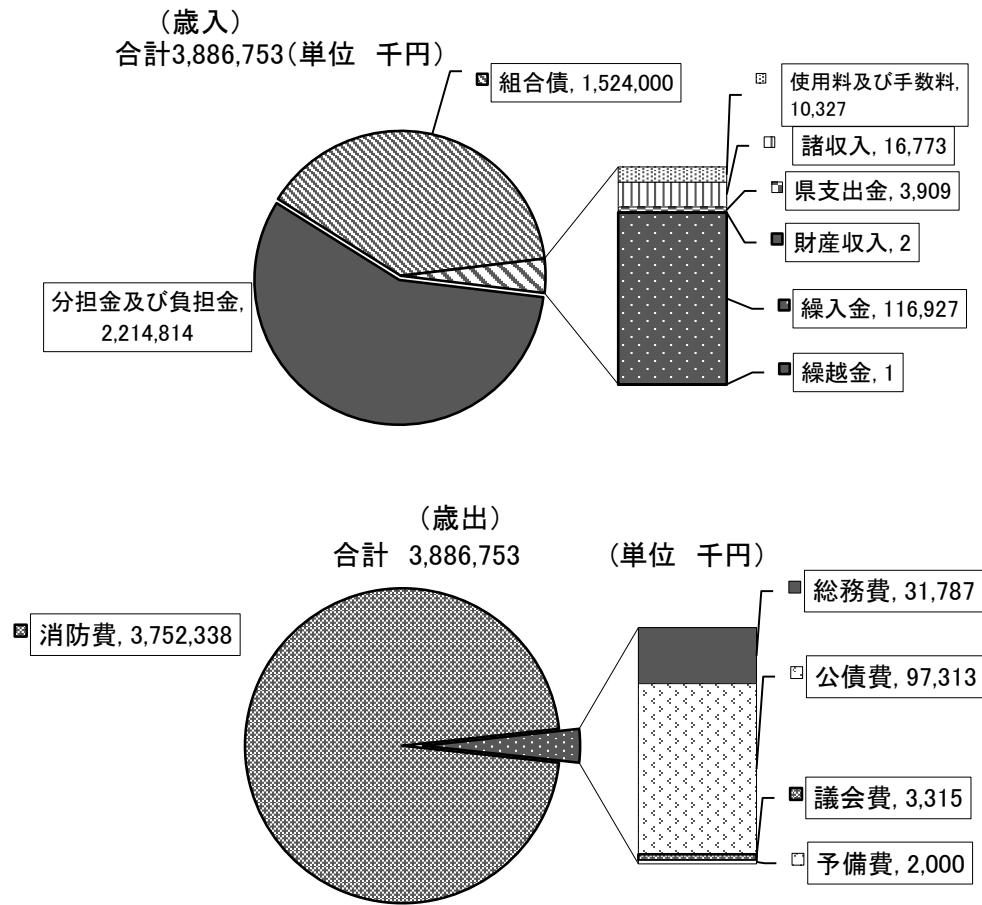
区 分		管内合計	消防本部	塩 釜消防署	多賀城消防署	松 島消防署	七ヶ浜消防署	利 府消防署
面 積 (km ²)		148.71	—	17.38	19.69	53.56	13.19	44.89
世 帯 数		79,944	—	24,416	28,380	5,723	6,954	14,471
人 口 (人)		179,655	—	51,726	61,628	12,885	17,553	35,863
消防職員数	消 防 吏 員	195	31	49	40	24	24	27
	他 職 員	4	4	—	—	—	—	—
消防吏員1人当り	面 積 (km ²)	0.77	—	0.36	0.49	2.24	0.55	1.67
	世 帯 数	410	—	499	710	239	290	536
	人 口 (人)	922	—	1,056	1,541	537	732	1,329
消防自動車等の数	消防ポンプ車 (水槽付・化学車含む。)	実動車 (台)	11	—	2	3	2	2
		予備車 (台)	2	2	—	—	—	—
	救 急 車 (台) ※予備車含む		9	2	2	2	1	1

※職員数は定数外(派遣者等)を除く。

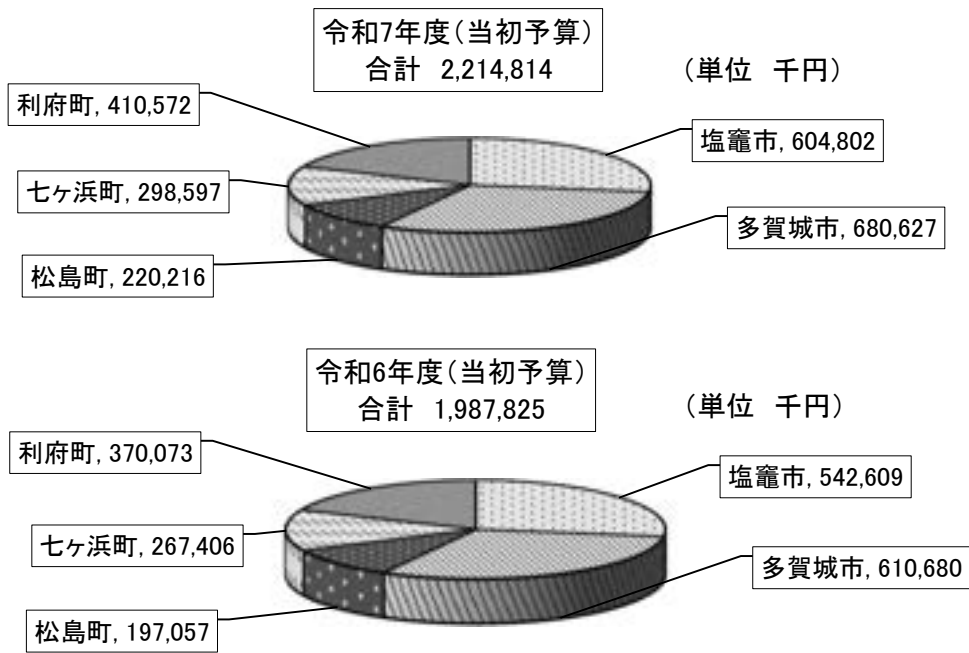
第 1 編 総 務



令和7年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算(当初予算)



構成市町負担金状況



組合予算と職員数・人口・世帯数の推移

年 度	予算額 (千円)	消 防 職 員		管 内 人 口 ・ 世 帯 数			
		定 員	実 員	人 口	一人当たり (円)	世 帯 数	一 世 帯 当たり(円)
45	146,469	120	80	131,951	1,110	32,203	4,548
50	374,625	136	136	143,854	2,604	37,927	9,878
55	712,800	165	163	154,645	4,609	41,131	17,330
60	845,050	165	163	163,437	5,170	45,736	18,447
平元	1,050,839	165	163	168,158	6,249	49,754	21,121
5	1,413,800	185	179	181,019	7,810	55,542	25,454
10	2,083,000	220	208	190,590	10,929	61,645	33,790
15	2,004,396	227	219	192,229	10,427	65,234	30,726
20	2,043,161	227	225	191,824	10,651	68,770	29,710
25	2,051,700	227	216	188,964	10,858	71,330	28,763
30	2,121,439	232	225	186,310	11,387	75,481	28,106
令元	2,080,038	232	222	185,352	11,224	76,063	27,346
2	3,014,265	232	221	185,093	16,285	76,773	39,262
3	2,091,712	232	225	183,935	11,372	77,386	27,030
4	2,192,420	232	220	182,337	12,024	78,031	28,097
5	2,090,104	232	223	181,979	11,485	78,656	26,573
6	2,230,913	232	226	180,244	12,377	79,488	28,066
7	3,886,753	232	230	179,655	21,635	79,944	48,618

※実員に事務局職員等含む。

職 員 配 置 状 況

区 分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合 計	199 (9)	—	3	6	31	58 (1)	48 (3)	—	49 (3)	4 (2)
消 防 本 部	35 (3)	—	1	3	10	10	7 (1)	—	0	4 (2)
塩 釜 市 消防 釜 賀 署	49 (4)	—	1	—	5	15 (1)	13 (1)	—	15 (2)	—
多 賀 市 消防 賀 城 署	40 (2)	—	1	—	5	13	11 (1)	—	10 (1)	—
松 島 市 消防 島 署	24	—	—	1	3	7	7	—	6	—
七 ヶ 浜 市 消防 浜 署	24	—	—	1	3	6	5	—	9	—
利 府 市 消防 府 署	27	—	—	1	5	7	5	—	9	—

()はうち女性職員

職 員 年 齢 状 況

区分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合計	199	—	3	6	31	58	48	—	49	4
25歳未満	25	—	—	—	—	—	—	—	25	—
25～30 "	28	—	—	—	—	3	8	—	16	1
30～35 "	34	—	—	—	—	4	22	—	8	—
35～40 "	26	—	—	—	—	13	13	—	—	—
40～45 "	23	—	—	—	4	13	4	—	—	2
45～50 "	27	—	—	1	13	12	—	—	—	1
50～55 "	27	—	1	4	13	8	1	—	—	—
55歳以上	9	—	2	1	1	5	—	—	—	—

救 命 救 急 士 階 級 構 成 表

区分	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士
救急救命士	42	—	—	8	17	12	5

消 防 救 助 隊 の 編 成

区 分	特別救助隊	水難救助隊
合 計	31	14
隊 長	1	1
副隊長	1	1
隊 員	29	12

職 員 資 格 取 得 状 況

区 分	(実 員)	救急救命士	ブドウ糖投与			大型自動車	中型自動車	準中型自動車	普通自動車	大型特殊車	大型2種	自動2輪	けん引	小型船舶1級	小型船舶2級	陸上特殊無線士	海上特殊無線士	予防技術資格者			危険物取扱者			消防設備士		小型クレーン	玉掛技能	ガス溶接	アーク溶接	酸欠主任者	潜水士	銃砲取扱者	アマチュア無線	毒劇物取扱者	電気工事士	衛生管理者
			気管挿管認定	薬剤投与認定														査察	設備	危険物	甲種	乙種	丙種	甲種	乙種											
合計	199	39	34	36	34	138	142	58	39	11	4	75	9	15	24	178	21	56	21	37	2	186	5	3	7	65	64	17	3	23	36	23	12	1	5	4
司令長以上	9	0	0	0	0	6	9	0	0	0	0	5	2	3	1	6	3	0	1	1	0	8	1	0	0	3	3	1	0	4	2	0	4	0	0	1
司令	31	8	8	8	7	28	31	0	0	3	3	14	3	4	3	25	6	4	3	6	1	30	1	2	3	19	20	9	1	14	6	0	4	0	1	3
司令補	58	15	15	15	14	50	55	6	0	4	1	27	4	8	10	52	10	25	11	14	1	53	3	1	2	30	29	4	2	5	12	12	4	1	1	0
士長	48	12	10	11	11	37	25	35	2	2	0	20	0	0	10	48	2	23	5	13	0	48	0	0	1	13	12	1	0	0	8	5	0	0	2	0
消防士	49	4	1	2	2	17	19	17	36	2	0	9	0	0	0	47	0	4	1	3	0	47	0	0	1	0	0	2	0	0	8	6	0	0	1	0
他職員	4	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

職 員 研 修 状 況

区 分			対象者等	日数	人数
消防学校	初任総合教育		新たに消防職員に任命された者	180	7
	専科教育	特殊災害科	消防司令補又は消防士長の階級で現場指揮の業務に従事している者	9	1
		危険物科	危険物保安業務に従事している者	5	1
	幹部教育	初級幹部科	消防司令及び組織の管理を職務とする消防司令補の階級にあるもの	12	1
	特別教育	救急救命士再教育講習	救急救命士の資格を有する者	4	1
		救急隊員再教育講習	救急隊員として、1～5年間従事している者	5	2
		救助隊員再教育講習	救助隊員として、1～5年間従事している者	12	2
	特例教育	ホットトレーニング等を用いた火災性状に関するセミナー	消防司令補の階級で火災防御訓練指導に従事している者	1	2
消防大学校	専科教育	救急科	救急救命士の資格を有する者	33	1

第2編 予 防



用途別建築同意処理状況

(R6. 12. 31)

区 分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	159	9	12	14	13	14	19	14	13	8	21	16	6
専 用 住 宅	31	-	4	1	3	2	9	3	2	-	2	5	-
観 覧 場 ・ 集 会 所 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー・遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カラオケボックス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲 食 店 等	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
店 舗	4	-	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-
旅 館 ・ ホ テ ル	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
共 同 住 宅	8	1	-	-	-	2	1	-	1	1	1	1	-
病 院 ・ 診 療 所	4	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-
福 祉 施 設 ・ 保 育 所	11	1	1	4	1	-	-	-	-	-	2	2	-
幼 稚 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学 校	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
図 書 館 ・ 博 物 館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 衆 浴 場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駅 ・ 空 港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
工 場 ・ 作 業 所	9	1	1	-	1	-	2	-	-	1	2	-	1
車 庫 ・ 駐 車 場	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
倉 庫	9	-	2	-	1	1	-	-	-	-	3	2	-
事 務 所	23	-	1	2	3	3	2	2	3	3	1	-	3
複 合 建 築 物	3	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-
危 険 物 関 係	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
工 作 物 ・ そ の 他	49	5	3	3	1	5	5	8	7	1	6	3	2

※ 専用住宅には一戸建ての木造住宅は含まない。ただし、塩竈市内の準防火地域内の一戸建て木造住宅については含む。

市町別建築同意処理状況

(R6. 12. 31)

年	合計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
H27年	332	107	112	49	22	42
H28年	328	102	113	28	29	56
H29年	282	89	90	20	27	56
H30年	267	92	75	16	16	68
H31年	237	64	72	29	18	54
R2年	257	58	118	17	18	46
R3年	268	89	66	26	14	73
R4年	194	65	61	10	18	40
R5年	178	57	44	16	8	53
R6年	159	53	48	19	15	24

防 火 対 象 物 数

(R7. 3. 31)

区 分		合 計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町
合 計		3,933	1,127	1,462	323	357	664
1	イ 劇 場 ・ 映 画 館 ・ 演 芸 場 ・ 観 覧 場	14	1	2	1	3	7
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	72	10	14	20	17	11
2	イ キ ャ バ レ ー ・ ナ イ ト ク ラ ブ	3	2	1	-	-	-
	ロ 遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	10	3	3	1	-	3
	ハ 性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗	1	-	1	-	-	-
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	2	-	1	1	-	-
3	イ 待 合 ・ 料 理 店	6	3	1	-	-	2
	ロ 飲 食 店	106	21	34	21	13	17
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗	244	72	86	19	11	56
5	イ 旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	63	7	15	21	6	14
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 ・ 下 宿	1,218	271	665	46	76	160
6	イ 病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	103	35	33	5	9	21
	ロ 老 人 福 祉 施 設 ・ 救 護 施 設 等	61	21	22	7	3	8
	ハ デ ィ サ ー ビ ス セ ン タ ー ・ 保 育 所 等	148	41	51	11	17	28
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校 等	22	6	7	2	3	4
7	小 学 校 ・ 中 学 校 ・ 高 等 学 校 等	132	26	59	11	14	22
8	図 書 館 ・ 美 術 館 ・ 博 物 館	10	1	2	4	2	1
9	イ 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場 等	3	-	2	1	-	-
	ロ イ に 掲 げ る 公 衆 浴 場 以 外	-	-	-	-	-	-
10	車 両 の 停 車 場 ・ 船 舶 等 の 発 着 場	5	1	2	2	-	-
11	神 社 ・ 教 会 ・ 寺 院 等	62	18	14	10	7	13
12	イ 工 場 ・ 作 業 場	431	158	117	20	34	102
	ロ テ レ ビ ス タ ジ オ ・ 映 画 ス タ ジ オ	-	-	-	-	-	-
13	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	20	3	11	1	-	5
	ロ 飛 行 機 等 の 格 納 庫	-	-	-	-	-	-
14	倉 庫	229	106	48	15	27	33
15	前 各 号 に 該 当 し な い 事 業 所	555	152	142	64	91	106
16	イ 複 合 用 途 (特 定)	287	110	95	34	19	29
	ロ 複 合 用 途 (そ の 他)	119	55	34	3	5	22
17	文 化 財	7	4	-	3	-	-

※ 対象物数については、棟単位の数

危険物施設数

(R7. 3. 31)

市町別		計	塩 竈 市	多賀城市	松 島 町	七ヶ浜町	利 府 町
製造所等別							
製 造 所		2	1	-	-	1	-
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	49	14	13	4	4	14
	屋外タンク貯蔵所	169	113	25	9	20	2
	屋内タンク貯蔵所	11	4	1	5	-	1
	地下タンク貯蔵所	90	26	28	14	4	18
	簡易タンク貯蔵所	2	-	-	1	-	1
	移動タンク貯蔵所	544	179	217	7	95	46
	屋 外 貯 蔵 所	27	19	5	1	1	1
	小 計	892	355	289	41	124	83
取 扱 所	給 油 取 扱 所	81	22	23	9	7	20
	販 売 取 扱 所	6	3	-	3	-	-
	移 送 取 扱 所	8	7	-	-	1	-
	一 般 取 扱 所	99	29	33	7	16	14
	小 計	194	61	56	19	24	34
合 計		1,088	417	345	60	149	117

危険物廃止届出数

[移動タンク貯蔵所の転出を含む]

(R7. 3. 31)

市町別		計	塩 竈 市	多賀城市	松 島 町	七ヶ浜町	利 府 町
製造所等別							
製 造 所		-	-	-	-	-	-
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	-	-	-	-	-	-
	屋外タンク貯蔵所	2	2	-	-	-	-
	屋内タンク貯蔵所	1	-	-	1	-	-
	地下タンク貯蔵所	1	-	-	1	-	-
	簡易タンク貯蔵所	-	-	-	-	-	-
	移動タンク貯蔵所	40	16	15	-	7	2
	屋 外 貯 蔵 所	-	-	-	-	-	-
	計	44	18	15	2	7	2
取 扱 所	給 油 取 扱 所	2	1	1	-	-	-
	販 売 取 扱 所	-	-	-	-	-	-
	移 送 取 扱 所	-	-	-	-	-	-
	一 般 取 扱 所	2	-	1	1	-	-
	計	4	1	2	1	-	-
合 計		48	19	17	3	7	2

第四類危険物の貯蔵取扱許可数量 (単位kℓ)

(R7. 3. 31)

品名別 製造所等別		計	第 1 石 油 類	第 2 石 油 類	第 3 石 油 類	第 4 石 油 類	動植物 油 類	アルコ ール類
製 造 所		7,135.83	6,471.60	2.40	648.03	13.80	—	—
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2,231.30	341.39	299.38	375.42	834.78	61.41	318.92
	屋外タンク貯蔵所	629,249.34	502,754.50	76,812.50	46,829.74	100.10	—	2,752.50
	屋内タンク貯蔵所	121.62	—	18.65	79.07	—	20.00	3.90
	地下タンク貯蔵所	1,474.45	28.00	718.95	701.60	25.90	—	—
	簡易タンク貯蔵所	1.74	1.17	0.57	—	—	—	—
	移動タンク貯蔵所	16,967.24	6,799.60	7,441.82	2,539.22	—	—	186.60
	屋 外 貯 蔵 所	1,781.20	—	202.80	526.60	1,051.80	—	—
	計	651,826.89	509,924.66	85,494.67	51,051.65	2,012.58	81.41	3,261.92
取 扱 所	給 油 取 扱 所	3,461.14	1,532.53	1,861.21	64.20	3.20	—	—
	販 売 取 扱 所	20.10	—	20.10	—	—	—	—
	移 送 取 扱 所	94,104.00	30,988.00	40,498.00	21,268.00	—	—	1,350.00
	一 般 取 扱 所	111,287.39	37,270.14	58,586.13	13,542.05	1,581.65	23.00	284.42
	計	208,872.63	69,790.67	100,965.44	34,874.25	1,584.85	23.00	1,634.42
合 計		867,835.35	586,186.93	186,462.51	86,573.93	3,611.23	104.41	4,896.34

予
防

第四類以外危険物の貯蔵取扱許可数量 (単位kg)

(R7. 3. 31)

品名別 製造所等別		計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 5 類	第 6 類
製 造 所		—	—	—	—	—	—
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	35,200.00	—	30,000.00	—	5,200.00	—
	屋外タンク貯蔵所	14,750,000.00	—	14,750,000.00	—	—	—
	屋内タンク貯蔵所	—	—	—	—	—	—
	地下タンク貯蔵所	—	—	—	—	—	—
	簡易タンク貯蔵所	—	—	—	—	—	—
	移動タンク貯蔵所	10,800.00	—	10,800.00	—	—	—
	屋 外 貯 蔵 所	5,000.00	—	5,000.00	—	—	—
	計	14,801,000.00	—	14,795,800.00	—	5,200.00	—
取 扱 所	給 油 取 扱 所	—	—	—	—	—	—
	販 売 取 扱 所	—	—	—	—	—	—
	移 送 取 扱 所	—	—	—	—	—	—
	一 般 取 扱 所	2,710,300.00	—	2,710,300.00	—	—	—
	計	2,710,300.00	—	2,710,300.00	—	—	—
合 計		17,511,300.00	—	17,506,100.00	—	5,200.00	—

市町別危険物施設の許可及び検査状況

(R7. 3. 31)

市町別	製造所等 区分	合計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	販売	移送	一般
塩竈市	設置許可	4	-	3	-	-	-	-	-	3	-	1	1	-	-	-
	設置完成検査	4	-	3	-	-	-	-	-	3	-	1	1	-	-	-
	変更許可	15	-	9	-	7	-	-	-	2	-	6	4	-	-	2
	変更完成検査	17	-	12	-	10	-	-	-	2	-	5	2	-	-	3
	仮使用承認	5	-	2	-	2	-	-	-	-	-	3	1	-	-	2
多賀城市	設置許可	11	-	10	1	-	-	-	-	9	-	1	1	-	-	-
	設置完成検査	11	-	10	1	-	-	-	-	9	-	1	1	-	-	-
	変更許可	22	-	14	-	1	-	2	-	11	-	8	3	-	-	5
	変更完成検査	23	-	13	-	-	-	2	-	11	-	10	4	-	-	6
	仮使用承認	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	1	-	-	4
松島町	設置許可	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	変更許可	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	変更完成検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	仮使用承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
七ヶ浜町	設置許可	5	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	4	-	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
	変更許可	7	-	7	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
	変更完成検査	5	-	5	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
	仮使用承認	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府町	設置許可	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	変更許可	10	-	6	-	-	-	-	-	6	-	4	4	-	-	-
	変更完成検査	10	-	6	-	-	-	-	-	6	-	4	4	-	-	-
	仮使用承認	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-
合 計	設置許可	20	-	18	1	-	-	-	-	17	-	2	2	-	-	-
	設置完成検査	19	-	17	1	-	-	-	-	16	-	2	2	-	-	-
	変更許可	54	-	36	-	12	-	2	-	22	-	18	11	-	-	7
	変更完成検査	55	-	36	-	12	-	2	-	22	-	19	10	-	-	9
	仮使用承認	17	-	5	-	4	-	1	-	-	-	12	6	-	-	6

石油コンビナート等特別防災区域概要

1 特定事業所の現況

(1) 塩釜地区 面積 206,583m² (R7.3.31)

特 定 事 業 所 名	種 別	市 町
カ メ イ 物 流 サ ー ビ ス (株)	第1種 (レイアウト)	塩竈市
東 西 オ イ ル タ ー ミ ナ ル (株) 塩 釜 油 槽 所	第 1 種	
出 光 興 産 (株) 貞 山 塩 釜 油 槽 所	第 1 種	
E N E O S (株) 塩 釜 油 槽 所	第 1 種	
出 光 興 産 (株) 塩 釜 油 槽 所	第 1 種	

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所	9 9 基
・ 特定屋外タンク貯蔵所 (1,000kℓ以上)	(4 1 基)
	内訳
	新法タンク 6 基
	新基準タンク 3 2 基
	旧基準タンク 3 基
・ 準特定屋外タンク貯蔵所 (500kℓ以上)	(4 1 基)
	内訳
	新法タンク 2 基
	新基準タンク 3 5 基
	旧基準タンク 4 基
・ その他の屋外タンク貯蔵所	(1 7 基)
高圧ガスタンク	8 基

○石油類等の貯蔵・取扱量

石 油 類 の 貯 蔵 ・ 取 扱 量	2 8 0 , 7 5 0 . 7 5 kℓ
石 油 類 の 貯 蔵 量	1 5 2 , 3 3 3 . 7 4 kℓ
石 油 類 の 取 扱 量	1 2 8 , 4 1 7 . 0 1 kℓ
高 圧 ガ ス の 処 理 量	9 9 3 , 2 6 5 N m ³

○共同防災組織概要

防災要員	常 駐	9 名 (防災センター)
	駆け付け要員	1 0 名 (事業所駆け付け)
	計	1 9 名

○防災資機材等

甲種普通化学消防車	1 台
普通高所放水車	1 台
泡消火薬剤	7 , 5 6 0 リットル
可搬式放水砲	2 , 0 0 0 リットル/min 1 基
オイルフェンス	B型 5 4 0 m
オイルフェンス展張船	1 隻
耐熱服	2 着
空気呼吸器	2 基

○災害防止協定等

塩釜石油基地災害防止に関する協定書（昭和48年12月）

消防道路の設置（幅員 8m 延長 400m）

災害相互応援協定の締結（平成8年3月27日）

〔仙台地区及び塩釜地区の共同防災組織相互の応援〕

○緩衝緑地の設置（石災法に基づく）

一本松地区（昭和53年から57年に実施） 70, 166㎡

中の島地区（休憩緑地） 22, 600㎡

（2） 仙台地区（一部）

（R7.3.31）

特 定 事 業 所 名	種 別	市 町
東 邦 ア セ チ レ ン (株) 多 賀 城 工 場	第 2 種	多 賀 城 市
E N E O S (株) 仙 台 製 油 所	第1種（レイアウト）	仙 台 市
		多 賀 城 市
		七 ヶ 浜 町

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所 15基

・特定屋外タンク貯蔵所（1,000kℓ以上）（9基）

・準特定屋外タンク貯蔵所（500kℓ以上）（0基）

・その他の屋外タンク貯蔵所（6基）

○石油類等の貯蔵・取扱量

石 油 類 の 貯 蔵 ・ 取 扱 総 数 量 553, 588. 771 kℓ

製 造 所 に お け る 数 量 7, 120. 591 kℓ

貯 蔵 所 に お け る 数 量 472, 959. 700 kℓ

取 扱 所 に お け る 数 量 73, 508. 480 kℓ

高 圧 ガ ス の 処 理 量 47, 368, 888. 0 Nm³

○仙台地区共同防災運営協議会

防災要員 常 駐 17名

防災資機材等

大型化学高所放水車 2台

泡原液搬送車 2台

甲種普通化学消防車 1台

泡消火薬剤 298, 809リットル

可搬式泡放水砲 2, 000リットル／分 1基

大型放水砲 3, 000リットル／分 2基

耐熱服 3着

空気呼吸器又は酸素呼吸器 3個

オイルフェンス 1, 080m

オイルフェンス展張船 1隻

油回収装置 1基

第 3 編 警 防



消 防 水 利 現 況

市 町 別 水利区分			合 計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町
消 火 栓	合 計		2,798	1,052	672	274	393	407
	公 設	7 5 mm	238	18	62	26	49	83
		1 0 0 mm	1,041	424	304	108	74	131
		125～150mm	944	382	175	48	221	118
		2 0 0 mm	209	61	53	18	29	48
		2 5 0 mm	111	69	25	8	1	8
		300mm以上	191	93	53	24	5	16
	私 設		64	5	—	42	14	3
防 火 水 槽	合 計		668	124	184	84	116	160
	公 設	4 0 m ³ 未満	23	11	2	2	8	—
		4 0 m ³ 以上	539	103	156	52	102	126
		8 0 m ³ 以上	8	—	2	2	4	—
	私 設		98	10	24	28	2	34
そ の 他	合 計		157	17	13	69	32	26
	池 ・ 海水 プ ー ル		111	4	1	64	28	14
			46	13	12	5	4	12

消 火 薬 剤 保 有 状 況

区 分	品 名	高分子ゲル生成型フッ素 界面活性剤 (メガフォームAGF3T) (メガフォームAGF-T)	水 成 膜 (メガフォームF623T) (メガフォームF633T)等	たん白 (たん白泡原液) (フロロプロテインアルコフォーム)
合 計		12,640 ℓ	—	—
塩 釜 消 防 署		240ℓ (3T 200ℓ T 40ℓ)	—	—
多 賀 城 消 防 署		1,910ℓ (3T)	—	—
松 島 消 防 署		160ℓ (3T)	—	—
七 ヶ 浜 消 防 署		660ℓ (3T 500ℓ T 160ℓ)	—	—
利 府 消 防 署		660ℓ (3T 500ℓ T 160ℓ)	—	—
組 合 倉 庫		9,000ℓ (3T)	—	—
消 防 本 部		10ℓ (3T)	—	—

消防車両等の現況（その1）

区分	車両名称	シャシ	年式	馬力	使用 年月	水槽 容量 m ³	薬液 容量 m ³	無線名称	ポンプ 規格	機装 会社
消防本部	指令1	トヨタ	H28	205	9	—	—	塩消指令1	—	特機
	本連1	トヨタ	H25	178	11.06	—	—	—	—	—
	指揮隊1	トヨタ	H27	160	10.01	—	—	塩釜指揮隊1	—	アオキ
	警防指揮1	トヨタ	H15	269	21.04	—	—	塩消警防指揮1	—	トヨタ
	搬送1	トヨタ	H20	136	16.1	—	—	塩消搬送1	—	トヨタ
	予備1	三菱	H14	225	23.01	1.5	—	塩消予備1	A-1	日機
	予備2	日野	H18	150	18.04	—	—	—	A-2	日機
	予備救急1	トヨタ	H26	160	10.04	—	—	予備救急1	—	トヨタ
	予備救急2	トヨタ	H27	151	9.03	—	—	予備救急2	—	トヨタ
塩釜消防署	総務連絡車	スズキ	R3	49	4	—	—	—	—	—
	予防連絡車	日産	R3	136	4	—	—	—	—	—
	塩釜1	日野	H28	220	9.03	2.0	—	塩釜1	A-2	日機
	塩釜2	日野	H27	130	10.01	—	—	塩釜2	A-2	日機
	水槽1	日野	H23	380	14.01	10.0	—	塩釜水槽1	B-2	日機
	高所1	日野	H21	320	16.01	—	—	塩釜高所1	A-1	モリタ
	救急1	トヨタ	R7	269	0.02	—	—	塩釜救急1	—	トヨタ
	救急6	トヨタ	H31	151	6.01	—	—	塩消救急6	—	トヨタ
	指揮1	スズキ	R6	124	0.04	—	—	塩釜指揮1	—	アオキ
多賀城消防署	搬送2	いすゞ	H27	210	10.02	—	—	塩釜搬送2	—	いすゞ
	塩釜連絡車	スズキ	R3	49	4	—	—	—	—	—
	消防救急艇	—	H25	449	12.01	—	—	塩釜艇1	—	勝吉田造船
	多賀城1	日野	H26	220	11	—	—	多賀城1	A-2	日機
	多賀城2	日野	H24	150	13.01	—	—	多賀城2	A-2	G M
	救助1	日野	H24	220	13.01	—	—	多賀城救助1	—	モリタ
	救助2	いすゞ	H21	110	16.01	—	—	—	—	サクラ
	化学1	日野	H16	390	21.01	2.0	1.8	多賀城化学1	A-1	日機
	梯子1	日野	H30	380	7.03	—	—	多賀城梯子1	—	モリタ
津波・大規模災害対策車両	救急2	トヨタ	R7	269	0.02	—	—	多賀城救急2	—	トヨタ
	指揮2	日産	H28	147	9.01	—	—	多賀城指揮2	—	日産
	津波・大規模災害対策車	いすゞ	H27	260	9.07	—	—	塩釜災対1	—	赤尾
	輸送1	日野	H27	150	10.01	—	—	塩釜輸送1	—	日野
	消火・通報訓練	マツダ	H18	100	18.08	—	—	—	—	マツダ
	救急7	トヨタ	H25	151	12.01	—	—	救急7	—	トヨタ

消 防 車 両 等 の 現 況 （その2）

区 分	車両名称	シャシ	年 式	馬 力	使 用 年 月	水槽 容量 m ³	薬液 容量 m ³	無 線 名 称	ポンプ 規 格	機 装 会 社
松島消防署	松 島 1	日 野	R 3	240	4	2. 0	—	松 島 1	A-2	日 機
	松 島 2	日 野	R 5	150	2. 02	—	—	松 島 2	A-2	モ リ タ
	梯 子 2	日 野	H 7	195	30	—	—	松 島 梯 子 2	A-2	日 機
	救 急 3	日 産	R 6	147	1. 01	—	—	松 島 救 急 3	—	日 産
	指 揮 3	ス ズ キ	R 6	124	0. 04	—	—	松 島 指 揮 3	—	ス ズ キ
七ヶ浜消防署	化 学 2	日 野	H 3 0	240	6. 04	1. 5	0. 5	七ヶ浜化学 2	A-1	日 機
	七ヶ浜 2	日 野	H 2 4	150	13	—	—	七ヶ浜 2	A-2	G M
	救 急 4	日 産	R 4	172	3. 02	—	—	七ヶ浜救急 4	—	日 産
	指 揮 4	マ ツ ダ	H 2 3	144	14. 03	—	—	七ヶ浜指揮 4	—	マ ツ ダ
利府消防署	化 学 3	日 野	R 2	240	5. 02	1. 5	0. 5	利 府 化 学 3	A-2	モ リ タ
	利 府 2	日 野	H 2 2	150	15. 01	—	—	利 府 2	A-2	モ リ タ
	救 急 5	日 産	R 6	147	1. 01	—	—	利 府 救 急 5	—	日 産
	指 揮 5	マ ツ ダ	H 2 2	144	15. 02	—	—	利 府 指 揮 5	—	マ ツ ダ
	塩釜支援 1	日 野	H 2 3	360	14. 01	—	—	塩 消 支 援 1	—	ヨ コ ハ マ モ ー タ ー

消 防 車 両 等 配 置 状 況

車両別 署 別	合 計	普通 ポンプ車	水槽付 ポンプ車	化学 消防自動車	大型 水槽車	大型 高所放水車	3 5 m級 梯子車	2 0 m級 梯子車	救助 工作車（災害 対応車含む。）	高規格 救急車	指令車・ 指揮車	消防連 絡車	消防救 急艇	搬 送車	人員輸 送車	支 援車	消火通 報訓練 指導車	予備 ポンプ車	予備高 規格救 急車	非常用 救急車
合 計	47	5	3	3	1	1	1	1	3	6	8	4	1	2	1	1	1	2	1	2
消 防 本 部	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	—	1	—	—	—	2	—	2
塩 釜 消 防 署	10	1	1	—	1	1	—	—	—	2	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
多 賀 城 消 防 署	12	1	1	1	—	—	1	—	3	1	1	—	—	—	1	—	1	—	1	—
松 島 消 防 署	5	1	1	—	—	—	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七ヶ浜消防署	4	1	—	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
利 府 消 防 署	5	1	—	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—

消防資機材保有状況（その1）

署 別 資 機 材 名		保有数	塩 釜 消防署	多賀城 消防署	松 島 消防署	七ヶ浜 消防署	利 府 消防署	予 備
消防活動用器具	消防用ホース65mm（高圧含む。）	347	87	90	70	50	50	—
	消防用ホース50mm	361	76	87	73	64	61	—
	消防用ホース40mm	64	14	18	13	10	9	—
	無 反 動 管 鎗	34	4	10	6	6	6	2
	プ ロ ジ ェ ッ ト ガ ン	10	1	2	2	2	2	1
	放 水 銃（可搬式含む。）	4	—	1	—	1	1	1
	泡 管 鎗	18	2	5	5	1	5	—
	ピ ッ ク ア ッ プ ノ ズ ル	6	—	1	2	—	1	2
	ガ ン タ イ プ ノ ズ ル	24	5	7	5	4	3	—
	ラ イ ン プ ロ ポ ー シ ョ ナ ー	9	2	2	2	1	1	1
	小 型 動 力 ポ ン プ	7	1	2	1	1	1	1
	金 属 探 知 器	1	—	1	—	—	—	—
一般救助用器具	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1	—	1	—	—	—	—
	救 命 索 発 射 銃	1	—	1	—	—	—	—
重量物排除用器具	可 搬 ウ ィ ン チ	6	1	2	1	1	1	—
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ ー 式	2	—	2	—	—	—	—
	ラ ム シ リ ン ダ ー	2	—	2	—	—	—	—
	マ ン ホ ー ル 救 助 器 具	1	—	1	—	—	—	—
	ス プ レ ッ ダ ー	10	2	5	2	1	—	—
	油 圧 式 救 助 器 具	5	1	2	—	—	2	—
切断用器具	油 圧 カ ッ タ ー	2	—	1	—	—	—	1
	エ ア ツ ー ル	1	—	1	—	—	—	—
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	6	1	1	2	1	1	—
	チ ェ ン ソ ー	10	1	3	2	1	2	1
	ペ ダ ル カ ッ タ ー	1	—	1	—	—	—	—
	ガ ス 溶 断 器	1	—	1	—	—	—	—
	エ ア ー ソ ー	1	—	1	—	—	—	—
破壊用器具	削 岩 機	2	1	1	—	—	—	—
	携 帯 用 コ ン ク リ ー ト 破 壊 器 具	7	1	3	1	1	1	—

消防資機材保有状況（その2）

資機材名 署別		保有数	塩釜 消防署	多賀城 消防署	松島 消防署	七ヶ浜 消防署	利府 消防署	予備
呼吸保護器具	空気呼吸器	66	12	21	12	8	8	5
	軽量ボンベ	162	34	53	33	20	22	—
	アクアラングボンベ	10	—	10	—	—	—	—
	送排風機	1	—	1	—	—	—	—
検知・測定用器具	ガス検知器	11	2	3	2	2	2	—
隊員保護用器具	耐熱服	17	6	8	—	—	—	3
	耐電衣	7	2	5	—	—	—	—
	陽圧式化学防護服	15	—	15	—	—	—	—
水難救助用資機材	組立式救命ボート	5	1	2	1	—	—	1
	救命ゴムボート	12	3	4	2	1	1	1
検索用器具	災害救助用スコープ	5	1	1	1	1	1	—
高度救助用器具	画像探索機	1	—	1	—	—	—	—
	熱画像直視装置	3	1	1	1	—	—	—
山岳救助用器具	編み構造ロープ用資機材一式	1	—	1	—	—	—	—
その他の救助用器具	携帯用発電機	14	4	4	3	1	1	1
その他消防資機材	コンプレッサー	4	1	1	1	1	—	—
	バッテリー充電機	5	1	1	1	1	1	—
	給水タンク	2	—	—	1	1	—	—
	林野火災用資機材	1	—	—	—	—	1	—
			(小型可搬ポンプ・ホース・水槽5t・500ℓ 各1)					
	エアテント一式	4	〔4m×4m 3基 4m×6m 1基〕					
	発電機・投光器一式	1	※ 緊急消防援助隊関係 消防本部保管					
	簡易ベッド・椅子	一式	椅子28 ベッド37					
	簡易テント(タープ)	1						

救 急 資 器 材 保 有 状 況

署 別 資 器 材 名	保有数	塩 釜 消防署	多賀城 消防署	松 島 消防署	七ヶ浜 消防署	利 府 消防署	予 備
加 湿 酸 素 吸 入 装 置	9	2	2	1	1	1	2
酸素ボンベ (10L)	49	14	10	7	7	8	3
酸素ボンベ (4L)	7	3	—	—	—	—	4
酸素ボンベ (2L)	40	14	9	5	6	6	—
ス ト レ ッ チ ャ ー	11	2	2	1	1	1	4
スクープストレッチャー	11	2	2	1	1	1	4
電 動 吸 引 器	19	4	4	2	2	2	5
患 者 監 視 モ ニ タ ー	11	2	2	1	1	1	4
静 脈 可 視 化 装 置	1	1	—	—	—	—	—
減 圧 固 定 具	9	2	2	1	1	1	2
自 動 式 人 工 呼 吸 器	9	2	2	1	1	1	2
手 動 式 人 工 呼 吸 器	10	3	2	1	1	1	2
タ ー ポ リ ン 担 架	9	2	2	1	1	1	2
喉 頭 鏡	16	3	3	2	2	2	4
ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡	6	2	1	1	1	1	—
スペースライザー消毒器	2	1	—	1	—	—	—
オ ゾ ン 発 生 器	8	3	1	1	1	2	—
自 動 心 臓 マ ッ サ ー ジ シ ス テ ム	9	2	2	1	1	1	2
半 自 動 式 除 細 動 器	9	2	2	1	1	1	2
血中酸素飽和度測定器 (携帯用)	10	2	3	1	1	1	2
バ ッ ク ボ ー ド	13	2	3	1	1	1	5
A E D (自 動 体 外 式 除 細 動 器)	5	1	1	1	1	1	—
陰圧式ポータブルアイソレータ	1	—	—	—	—	—	1

組合管内各市町消防団現況

消防団別 区 分	分 団 数	団 員 数		
		定 員	実 員	欠 員
合 計	3 5 分団 1 救護本部	1, 046	699	347
塩 竈 市 塩 竈 消 防 団	4 分団 1 救護本部	165	70	95
塩 竈 市 浦 戸 消 防 団	2 分 団	80	48	32
多 賀 城 市 消 防 団	8 分 団	200	141	59
松 島 町 消 防 団	6 分 団	250	182	68
七ヶ浜町消防団	1 0 分 団	220	177	43
利 府 町 消 防 団	5 分 団	131	81	50

組合管内各市町消防団機械器具現況

消防団別 資機材別				
	普通ポンプ車	可搬小型動力 消防ポンプ	積載車 (車両のみ)	ホース (本)
合 計	15	32	36	1, 529
塩 竈 市 塩 竈 消 防 団	2	8	2	197
塩 竈 市 浦 戸 消 防 団	—	8	4	188
多 賀 城 市 消 防 団	6	—	2	296
松 島 町 消 防 団	1	8	15	296
七ヶ浜町消防団	6	—	5	263
利 府 町 消 防 団	—	8	8	289

第4編 指令



通 信 施 設 配 置 状 況

R7.4.1現在

区 分		合 計	消防本部	塩釜消防署	塩竈市役所	多賀城消防署	多賀城市役所	松島消防署	松島町役場	七ヶ浜消防署	七ヶ浜町役場	利府消防署	利府町役場	仙台市消防局	防災関係機関
指 令 装 置		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
119番専用回線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指令端末装置直通回線		5	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-
警察直通電話回線		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
防災機関等直通電話回線		14	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	1	8
特別加入電話回線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緊急連絡用電話回線		5	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-
電話関係	固定加入電話	51	21	6	-	6	-	6	-	6	-	6	-	-	-
	内線回線	70	26	13	1	6	1	6	1	6	1	6	1	1	1
	ファクシミリ	11	6	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-
	携帯電話	21	9	3	-	3	-	2	-	2	-	2	-	-	-
無線関係	固定局	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	基地局	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	移動局	(車載型)	38	9	9	-	7	-	5	-	4	-	4	-	-
		(可搬型)	7	2	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-
		(卓上型)	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		(携帯型)	29	6	5	-	6	-	4	-	4	-	4	-	-
	署活系	51	10	10	-	10	-	7	-	7	-	7	-	-	-
受令機		4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

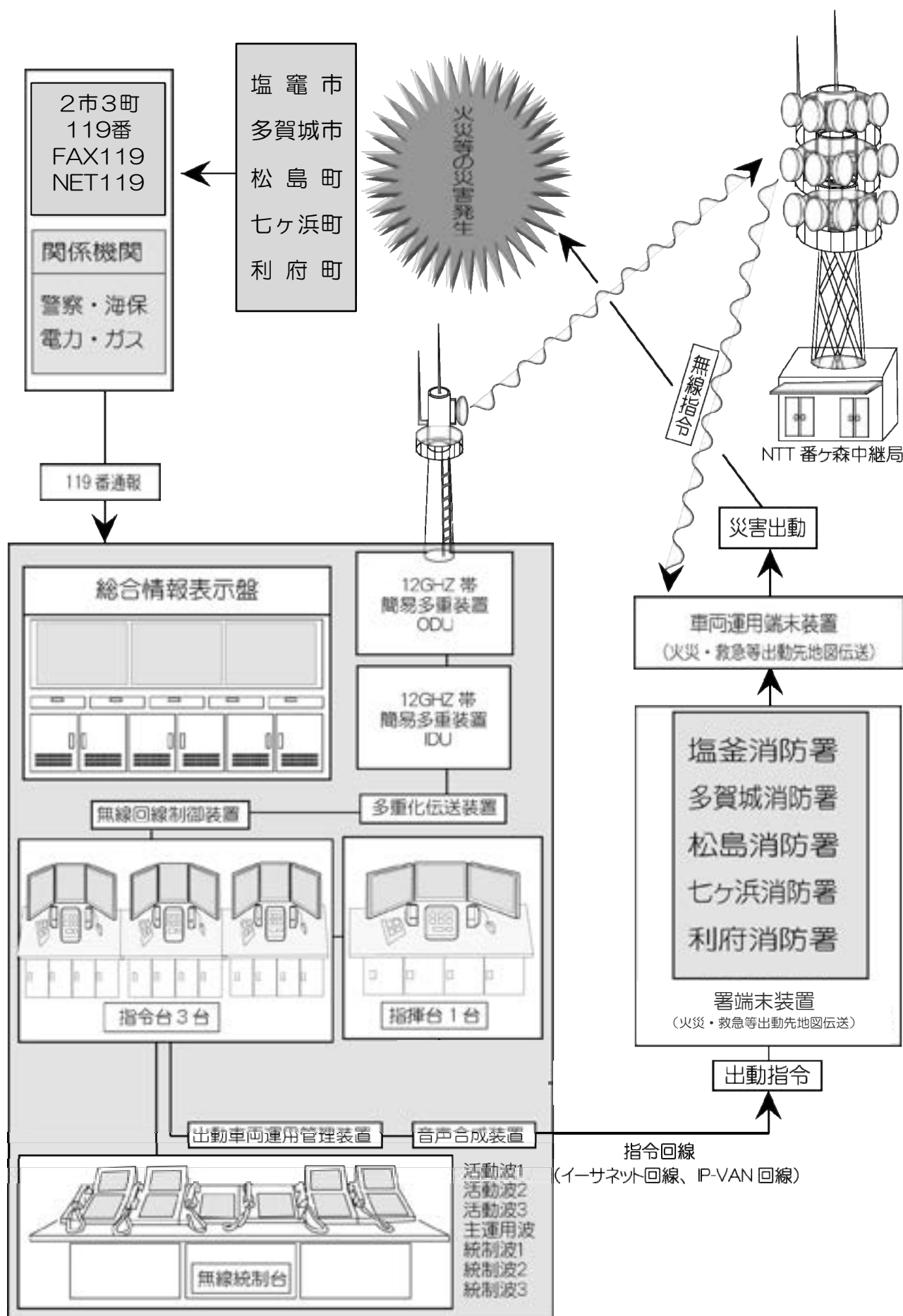
無 線 通 信 施 設（アナログ無線）

	基 数	防災相互通信波	署活系第1波	署活系第2波	署活系第3波	備 考
基地・固定局(10w)	1	1	-	-	-	指令課「しおしょうほんぶ」
移動局10w	1	1	-	-	-	支援1
携帯5w、1w	7	7	-	-	-	塩釜1001～1005、災対1、2
署活系1w	51	-	51	51	2	緊援隊用17波実装 2基

無 線 通 信 施 設（デジタル無線等）

	基 数	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	備 考
基地・多重無線固定局	3	3	3	3	3	3	3	3	
移動局	(車載型)	38	38	38	38	38	38	38	
	(可搬型)	7	7	7	7	7	7	7	
	(卓上型)	3	3	3	3	3	3	3	
	(携帯型)	29	29	29	29	29	29	29	
電 波 型 式	基地局:5K80G1D、多重無線固定局:2M50G7W								
空 中 線 電 力	基地局:10w、多重無線固定局:300mw								

消防緊急通信指令システム図



指
令

通信指令装置の機能概要

装置の名称	装置の機能
指令装置	塩釜地区二市三町からの火災、救急、その他各種災害の119番通報を受付する指令台及び指令業務、無線交信等を効率よく行うため、統合型位置情報通知装置、自動出動指定装置、地図等検索装置、表示盤、デジタル無線設備等の各通信機器、情報機器と連携させ、最新のVOIP化技術によりフルデジタル化で構成されています。
自動出動指定装置	システムの自動化機能を制御し、各種検索、災害地点及び災害種別の決定により、出動隊の自動編成、出動指令、表示盤制御、進行事案の管理を行います。
地図等検索装置	自動出動指定装置と接続され、災害地点の地図等を表示するほか、単独での検索も可能で、地図上からの逆検索により災害地点を自動出動指定装置へ逆転送し、災害地点の確定と自動隊編成を行えるものです。
表示盤	60インチLCD3画面にて、消防、救急受付業務で必要な気象観測情報、気象通報及び車両運用状況、監視カメラ映像等を表示します。
音声合成装置	自動出動指定装置と連動し、災害通報の覚知情報をもとに災害種別、災害地点、出動車両等の情報を自動的に編集し自動出動指定装置から指令等が音声合成により出力します。
指令電送装置	出動指令操作と連動して自動出動指定装置からの出動指令情報及び地図等検索装置からの災害地点周辺地図を各署等に電送します。
署端末装置	各署に設置され、指令センターとNTT専用線（イーサネット回線、IP-VAN回線）で接続し、指令装置から各署に出動の予告音や、音声合成の指令放送等が行われます。
順次指令装置	災害発生時、関係職員及び各市町に順次呼出による災害発生通報を順次配信します。
出動車両運用管理装置	管理装置と車両運用端末装置で構成され、車両運用端末装置からの動態、車両位置情報を管理装置で受け、自動出動指定装置及び車両運用表示盤に反映するものです。
災害状況等自動案内装置	市町民からの災害出動等の状況問い合わせに自動的に応答します。
統合型位置情報通知装置	携帯電話、固定電話、IP電話から送信される位置情報を受信し、連動する指令台に送信することにより、自動出動指定装置及び地図検索装置に情報・地図が表示され、地点決定をします。
無線統制台	基地局無線機と接続し、出動車両の無線交信を集中制御する操作台です。
Eメール指令装置	指令台の災害覚知情報に基づき、指令起動操作と連動して火災、災害情報を消防職員、関係者が所有する携帯電話等へ電子メールで通知します。
電源設備	システムに必要な電源設備は無停電電源設備（AC100V系）直流電源装置（DC12V系）直流電源装置（DC48V系）非常用発電機で各種の電源を一元的に管理します。
119番FAX受信装置	要援護者等からの119番FAX通報を受信する専用の受信装置です。

装置の名称	装置の機能
NET119緊急通報システム	聴覚、発語等の障がいにより、音声での緊急通報が困難な方がスマートフォン等を使用し、Web上から円滑に消防へ通報を行えるようにするシステムです。
駆け込み通報装置	各署に設置され、職員が災害等で不在の場合、本装置の受話機を取ることで指令台と直接通話でき、指令台側では119番受信時と同様に自動出動指定装置と連動して指令業務を行います。
システム監視装置	主要機器のヘルスチェックの状況を自動で監視し、システムの運用状況及び障害発生時の状況を履歴として保持し、指令センター員に通知します。
データ修正装置	自動出動指定装置、地図等検索装置、車両動態管理装置、各種表示盤の各データの修正等をオンラインにて行うメンテナンス装置です。
長時間録音装置	各指令台で扱う119番通報内容、無線交信内容を時刻と共に自動録音し、日時、相手番号等で検索・再生することができます。
庁舎監視装置	各署にネットワークカメラを設置。撮影した映像を指令センターディスプレイに表示し、各庁舎周囲を監視します。
気象情報収集装置	各種の気象状況を自動観測し、指令台に表示及び記録を行い災害対策の支援情報として活用します。
デジタル無線設備	指令センターと番ヶ森基地局をパラボラ空中線、多重無線設備で無線アプローチ回線を構成し、無線運用は音声通信のみならず、データ通信機能も備え、また、一斉通信に加え、グループ及び個別セレクト機能具备するなど秘匿性に優れる、高機能・高性能な設備です。

その他の機器の概要

装置の名称	装置の機能
全国瞬時警報システム (J-ALERT)	日本国内で地震や津波による大規模災害や武力攻撃等が発生した際に、総務省消防庁から提供される国民保護に関する情報を、地域衛星通信ネットワーク経由で受信して解析処理を行い、指令制御装置等と接続し、本部・各署庁内放送及びデジタル無線施設に自動送信することで、消防職員へ情報を迅速に伝達するものです。 ※ J-ALERTにより伝達される情報 ① 地震情報(緊急地震速報、震度速報等) ② 津波情報(大津波警報、津波警報、津波注意報) ③ 気象情報(気象警報、気象注意報) ④ 有事関連情報(弾道ミサイル情報、ゲリラ攻撃、大規模テロ情報等) ⑤ その他(火山情報、土砂災害警戒情報、その他の国民保護情報等)

災 害 受 付 状 況（１月～６月）

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他 の災害	訓練	いたずら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
1 月	1 1 9 番	2	360	－	2	27	1	9	9	2	－	22	434
	携 帯 119	4	419	3	9	3	－	39	38	1	19	45	580
	加入電話	－	71	－	4	5	－	1	1	17	－	12	111
	そ の 他	－	1	－	－	－	－	－	－	2	－	－	3
	小 計	6	851	3	15	35	1	49	48	22	19	79	1,128
2 月	1 1 9 番	－	356	－	2	29	－	6	7	5	－	16	421
	携 帯 119	4	440	3	1	5	－	42	39	－	20	46	600
	加入電話	－	42	2	6	7	－	2	1	16	－	5	81
	そ の 他	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	小 計	4	839	5	9	41	0	50	47	21	20	67	1,103
3 月	1 1 9 番	1	333	1	－	72	4	7	16	4	－	22	460
	携 帯 119	1	387	4	3	9	－	43	24	－	8	26	505
	加入電話	1	49	1	1	4	－	1	－	22	－	6	85
	そ の 他	1	2	－	－	－	－	－	－	2	－	1	6
	小 計	4	771	6	4	85	4	51	40	28	8	55	1,056
4 月	1 1 9 番	－	338	1	1	50	2	13	12	1	－	18	436
	携 帯 119	1	386	4	1	5	－	57	40	3	10	23	530
	加入電話	1	40	2	4	14	－	－	－	9	－	18	88
	そ の 他	－	1	－	－	1	－	－	－	1	－	－	3
	小 計	2	765	7	6	70	2	70	52	14	10	59	1,057
5 月	1 1 9 番	1	321	－	1	53	3	12	17	－	2	28	438
	携 帯 119	6	448	1	8	9	3	40	47	－	10	45	617
	加入電話	1	54	1	3	－	－	2	1	21	－	20	103
	そ の 他	－	3	－	2	1	－	－	－	1	－	－	7
	小 計	8	826	2	14	63	6	54	65	22	12	93	1,165
6 月	1 1 9 番	－	338	－	2	116	－	8	16	－	1	13	494
	携 帯 119	2	445	1	6	11	2	49	49	1	13	26	605
	加入電話	－	45	1	1	2	－	1	－	24	－	10	84
	そ の 他	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	小 計	2	829	2	9	129	2	58	65	25	14	49	1,184

応急手当の口頭指導（プロトコル）実施状況（１月～６月）

種別 月	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小 計
1月	－	7	－	1	－	－	8
2月	－	12	－	1	－	－	13
3月	－	10	－	－	－	－	10
4月	－	16	－	－	－	－	16
5月	－	7	－	－	－	－	7
6月	－	9	－	1	－	－	10
小計	－	61	－	3	－	－	64

災 害 受 付 状 況（7月～12月）

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他 の災害	訓練	いたずら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
7 月	119番	－	401	－	2	59	－	8	32	3	－	34	539
	携帯119	2	550	4	1	4	－	56	65	－	19	48	749
	加入電話	1	53	－	5	3	－	－	1	19	－	8	90
	その他	－	11	－	－	－	－	－	－	2	－	－	13
	小計	3	1,015	4	8	66	0	64	98	24	19	90	1,391
8 月	119番	－	415	1	1	32	13	26	19	1	－	18	526
	携帯119	2	505	5	4	5	1	56	61	－	18	45	702
	加入電話	－	55	3	11	9	－	2	2	19	－	16	117
	その他	1	11	－	－	－	－	－	－	－	－	－	12
	小計	3	986	9	16	46	14	84	82	20	18	79	1,357
9 月	119番	－	319	－	－	62	1	8	14	1	2	10	417
	携帯119	1	439	3	4	9	－	50	36	－	12	36	590
	加入電話	－	35	1	6	8	－	1	－	10	－	7	68
	その他	－	10	1	1	－	－	－	－	－	－	－	12
	小計	1	803	5	11	79	1	59	50	11	14	53	1,087
10月	119番	1	369	1	2	100	－	14	19	4	3	23	536
	携帯119	4	459	2	1	15	1	59	48	3	21	40	653
	加入電話	－	60	2	4	8	－	－	－	10	－	11	95
	その他	－	15	－	3	2	－	－	－	－	－	－	20
	小計	5	903	5	10	125	1	73	67	17	24	74	1,304
11月	119番	－	317	1	－	150	－	8	25	－	3	21	525
	携帯119	1	445	4	6	21	－	34	36	1	27	23	598
	加入電話	－	42	－	－	12	－	1	－	15	－	9	79
	その他	1	24	1	3	－	－	－	－	－	－	1	30
	小計	2	828	6	9	183	0	43	61	16	30	54	1,232
12月	119番	1	380	1	2	78	－	15	22	1	－	24	524
	携帯119	5	520	3	8	12	－	40	50	2	28	59	727
	加入電話	1	44	1	10	13	－	－	2	7	1	12	91
	その他	－	18	－	2	－	－	－	－	－	－	1	21
	小計	7	962	5	22	103	0	55	74	10	29	96	1,363
小計	119番	6	4,247	6	15	828	24	134	208	22	11	249	5,750
	携帯119	33	5,443	37	52	108	7	565	533	11	205	462	7,456
	加入電話	5	590	14	55	85	－	11	8	189	1	134	1,092
	その他	3	98	2	11	4	－	－	－	8	－	3	129
	総計	47	10,378	59	133	1,025	31	710	749	230	217	848	14,427

応急手当の口頭指導（プロトコル）実施状況（7月～12月）

種別 月	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小計
7月	－	7	－	－	－	－	7
8月	－	6	－	－	－	－	6
9月	－	10	－	1	－	－	11
10月	－	11	－	2	－	2	15
11月	－	10	－	－	－	－	10
12月	－	14	－	－	－	－	14
小計	－	58	－	3	－	2	63
総計	－	119	－	6	－	2	127

第 5 編 火災統計



令和6年の火災概要

令和6年の火災件数は53件であり、前年と比較すると7件の増加となっている。

火災種別は建物火災が27件、車両火災が5件、その他の火災が21件となっており、市町別の火災件数では、塩竈市が17件、多賀城市が15件、松島町が7件、七ヶ浜町が2件、利府町が12件となっている。

火災による死者数は3人で、全員が多賀城市となっている。負傷者は10人で、その内訳は、塩竈市が1人、多賀城市が5人、松島町が3人、利府町が1人となっている。

また、損害額は前年と比較すると107,684千円減少している。

火災件数

火災件数は53件（46件）で、およそ6.9日に1件発生している。

（ ）は前年の件数等

市町別火災発生・死者・負傷者状況

			発生状況	死者	負傷者
建物火災	27件	(29件)	塩竈市 17件 (15件)	0人 (2人)	1人 (6人)
林野火災	0件	(1件)	多賀城市 15件 (12件)	3人 (0人)	5人 (2人)
車両火災	5件	(1件)	松島町 7件 (6件)	0人 (0人)	3人 (3人)
船舶火災	0件	(0件)	七ヶ浜町 2件 (8件)	0人 (0人)	0人 (0人)
その他火災	21件	(15件)	利府町 12件 (5件)	0人 (0人)	1人 (1人)

月別火災状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	6件	6件	3件	3件	8件	3件	3件	3件	1件	3件	5件	9件

主な火災原因

第1位	放火・放火の疑い	10件	(8件・第2位)
第2位	電気関係	9件	(11件・第1位)
第3位	たばこ	8件	(6件・第3位)
第4位	こんろ	4件	(なし)

損害額

損害額は40,287千円で、前年に比べ107,684千円の減少となっている。

火災1件あたりの損害額は、約760千円となっている。

初期消火・早期発見状況

火災件数53件のうち初期消火は37件（69.8%）で実施され、このうち26件（70.3%）が成功している。

また、建物火災は27件発生しており、初期消火は19件（70.4%）で実施され、このうち14件（73.7%）が成功している。

1 火災の概況

第1表

区 分			単位	令和6年			令和5年			増減			増減率（％）		
火災件数	建物	全焼	件	5	27		10	29		△ 5	△ 2	7	△ 50.0	△ 6.9	15.2
		半焼		2			1			1			100.0		
		部分焼		5			5			0			0.0		
		ぼや		15			13			2			15.4		
	林野		件	0		53	1		46	△ 1		皆減			
	車両			5			1			4		400.0			
	船舶			0			0			0		-			
	その他			21			15			6		40.0			
焼損棟数	全焼	棟	8		37	13		52	△ 5		△ 15	△ 38.5		△ 28.8	
	半焼		3			2			1			50.0			
	部分焼		8			8			0			0.0			
	ぼや		18			29			△ 11			△ 37.9			
り災世帯	全損	世帯	5		23	8		36	△ 3		△ 13	△ 37.5		△ 36.1	
	半損		2			2			0			0.0			
	小損		16			26			△ 10			△ 38.5			
り災人員			人	37			91			△ 54			△ 59.3		
焼損面積	建物（床面積）		㎡	737.4			1,294.3			△ 556.9			△ 43.0		
	建物（表面積）		㎡	166.7			16.5			150.2			910.3		
	林野		a	0.0			4.9			△ 4.9			皆減		
	その他		㎡	2,418.3			2,154.9			263.4			12.2		
損害額	建物		千円	39,476			147,726			△ 108,250			△ 73.3		
	林野			0			0			0			-		
	車両			261			0			261			皆増		
	船舶			0			0			0			-		
	その他			550			245			305			124.5		
	合計			40,287			147,971			△ 107,684			△ 72.8		
死者			人	3			2			1			50.0		
負傷者				10			12			△ 2			△ 16.7		
出火率			件	3.0			2.5			0.5			20.0		

※出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。（火災件数÷人口×10,000）

※人口は、令和6年12月末現在。

※前年の数値が「0」のものは、増減率を「皆増」と表記いたします。

※今年の数値が「0」のものは、増減率を「皆減」と表記いたします。

※前年及び今年の数値が「0」のものは、増減率を「－」と表記いたします。

2 市町別火災概況

第2表

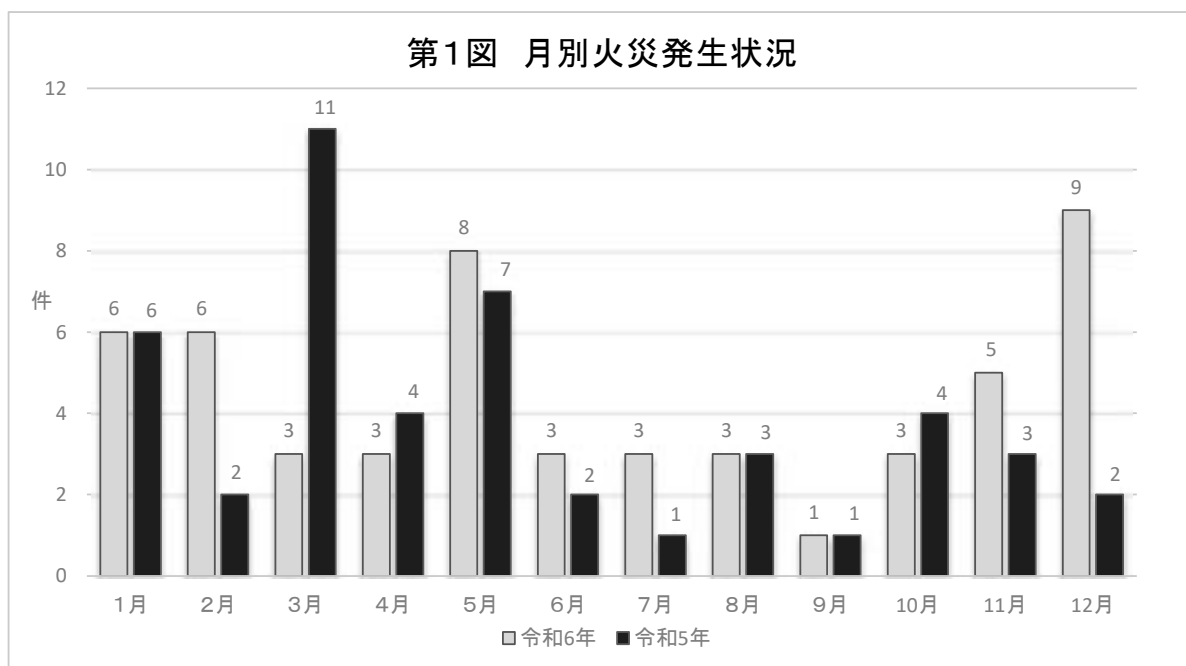
区 分			単位	総計		塩竈市		多賀城市		松島町		七ヶ浜町		利府町	
火災 件数	建物	全 焼	件	5 (10)	建物	1 (4)	建物	3 (0)	建物	1 (2)	建物	0 (4)	建物	0 (0)	建物
		半 焼		2 (1)	27	0 (1)	9	0 (0)	9	1 (0)	2	0 (0)	0	1 (0)	7
		部分焼		5 (5)	(29)	2 (1)	(11)	2 (3)	(6)	0 (0)	(5)	0 (1)	(5)	1 (0)	(2)
		ぼ や		15 (13)		6 (5)		4 (3)		0 (3)		0 (0)		5 (2)	
	林 野	件	0 (1)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (1)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	
	車 両		5 (1)	53	2 (0)	17	1 (1)	15	0 (0)	7	0 (0)	2	2 (0)	12	
	船 舶		0 (0)	(46)	0 (0)	(15)	0 (0)	(12)	0 (0)	(6)	0 (0)	(8)	0 (0)	(5)	
	その他		21 (15)		6 (4)		5 (5)		5 (0)		2 (3)		3 (3)		
焼損棟数	全 焼	棟	8	37	1	9	5	15	2	6	0	0	0	7	
	半 焼		3		0		0		2		0		1		
	部分焼		8		2		5		0		0		1		
	ぼ や		18		6		5		2		0		5		
り災世帯	全 損	世帯	5	23	0	6	3	12	2	3	0	0	0	2	
	半 損		2		0		1		0		0		1		
	小 損		16		6		8		1		0		1		
り 災 人 員			人	37		10		19		5		0		3	
焼損面積	建物（床面積）		㎡	737.4		120.9		502.1		82.1		0.0		32.3	
	建物（表面積）		㎡	166.7		5.2		63.6		90.0		0.0		7.9	
	林 野		a	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	その他		㎡	2,418.3		55.1		256.5		2,026.3		80.0		0.4	
損 害 額	建 物		千円	39,476		2,989		22,526		11,980		0		1,981	
	林 野			0		0		0		0		0		0	
	車 両			261		43		183		0		0		35	
	船 舶			0		0		0		0		0		0	
	その他			550		1		1		548		0		0	
	合 計			40,287		3,033		22,710		12,528		0		2,016	
死 者			人	3		0		3		0		0		0	
負 傷 者				10		1		5		3		0		1	
出 火 率			件	3.0		3.3		2.4		5.4		1.1		3.3	

※（ ）は、前年の火災件数

※塩竈市の部分焼のうち1件は、爆発火災による部分壊であり、集計上、部分焼に計上しています。

3 月別火災発生状況

火災件数53件を月別で見ると、最も多い月は12月の9件となっており、以下5月の8件、1、2月の6件の順となっている。



4 四季別火災発生状況

火災件数53件を四季別で見ると、冬季が最も多く21件で全体の39.6%を占め、次いで春季の14件(26.4%)、夏季、秋季それぞれ9件(各17.0%)となっている。

損害額は、冬季が最も多く全体の53.8%を占めている。

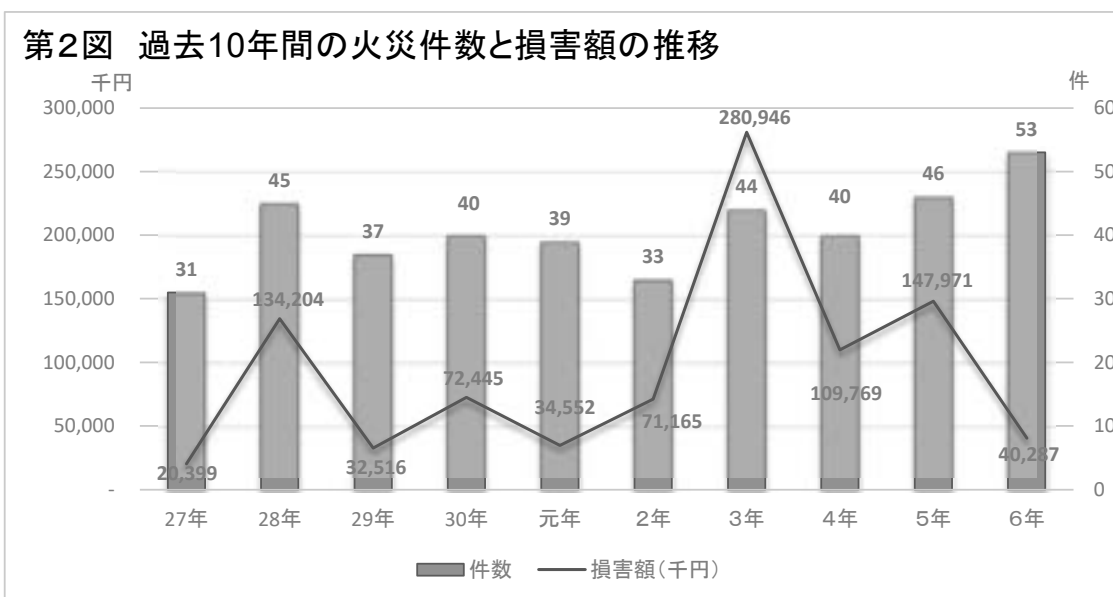
第3表

区分	令和6年				令和5年			
	火災件数	割合 %	損害額 (千円)	割合 %	火災件数	割合 %	損害額 (千円)	割合 %
春季 3月～5月	14 建物 7 林野 0 車両 1 船舶 0 その他 6	26.4	8,321	20.7	22 建物 12 林野 1 車両 0 船舶 0 その他 9	47.8	66,942	45.2
夏季 6月～8月	9 建物 5 林野 0 車両 0 船舶 0 その他 4	17.0	3,014	7.5	6 建物 2 林野 0 車両 0 船舶 0 その他 4	13.1	8,861	6.0
秋季 9月～11月	9 建物 3 林野 0 車両 3 船舶 0 その他 3	17.0	7,258	18.0	8 建物 6 林野 0 車両 1 船舶 0 その他 1	17.4	44,781	30.3
冬季 1、2月、12月	21 建物 12 林野 0 車両 1 船舶 0 その他 8	39.6	21,694	53.8	10 建物 9 林野 0 車両 0 船舶 0 その他 1	21.7	27,387	18.5
合 計	53	100.0	40,287	100.0	46	100.0	147,971	100.0

5 火災件数と損害額

損害額は40,287千円となり、前年の147,971千円と比較すると107,684千円の減少となっている。火災1件あたりの損害額は、約760千円となっている。

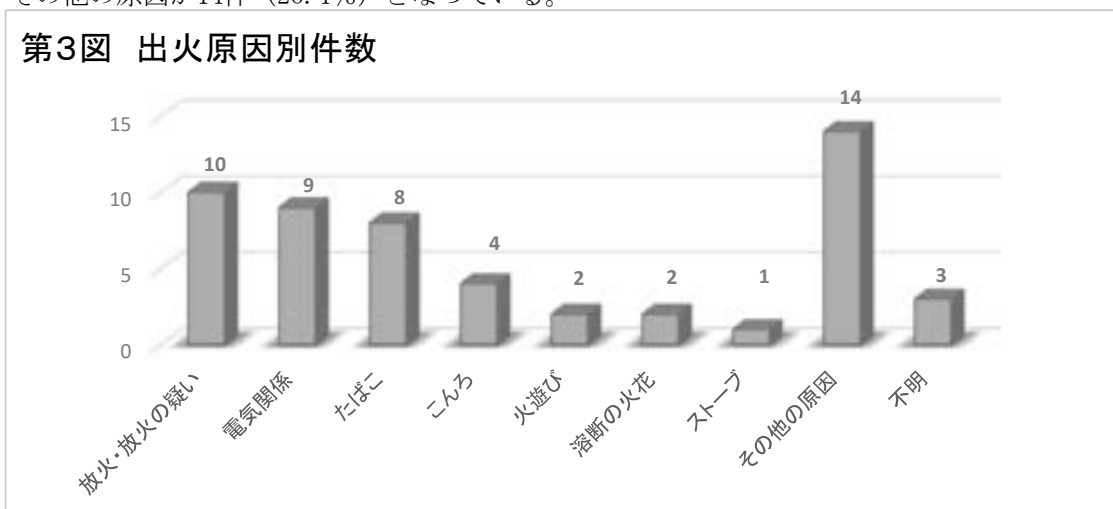
第2図 過去10年間の火災件数と損害額の推移



6 出火原因別の火災発生状況

火災件数53件を出火原因別にみると、第1位が「放火・放火の疑い」で10件（18.9%）、第2位が「電気関係」で9件（17.0%）、第3位が「たばこ」で8件（15.1%）となっており、その他の原因が14件（26.4%）となっている。

第3図 出火原因別件数



第4表 過去5年間の主な出火原因（上位5位）

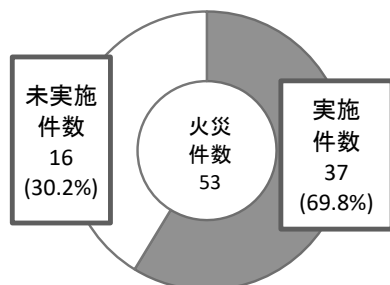
順位	令和2年	順位	令和3年	順位	令和4年	順位	令和5年	順位	令和6年	
1	ストーブ	3	1 電気関係	11	1 電気関係	8	1 電気関係	11	1 放火・放火の 疑い	10
1	電気関係	3	2 放火・放火の 疑い	6	2 放火・放火の 疑い	5	2 放火・放火の 疑い	8	2 電気関係	9
3	たばこ	2	3 ストーブ	3	2 たばこ	5	3 たばこ	6	3 たばこ	8
3	こんろ	2	3 こんろ	3	4 ストーブ	4	4 火遊び	1	4 こんろ	4
3	溶断の火花	2	5 たばこ・溶断 の火花	1	5 こんろ	2	—	—	5 火遊び・溶断 の火花	各2

7 初期消火状況

火災件数53件のうち初期消火は37件（69.8%）で実施され、このうち26件（70.3%）が成功している。また、建物火災は27件発生しており、初期消火は19件（70.4%）で実施され、このうち14件（73.7%）が成功している。

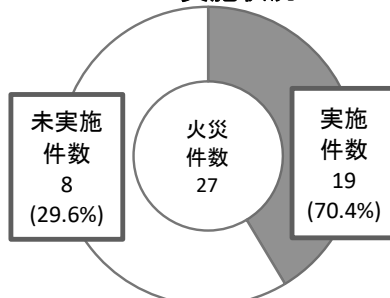
第4図

初期消火実施状況



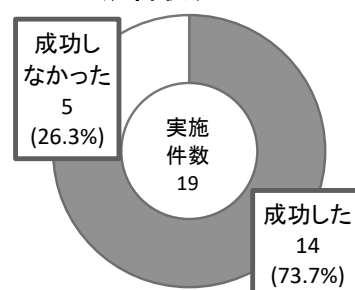
第5図

建物火災初期消火実施状況



第6図

建物火災初期消火の成否状況



未実施の理由（建物火災）

就寝中で気付かなかった
無人・不在であった
自然鎮火していた

消火できなかった理由（建物火災）

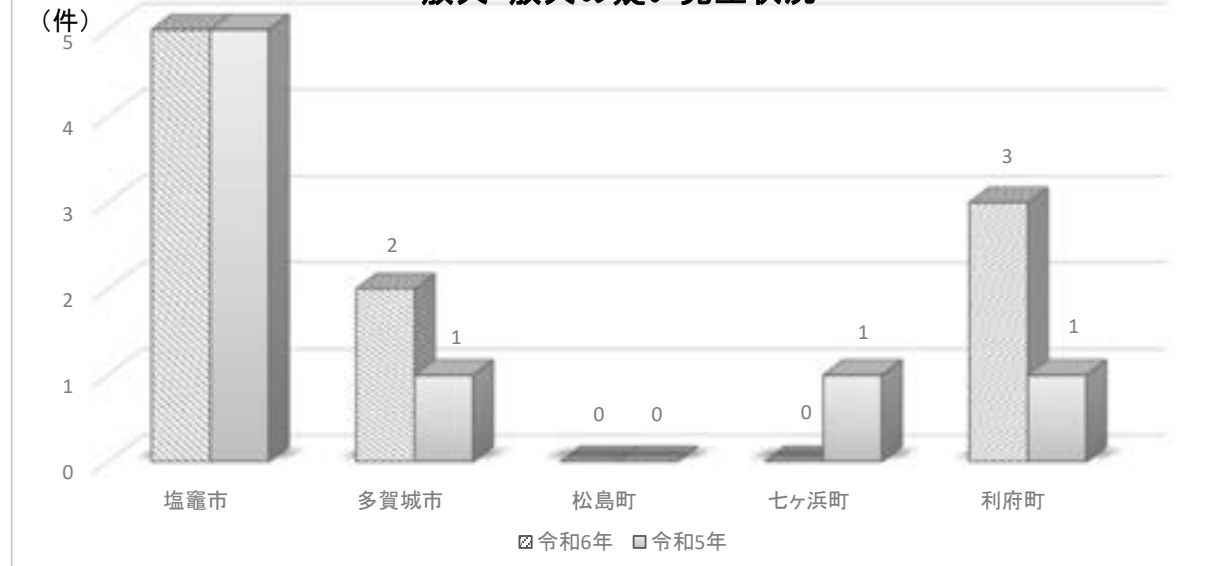
発見が遅れ消火時期が遅れた
施錠され消火時期が遅れた
急激に拡大した

8 「放火・放火の疑い」の発生状況

出火件数53件のうち「放火・放火の疑い」が10件発生し、前年と比較すると2件の増加となり、全体の18.9%を占めている。

第7図

放火・放火の疑い発生状況

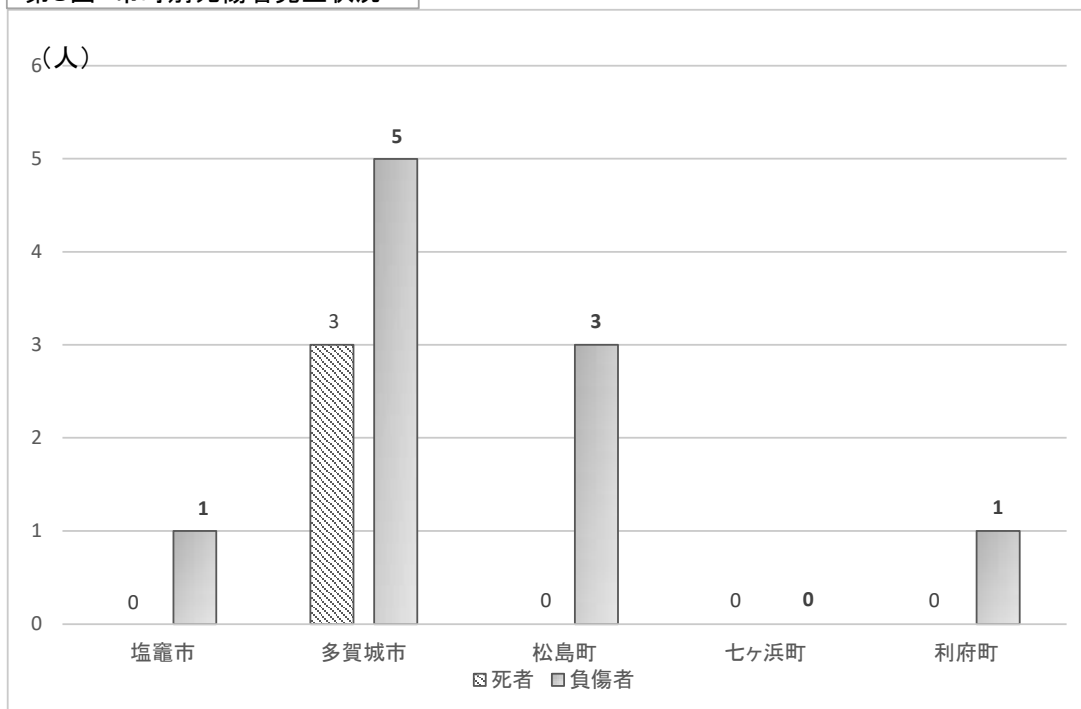


9 死傷者の発生状況

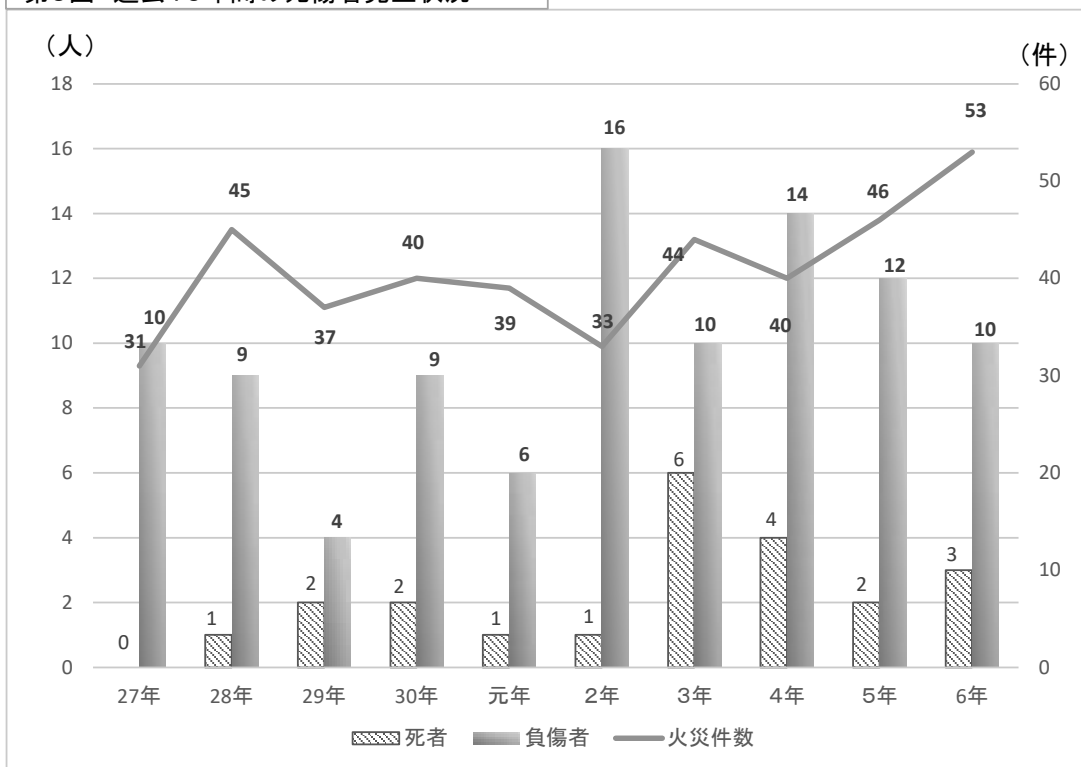
死者は建物火災で3人発生している。

負傷者は建物火災で6人、車両火災で2人、その他の火災で2人発生している。

第8図 市町別死傷者発生状況

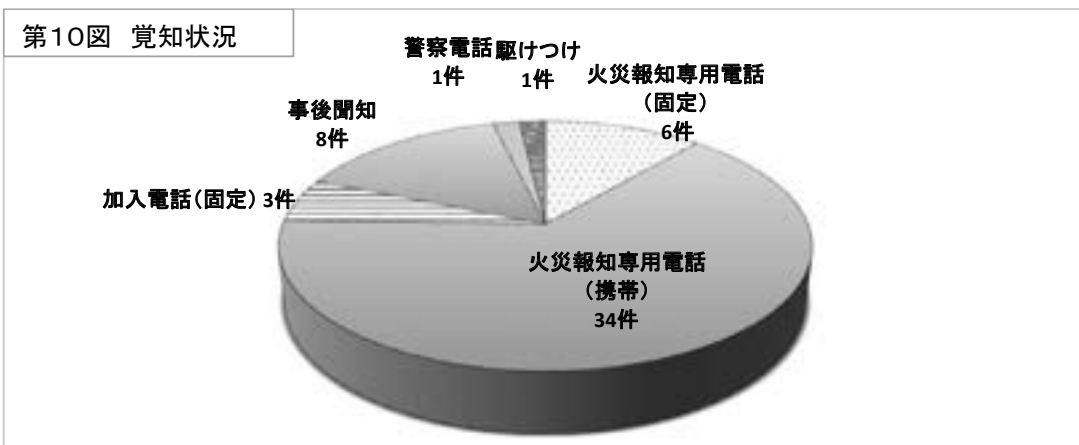


第9図 過去10年間の死傷者発生状況

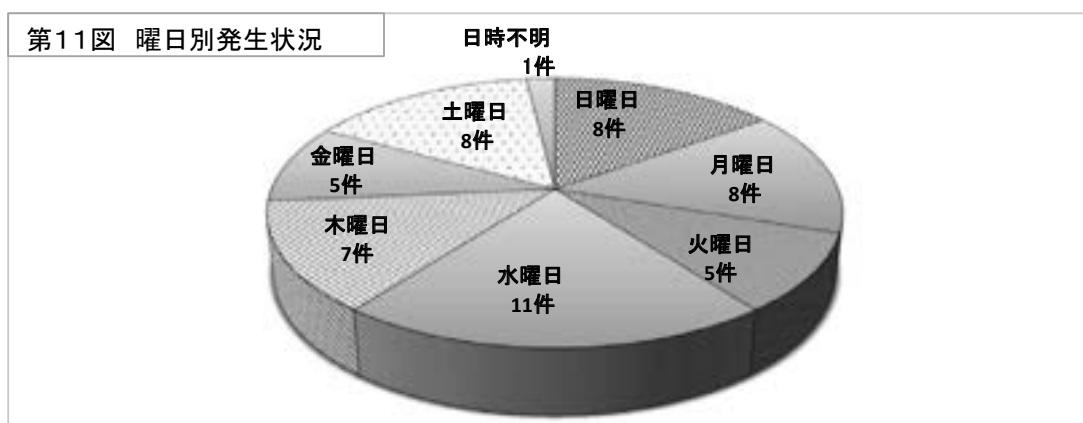


10 その他

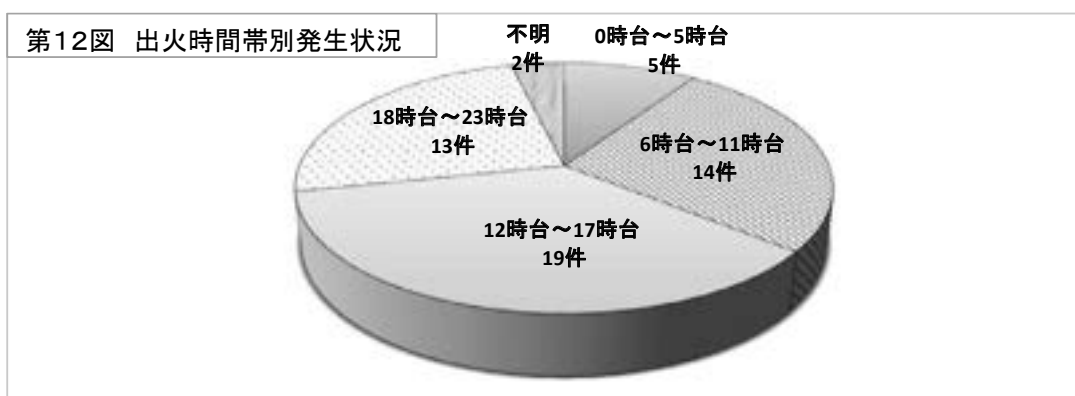
- (1) 火災の覚知については、携帯電話からの火災報知専用電話（119番）が最も多く34件で、次いで事後聞知が8件、固定電話からの火災報知専用電話（119番）が6件の順となっている。



- (2) 曜日別については、水曜日が最も多く11件で、次いで日、月、土曜日の8件、木曜日の7件、火、金曜日の5件の順となっている。（日時不明1件）



- (3) 出火時間帯については、12時から17時台が最も多く19件で、次いで6時から11時台に14件、18時から23時台に13件、0時から5時台に5件発生している。（不明2件）



11 過去5年間の火災発生状況

種 別 年 別		火 災 件 数 （ 件 ）						損 害 額 （ 千 円 ）					
		合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他
令和2年	合 計	33	22	0	3	0	8	71,165	68,563	0	1,698	0	904
	塩 竈 市	9	7	0	0	0	2	32,347	31,740	0	0	0	607
	多賀城市	10	6	0	1	0	3	7,984	7,421	0	266	0	297
	松 島 町	4	1	0	1	0	2	875	243	0	632	0	0
	七ヶ浜町	4	4	0	0	0	0	10,877	10,877	0	0	0	0
	利 府 町	6	4	0	1	0	1	19,082	18,282	0	800	0	0
令和3年	合 計	44	24	3	6	0	11	280,946	279,892	0	1,037	0	17
	塩 竈 市	14	11	0	0	0	3	251,653	251,653	0	0	0	0
	多賀城市	13	7	0	3	0	3	20,265	19,856	0	402	0	7
	松 島 町	9	3	3	1	0	2	341	306	0	35	0	0
	七ヶ浜町	3	1	0	0	0	2	27	17	0	0	0	10
	利 府 町	5	2	0	2	0	1	8,660	8,060	0	600	0	0
令和4年	合 計	40	29	1	4	0	6	109,769	104,688	0	5,078	0	3
	塩 竈 市	10	10	0	0	0	0	43,329	43,329	0	0	0	0
	多賀城市	10	8	0	1	0	1	11,050	6,150	0	4,900	0	0
	松 島 町	7	4	1	0	0	2	7,103	7,103	0	0	0	0
	七ヶ浜町	3	2	0	0	0	1	29,948	29,948	0	0	0	0
	利 府 町	10	5	0	3	0	2	18,339	18,158	0	178	0	3
令和5年	合 計	46	29	1	1	0	15	147,971	147,726	0	0	0	245
	塩 竈 市	15	11	0	0	0	4	78,849	78,849	0	0	0	0
	多賀城市	12	6	0	1	0	5	6,496	6,260	0	0	0	236
	松 島 町	6	5	1	0	0	0	39,104	39,104	0	0	0	0
	七ヶ浜町	8	5	0	0	0	3	22,897	22,897	0	0	0	0
	利 府 町	5	2	0	0	0	3	625	616	0	0	0	9
令和6年	合 計	53	27	0	5	0	21	40,287	39,476	0	261	0	550
	塩 竈 市	17	9	0	2	0	6	3,033	2,989	0	43	0	1
	多賀城市	15	9	0	1	0	5	22,710	22,526	0	183	0	1
	松 島 町	7	2	0	0	0	5	12,528	11,980	0	0	0	548
	七ヶ浜町	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	利 府 町	12	7	0	2	0	3	2,016	1,981	0	35	0	0

焼 損 棟 数					り 災 世 帯 数				り 災 人 員	焼 損 面 積			死 者	傷 者	放水 件数
合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		建 物 (m ²)		林 野			
										床面積	表面積	(a)			
30	5	4	6	15	28	6	6	16	65	1,004.3	18.5	0.0	1	16	22
11	3	1	3	4	8	3	0	5	19	496.9	11.9	0.0	0	5	6
8	0	1	2	5	8	0	4	4	20	120.9	0.5	0.0	1	0	5
1	0	0	1	0	1	0	0	1	5	0.0	4.8	0.0	0	1	4
5	1	1	0	3	5	2	0	3	13	215.6	0.6	0.0	0	7	3
5	1	1	0	3	6	1	2	3	8	170.9	0.7	0.0	0	3	4
36	6	3	3	24	35	15	3	17	75	1,961.1	5.5	3.8	6	10	25
14	2	2	1	9	20	11	3	6	35	1,627.0	0.2	0.0	4	4	7
15	3	1	1	10	11	3	0	8	29	201.1	2.0	0.0	1	1	6
3	0	0	1	2	2	0	0	2	5	0	1.7	3.8	0	3	6
1	0	0	0	1	1	0	0	1	4	0	0.8	0.0	0	0	2
3	1	0	0	2	1	1	0	0	2	133.0	0.8	0.0	1	2	4
55	12	6	7	30	38	12	3	23	82	1,346.0	53	5.8	4	14	27
22	6	2	1	13	16	4	2	10	36	656.3	0.0	0.0	2	5	7
10	0	1	2	7	6	1	1	4	8	92.4	4.2	0.0	2	3	6
7	2	1	2	2	3	2	0	1	6	232.2	4.8	5.8	0	1	5
8	2	0	0	6	7	2	0	5	21	186.9	0.0	0.0	0	1	3
8	2	2	2	2	6	3	0	3	11	178.2	44.0	0.0	0	4	6
52	13	2	8	29	36	8	2	26	91	1,294.3	16.5	4.9	2	12	30
29	6	2	3	18	25	5	2	18	58	515.7	3.6	0.0	2	6	7
6	0	0	3	3	4	0	0	4	10	31.2	2.6	0.0	0	2	9
8	3	0	1	4	5	2	0	3	20	270.8	2.8	4.9	0	3	5
7	4	0	1	2	2	1	0	1	3	476.6	7.5	0.0	0	0	7
2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	1	2
37	8	3	8	18	23	5	2	16	37	737.4	166.7	0.0	3	10	23
9	1	0	2	6	6	0	0	6	10	120.9	5.2	0.0	0	1	3
15	5	0	5	5	12	3	1	8	19	502.1	63.6	0.0	3	5	9
6	2	2	0	2	3	2	0	1	5	82.1	90	0.0	0	3	6
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	2
7	0	1	1	5	2	0	1	1	3	32.3	7.9	0.0	0	1	3

過去 10 年間の主な火災

損害額 2 千万円以上・死傷者 5 人以上

建物焼損面積 500 m²以上・林野 300a 以上

番号	出火場所	出火日時	用 途 等	死 者	傷 者	焼損面積 (m ² ・a)	損害額 千円	原 因
1	多賀城市笠神	H28. 7. 4	浮棧橋	0	0	－	25, 721	放火の疑い
2	塩竈市新浜町	H28. 8. 18	船舶	0	0	－	80, 000	その他
3	塩竈市新浜町	R3. 12. 3	工場	0	1	1, 345. 0	198, 820	電気関係
4	松島町高城	R5. 5. 19	住宅	0	0	163. 13	30, 217	電気関係
5	塩竈市長沢町	R5. 11. 20	住宅	0	1	110. 29	21, 461	たばこの不始末

※ 平成 27、29、30 年及び令和元、2、4、6 年中は該当する火災は発生しなかったもの。

第 6 編 救急統計



令和6年の救急概要

令和6年中における救急概要を見ると、出場件数10,505件(対前年比138件減、1.3%減)搬送人員9,930人(対前年比20人減、0.2%減)となっている。これは管内で、1日平均約28.8回(前年約29.1回)救急車が出場し、住民の約18.1人(前年約18.1人)に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

市町別出場状況

塩竈市	3,533件(前年 3,602件)
多賀城市	3,142件(前年 3,247件)
松島町	1,077件(前年 1,011件)
七ヶ浜町	902件(前年 942件)
利府町	1,845件(前年 1,835件)
他市町	6件(前年 6件)

事故別出場状況

	令和6年	令和5年
第1位 急病	(同左)	(同左)
第2位 一般負傷	(同左)	(同左)
第3位 転院搬送	(同左)	(同左)
第4位 交通事故	(同左)	(同左)
第5位 運動競技	(自損行為)	(自損行為)

月別出場状況

第1位 7月	1,029件
第2位 8月	999件
第3位 12月	976件
第4位 10月	919件

傷病程度別搬送状況

第1位 中等症	5,906人 (59.5%)
第2位 軽症	2,980人 (30.0%)
第3位 重症	919人 (9.2%)
第4位 死亡	125人 (1.3%)

年齢区分別搬送状況

高齢者(65歳以上)が最も多く6,579人、次いで成人 2,519人、乳幼児、少年、新生児の順

平均現場到着所要時間

8分 37秒
(覚知から現場に到着するまでの時間)

平均病院等収容所要時間

47分 32秒
(覚知から医療機関に収容するまでの時間)

医療機関別搬送状況

- 救急告示病院は、
9,674人 (97.4%)
- その他の医療機関は、
256人 (2.6%)
- 管内搬送は 5,444人
(全体の 54.8%)

1 市町別救急発生状況

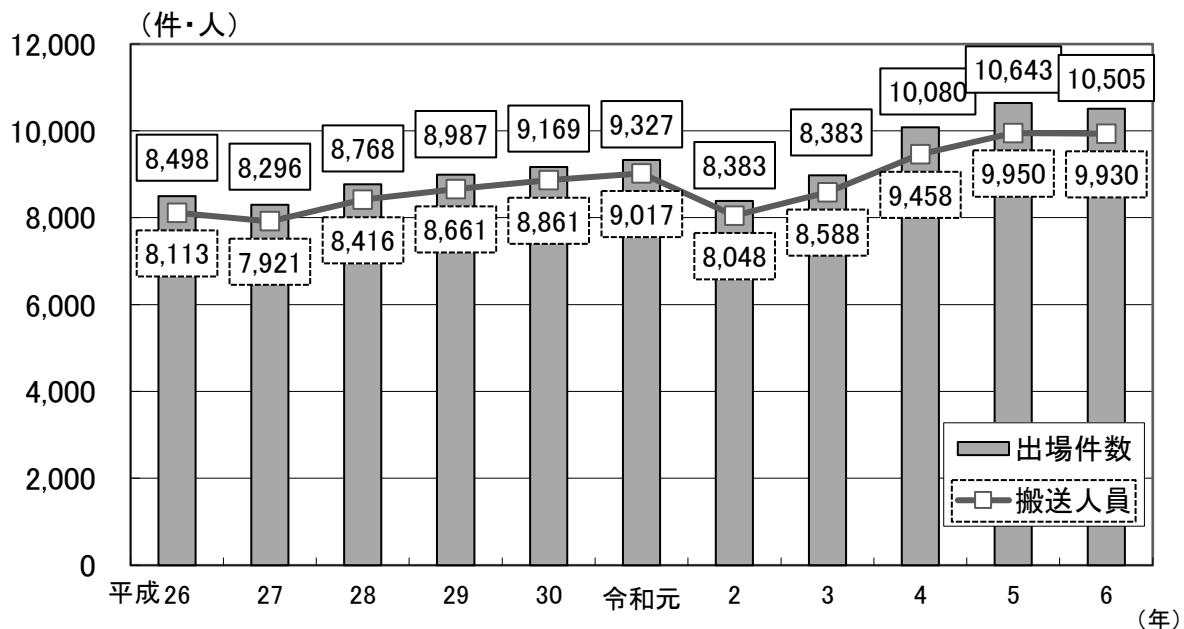
区 分	令和6年	令和5年	対 前 年 比	
	出場件数(件)	出場件数(件)	増 減 数	増 減 率 (%)
	搬送人員(人)	搬送人員(人)		
合 計	10,505	10,643	△ 138	△ 1.3
	9,930	9,950	△ 20	△ 0.2
塩 竈 市	3,533	3,602	△ 69	△ 1.9
	3,346	3,376	△ 30	△ 0.9
多賀城市	3,142	3,247	△ 105	△ 3.2
	2,960	3,017	△ 57	△ 1.9
松 島 町	1,077	1,011	66	6.5
	1,002	927	75	8.1
七ヶ浜町	902	942	△ 40	△ 4.2
	864	882	△ 18	△ 2.0
利 府 町	1,845	1,835	10	0.5
	1,752	1,743	9	0.5
他 市 町	6	6	0	0.0
	6	5	1	20.0

2 市町事故別救急発生状況

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	他
塩竈市	出場件数	3,533	9	0	2	100	18	8	462	14	21	2,453	444	2
	搬送人員	3,346	1	0	1	97	18	8	446	11	15	2,306	443	0
多賀城市	出場件数	3,142	9	0	0	146	19	13	449	19	21	2,297	169	0
	搬送人員	2,960	6	0	0	142	19	13	432	16	21	2,142	169	0
松島町	出場件数	1,077	5	0	0	32	12	24	178	2	7	718	99	0
	搬送人員	1,002	2	0	0	31	11	24	176	2	3	655	98	0
七ヶ浜町	出場件数	902	1	0	0	24	8	6	121	2	4	714	22	0
	搬送人員	864	0	0	0	26	8	5	115	2	1	685	22	0
利府町	出場件数	1,845	4	0	1	88	15	29	269	6	18	1,252	163	0
	搬送人員	1,752	1	0	1	78	14	29	257	4	11	1,194	163	0
他市町	出場件数	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0
	搬送人員	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0
合計	出場件数	10,505	29	0	3	390	72	80	1,479	43	71	7,438	898	2
	搬送人員	9,930	11	0	2	374	70	79	1,426	35	51	6,986	896	0
令和5年	出場件数	10,643	32	0	9	398	63	47	1,463	22	66	7,681	861	1
	搬送人員	9,950	11	0	6	402	63	46	1,392	14	41	7,116	859	0
対前 年比	出場件数	△ 138	△ 3	0	△ 6	△ 8	9	33	16	21	5	△ 243	37	1
	搬送人員	△ 20	0	0	△ 4	△ 28	7	33	34	21	10	△ 130	37	0
対前 年率	出場件数	△ 1.3	△ 9.4	-	△ 66.7	△ 2.0	14.3	70.2	1.1	95.5	7.6	△ 3.2	4.3	100.0
	搬送人員	△ 0.2	0.0	-	△ 66.7	△ 7.0	11.1	71.7	2.4	150.0	24.4	△ 1.8	4.3	-

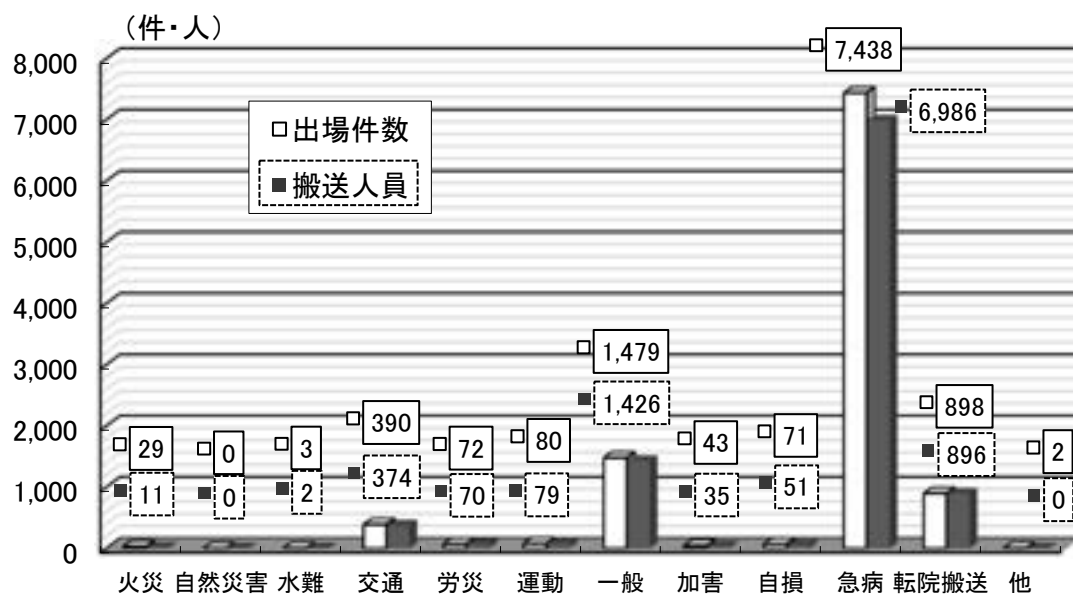
3 救急発生状況の推移

過去10年間の救急出場件数と搬送人員を見ると、出場件数は10年前より2,007件増加し、搬送人員は1,817人増加している。



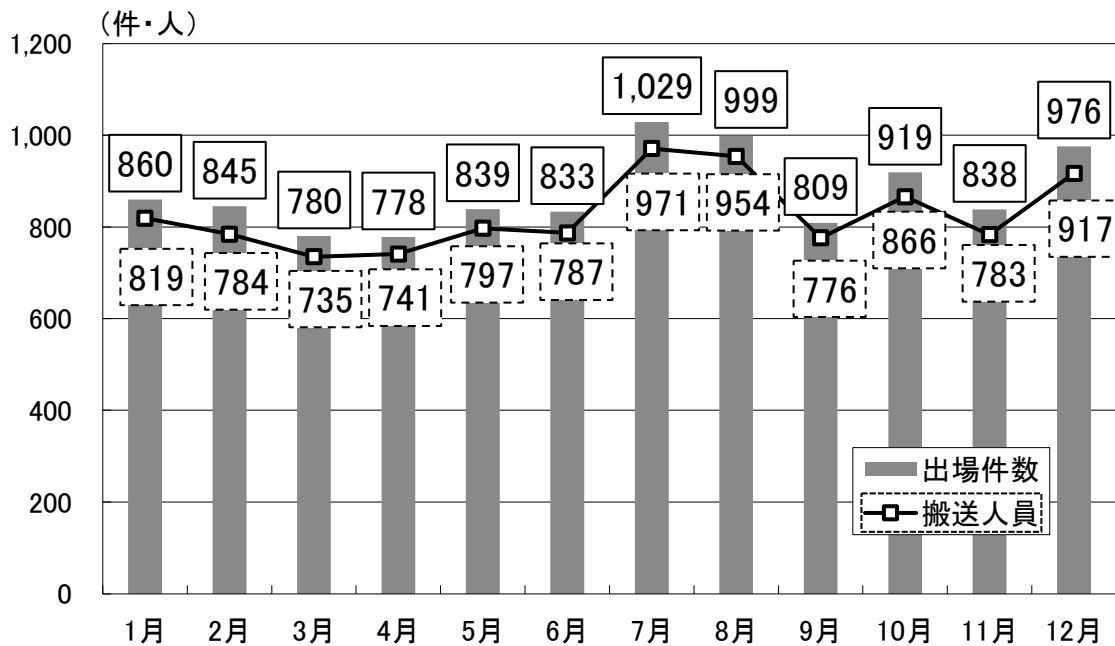
4 事故別救急発生状況

事故別の出場状況は下図のとおりであるが、構成比は急病が約70.8%、一般負傷が約14.0%、転院搬送が約8.5%、交通事故が約3.7%となっている。



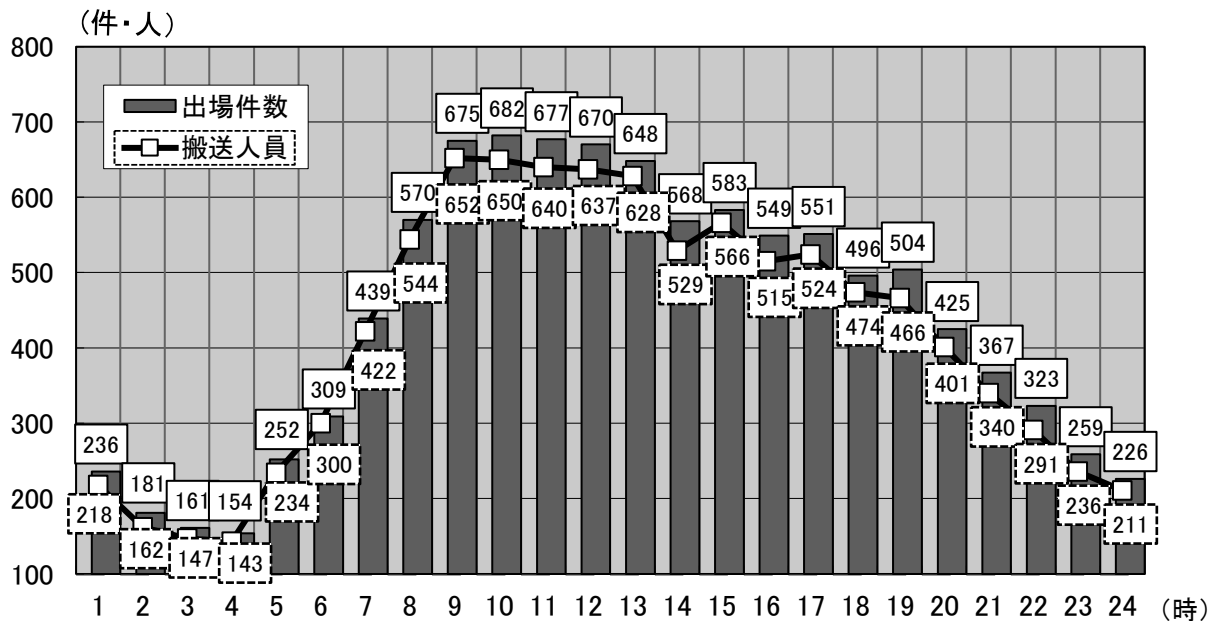
5 月別救急発生状況

出場件数を月別に見ると、7月が1,029件で最も多く、次いで8月が999件、12月が976件、10月が919件の順で、1か月平均では約875件となっている。



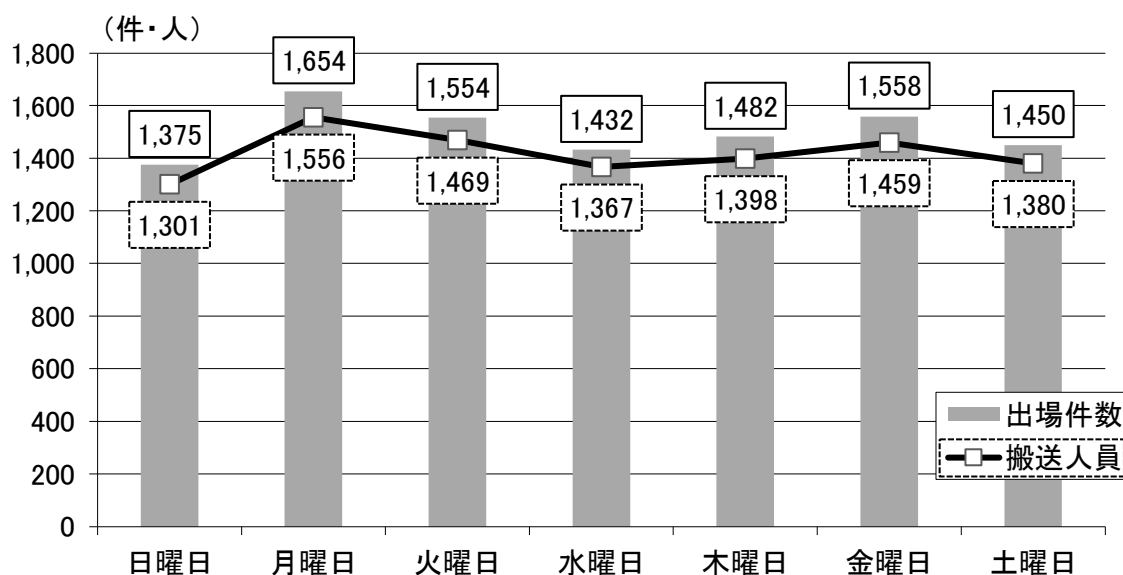
6 時間別救急発生状況

出場件数を時間別に見ると、10時～11時が682件で最も多く、次いで11時～12時が677件、9時～10時が675件、12時～13時が670件の順となっており、日中の時間帯に多くなっている。



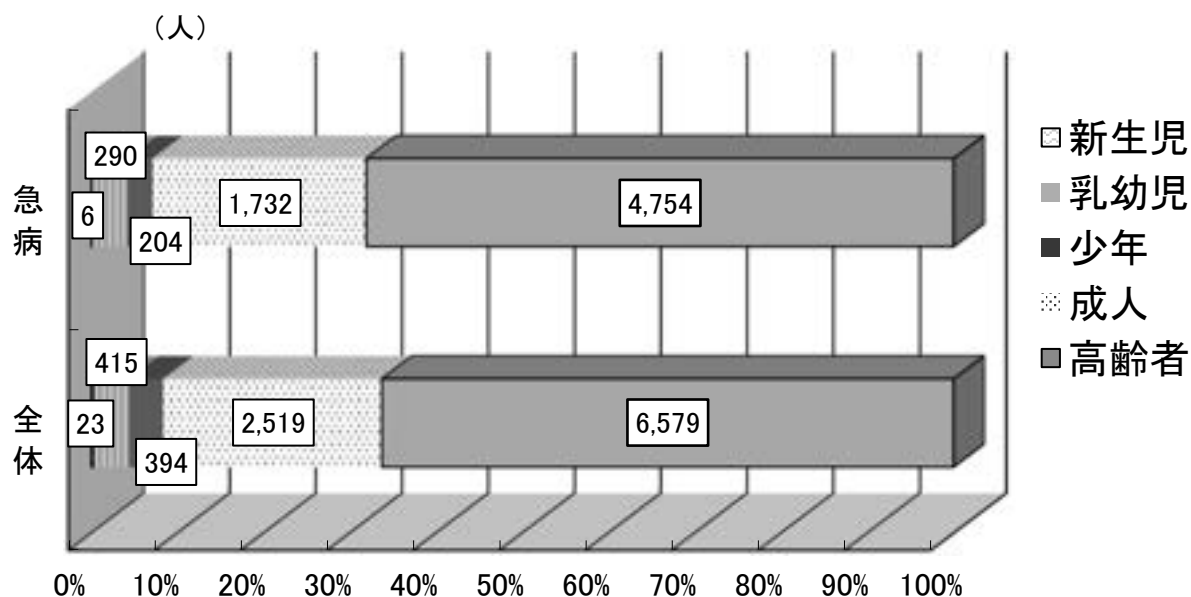
7 曜日別救急発生状況

出場件数を曜日別に見ると、月曜日が最も多く1,654件、次いで金曜日が1,558件、火曜日が1,554件の順となっており、全てで1,300件を超えている。



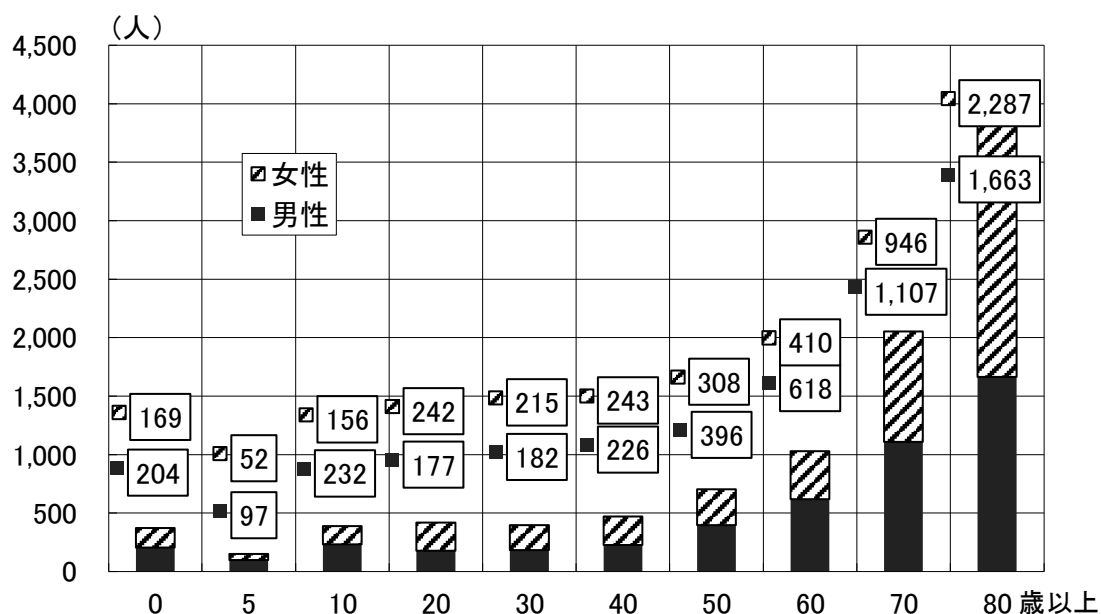
8 年齢区分別搬送状況

高齢者(65歳以上)が6,579人(全体の約66.2%)で最も多く、次いで成人が2,519人(全体の約25.3%)、乳幼児、少年、新生児の順となっている。また、事故種別で最も多い急病についても高齢者が4,754人で最も多くなっている。



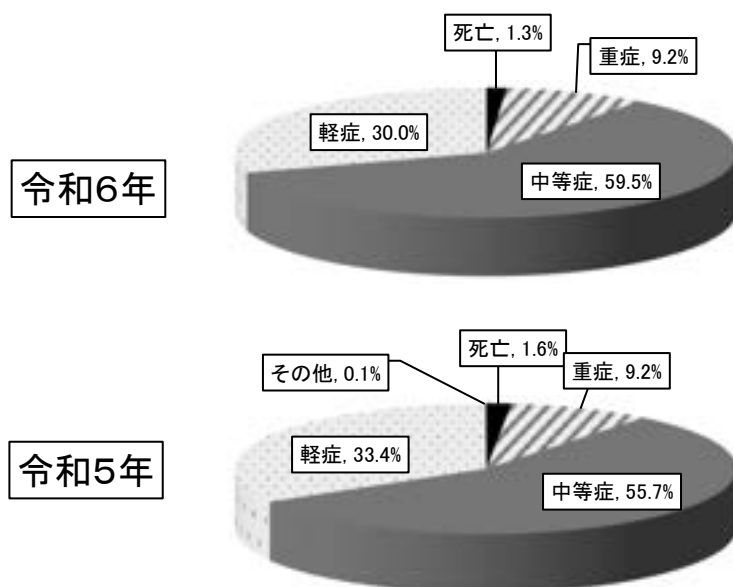
9 年代別性別搬送状況

年代別では80歳以上が3,950人で最も多く、次いで、70～79歳が2,053人、60～69歳が1,028人の順となっている。男女別総数では男性が4,902人、女性が5,028人となっている。



10 傷病程度別搬送状況

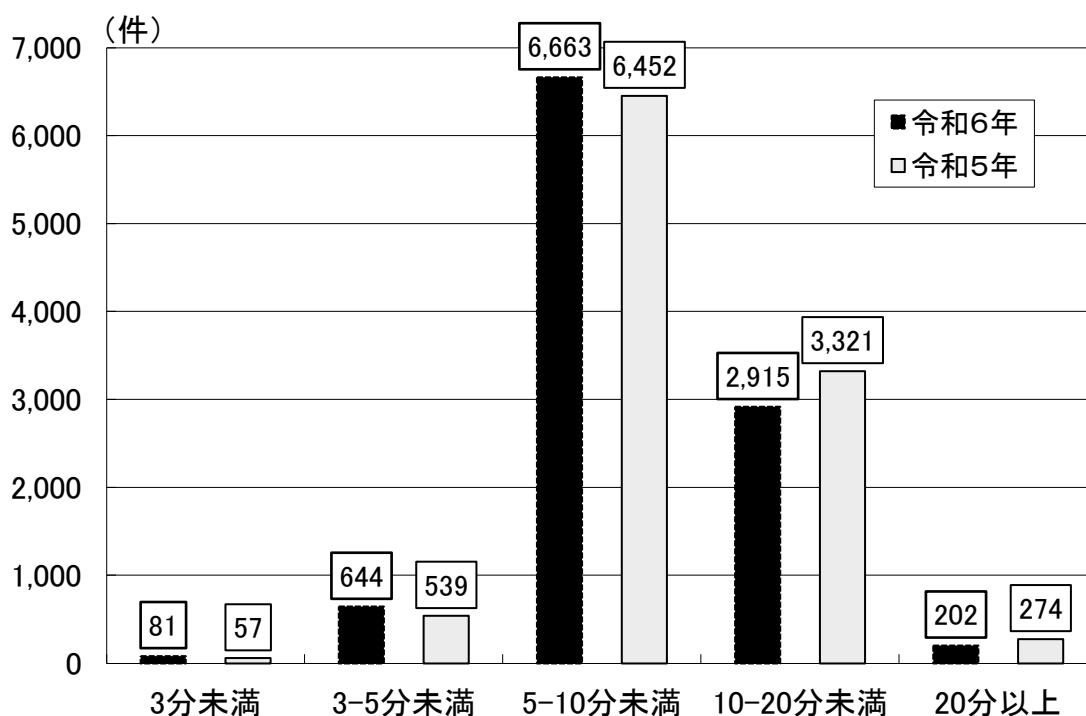
搬送人員の傷病程度の割合は下図のとおりであり、前年とほぼ同じ割合となっている。なお、傷病程度は初診時における医師の診断に基づき分類されている。



11 現場到着所要時間別出場状況

出場件数10,505件の現場到着所要時間別(覚知から現場に到着するまでに要した時間別)の状況は下図のとおりである。

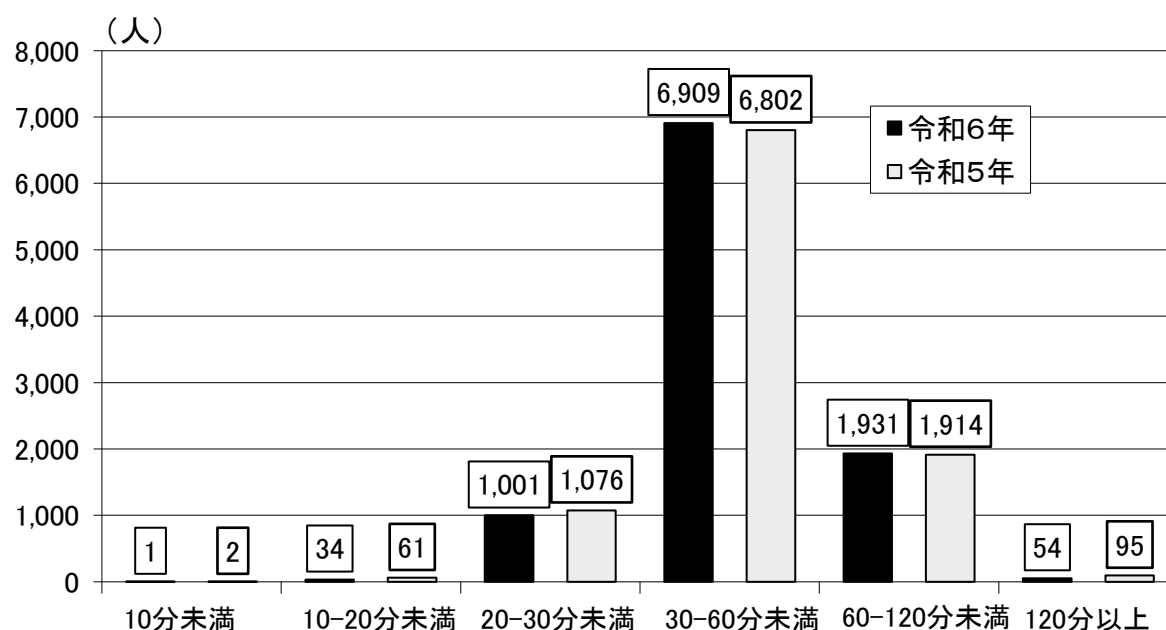
5分以上10分未満が最も多く6,663件で全体の約63.4%を占めている。



12 収容所要時間別搬送状況

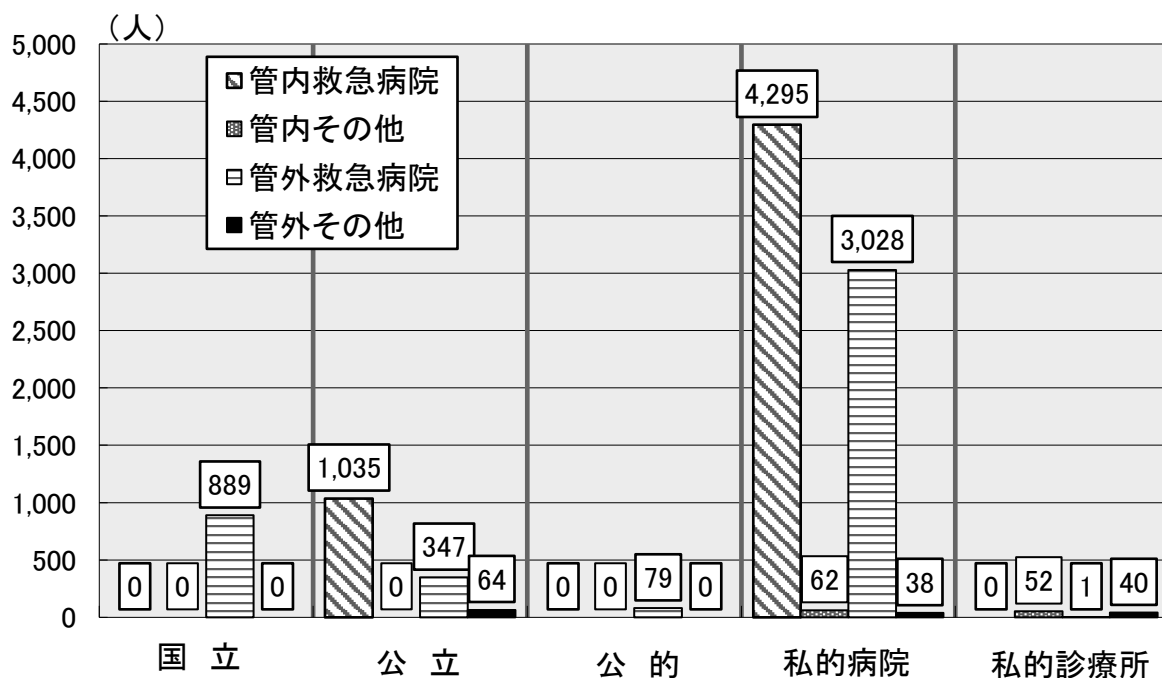
搬送人員9,930人の収容所要時間別(覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別)の状況は下図のとおりである。

30分以上60分未満が最も多く6,909人で全体の約69.6%を占めている。



13 医療機関別搬送状況

搬送人員 9,930人のうち救急告示医療機関に搬送されたのは9,674人(全体の約 97.4%)、その他の医療機関に搬送されたのは 256人(全体の約 2.6%)となっている。
9,674人のうち、管内の病院に搬送されたのは 5,444人(約 56.3%)となっている。



(注) 医療機関の分類は次により記載した。

- (1) 「国立」とは、開設者が国(国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人国立病院機構等を含む。)であるもの。
- (2) 「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第284条第1項に規定する地方公共団体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは、開設者が次のものであるもの。
 - a 普通国民健康保険組合
 - b 日本赤十字社
 - c 社会福祉法人恩賜財団済生会
 - d 全国厚生農業協同組合の会員である厚生(医療)農業協同組合連合会
 - e 社会福祉法人北海道社会事業協会

14 救急隊事故別救急発生状況

(件・人)

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	他
塩釜隊	出場件数	4,529	13	0	3	158	27	19	605	22	32	3,210	439	1
	搬送人員	4,293	5	0	2	152	27	18	585	18	27	3,022	437	0
多賀城隊	出場件数	2,072	8	0	0	82	13	14	296	14	13	1,450	182	0
	搬送人員	1,951	3	0	0	79	13	14	286	12	13	1,349	182	0
松島隊	出場件数	1,053	1	0	0	33	9	18	162	0	7	740	83	0
	搬送人員	984	1	0	0	32	8	18	159	0	3	680	83	0
七ヶ浜隊	出場件数	1,142	0	0	0	38	9	2	149	2	5	889	48	0
	搬送人員	1,089	0	0	0	39	9	2	140	2	1	848	48	0
利府隊	出場件数	1,709	7	0	0	79	14	27	267	5	14	1,149	146	1
	搬送人員	1,613	2	0	0	72	13	27	256	3	7	1,087	146	0
合計	出場件数	10,505	29	0	3	390	72	80	1,479	43	71	7,438	898	2
	搬送人員	9,930	11	0	2	374	70	79	1,426	35	51	6,986	896	0

15 診療科目別搬送状況

(人)

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	他
診療科目別	救命	497	2	0	1	20	5	1	40	2	18	393	15
	内科	4,418	1	0	0	2	2	5	46	1	13	4,180	168
	外科	1,131	8	0	1	255	35	27	643	27	12	108	15
	小児科	545	0	0	0	6	0	3	75	0	0	421	40
	産婦人科	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	38
	眼科	13	0	0	0	0	0	1	4	1	0	7	0
	整形・形成外科	963	0	0	0	88	26	27	551	3	1	189	78
	耳鼻咽喉科	75	0	0	0	0	0	0	5	0	0	52	18
	脳神経科	756	0	0	0	3	2	14	55	1	0	564	117
	泌尿器科	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	55
	精神科	36	0	0	0	0	0	0	1	0	7	25	3
	消化器科	417	0	0	0	0	0	0	2	0	0	300	115
	呼吸器科	251	0	0	0	0	0	1	0	0	0	169	81
	循環器科	587	0	0	0	0	0	0	1	0	0	436	150
	その他	16	0	0	0	0	0	0	3	0	0	10	3
合計		9,930	11	0	2	374	70	79	1,426	35	51	6,986	896

16 救急隊員の行った応急処置等の状況(事故種別による分類)

(件)

区 分	合計	急 病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置等対象搬送人員(人)	9,930	6,986	374	1,426	1,144
止 血	279	35	25	188	31
被 覆	381	26	50	255	50
固 定	341	29	129	147	36
保 温	3,493	2,466	136	490	401
酸素吸入	1,716	1,379	16	54	267
人工呼吸	101	90	3	2	6
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
※うち自動式心マッサージ器	0	0	0	0	0
心肺蘇生	202	178	3	6	15
※うち自動式心マッサージ器	133	116	2	5	10
在宅療法継続	0	0	0	0	0
血圧測定	9,481	6,655	368	1,354	1,104
心音・呼吸音聴取	3,750	2,780	149	468	353
血中酸素飽和度測定	9,723	6,810	369	1,419	1,125
心電図測定	9,324	6,660	341	1,277	1,046
気道確保	38	30	1	3	4
※うち経鼻エアウェイ	3	2	0	0	1
※うち喉頭鏡・鉗子等	1	0	0	1	0
※うちラリングアルマスク等	31	26	1	1	3
※うち気管挿管	3	2	0	1	0
※除細動	21	20	0	1	0
※静脈路確保	194	178	3	7	6
※うちCPA前	36	30	1	4	1
※うちCPA後	138	128	2	3	5
※うちブドウ糖	20	20	0	0	0
※エピネフリン投与	74	70	0	3	1
※血糖測定	113	111	0	1	1
※ブドウ糖投与	13	13	0	0	0
その他の処置	4,134	2,951	162	573	448
計	43,378	30,481	1,755	6,248	4,894

※は平成3年以降に拡大された応急処置等の項目である。

17 応急手当の普及状況

(人)

区 分		合 計	普通救命講習	上級救命講習	普及員講習
講 習 回 数		76	73	3	0
	※1	32	32	0	
	※2	0	0		
受 講 者 数		1,153	1076	77	0
	※1	393	393	0	
	※2	0	0		
性 別	男	479	421	58	0
		※1	86	0	
		※2	0		
	女	674	655	19	0
		※1	307	0	
		※2	0		
年 代 別	10代	123	54	69	0
	20代	210	210	0	0
	30代	162	162	0	0
	40代	204	203	1	0
	50代	236	236	0	0
	60代	175	168	7	0
	70代	43	43	0	0
	80以上	0	0	0	0

※1 eラーニングにより救命講習の座学部分を受講し、概ね1か月以内に実技救命講習を実施した普通・上級救命講習の内数

※2 救命入門コースを受講し、概ね12か月以内に実技救命講習を実施した普通救命講習の内数

救命入門コース	回数	人 数										
		合計	性別		年代別							
			男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
	5	48	17	31	5	17	6	7	8	4	1	0

その他の講習	回 数	人 数		
		合 計	男	女
	115	2,135	756	1,379
(うちAEDを使用)	109	1,860	652	1,208

※ その他の講習で、AEDを使用し講習した内数

18 過去5年間の市町別救急発生状況

区 分		出場件数 (件)					搬送人員 (人)				
		合計	交通	一般 負傷	急病	その他	合計	交通	一般 負傷	急病	その他
令和 2年	合 計	8,383	375	1,120	5,790	1,098	8,048	382	1,094	5,515	1,057
	塩 竈 市	3,004	76	405	1,997	526	2,883	72	397	1,902	512
	多 賀 城 市	2,410	141	323	1,749	197	2,310	147	312	1,668	183
	松 島 町	848	47	106	572	123	815	48	102	546	119
	七ヶ浜町	755	17	118	555	65	730	20	116	531	63
	利 府 町	1,357	87	167	917	186	1,304	91	166	868	179
	他 市 町	9	7	1	0	1	6	4	1	0	1
令和 3年	合 計	8,972	363	1,156	6,232	1,221	8,588	377	1,119	5,915	1,177
	塩 竈 市	3,285	66	401	2,215	603	3,130	65	391	2,090	584
	多 賀 城 市	2,610	139	337	1,888	246	2,508	145	323	1,807	233
	松 島 町	845	41	109	571	124	798	45	106	526	121
	七ヶ浜町	764	20	112	587	45	743	19	112	569	43
	利 府 町	1,464	96	197	970	201	1,405	102	187	922	194
	他 市 町	4	1	0	1	2	4	1	0	1	2
令和 4年	合 計	10,080	404	1,398	7,110	1,168	9,458	412	1,339	6,583	1,124
	塩 竈 市	3,639	103	452	2,497	587	3,429	106	432	2,320	571
	多 賀 城 市	2,986	124	409	2,219	234	2,787	125	394	2,045	223
	松 島 町	932	39	171	626	96	873	38	165	580	90
	七ヶ浜町	881	20	135	678	48	822	22	125	630	45
	利 府 町	1,638	115	231	1,089	203	1,543	118	223	1,007	195
	他 市 町	4	3	0	1	0	4	3	0	1	0
令和 5年	合 計	10,643	398	1,463	7,681	1,101	9,950	404	1,390	7,116	1,040
	塩 竈 市	3,602	84	508	2,510	500	3,376	82	487	2,323	484
	多 賀 城 市	3,247	157	455	2,392	243	3,017	157	429	2,203	228
	松 島 町	1,011	40	146	711	114	927	43	136	639	109
	七ヶ浜町	942	20	130	736	56	882	20	123	698	41
	利 府 町	1,835	93	224	1,330	188	1,743	99	215	1,251	178
	他 市 町	6	4	0	2	0	5	3	0	2	0
令和 6年	合 計	10,505	390	1,479	7,438	1,198	9,930	374	1,426	6,986	1,144
	塩 竈 市	3,533	100	462	2,453	518	3,346	97	446	2,306	497
	多 賀 城 市	3,142	146	449	2,297	250	2,960	142	432	2,142	244
	松 島 町	1,077	32	178	718	149	1,002	31	176	655	140
	七ヶ浜町	902	24	121	714	43	864	26	115	685	38
	利 府 町	1,845	88	269	1,252	236	1,752	78	257	1,194	223
	他 市 町	6	0	0	4	2	6	0	0	4	2

19 過去の主な救急事故（傷病者6名以上）

(人)

年 月 日 覚知時間	事故 種別	発 生 場 所	概 要	傷 病 程 度			
				死 亡	重 症	中等症	軽 症
平成2年 3月15日 10時17分	労 災	多賀城市栄二丁目地内 (東北ドック鉄工内)	ガス爆発	0	0	1	5
平成2年 3月20日 15時43分	交 通	利府町神谷沢字大谷地 地内(カメイスタンド前)	停車中の乗用車と 乗用車の追突	0	0	0	6
平成2年 10月29日 11時55分	交 通	松島町高城字明神地内 (レストラン四季亭前)	トラックと乗用車の 衝突	0	0	1	5
平成5年 5月16日 16時12分	交 通	塩竈市杉の入四丁目地内 (小野自動車前)	乗用車同士の正面 衝突	0	0	4	3
平成6年 2月14日 16時5分	交 通	松島町松島字石田地内 (パノラマライン入口付近)	路上凍結による乗 用車同士の衝突	0	0	1	5
平成6年 8月3日 17時00分	交 通	利府町菅谷字産野原地内 (ふくろうの森前)	乗用車の道路脇の 立木への衝突	0	0	0	8
平成8年 8月5日 10時2分	急 病	塩竈市一森山地内 (駐車場)	食中毒	0	0	7	0
平成8年 7月20日 21時7分	交 通	利府町利府字八幡崎地内 (モービル石油前)	右折車と後続車の 衝突	0	2	3	2
平成9年 6月28日 19時57分	交 通	松島町根廻字蒜沢地内 (東北本線トンネル内)	列車の脱線事故	0	0	5	6
平成9年 11月15日 15時7分	交 通	塩竈市東玉川町地内 (JR 塩釜駅南側)	乗用車の多重衝突 事故	0	0	0	6
平成11年 10月15日 16時44分	交 通	多賀城市市川字坂下地内 (市川橋付近)	バスと乗用車の正 面衝突	0	0	0	7
平成12年 3月6日 16時31分	交 通	塩竈市港町1丁目地内 (片倉チッカリン前)	ローリーと乗用車の 衝突	0	3	3	1
平成13年 7月15日 11時2分	運 動	七ヶ浜町吉田浜字野山地 内(陸上競技場内)	リレー競技中に転 倒	0	0	0	8
平成14年 1月3日 11時7分	交 通	松島町桜渡戸字麦田地内 三陸自動車道上	乗用車8台の衝突 事故	0	0	0	6
平成14年 1月6日 14時38分	交 通	利府町沢乙字寺下2-1 (にしむら整形外科前)	乗用車4台の玉突 き事故	0	0	0	7
平成14年 3月10日 0時8分	交 通	松島町初原字欠田地内 仙台松島線上	トラックと乗用車の 正面衝突事故	0	0	2	8
平成14年 7月2日 13時12分	交 通	利府町菅谷字長者前 (ホテルアイネ付近前)	乗用車同士の衝突 事故	0	0	0	7
平成16年 8月10日 ①7時22分 ②12時7分	急 病	利府町菅谷館10-1 (グランディー21合宿所内)	腹痛等を訴える学 生が多数発生	0	1	7	35
平成17年 5月22日 4時20分	交 通	多賀城市八幡一丁目3番地内 (国道45号線交差点付近)	RV車が横断中の歩行者 の列に突っ込んだもの	3	0	4	18
平成17年 11月14日 10時17分	交 通	塩竈市芦畔町10-1地内 路上	送迎車両と乗用車 の衝突事故	0	0	0	8
平成20年 5月19日 12時11分	交 通	松島町松島字町内98-1 松島観光桟橋	航行中の観光船が 暗礁に衝突したもの	0	0	2	8

(人)

年 月 日 覚知時間	事故 種別	発 生 場 所	概 要	傷 病 程 度			
				死 亡	重 症	中等症	軽 症
平成29年 5月28日 18時43分	交 通	多賀城市八幡一丁目7番地内 (国道45号線下り車線)	乗用車3台の玉突き 事故	0	0	2	5
平成30年 8月22日 12時45分	交 通	塩竈市北浜四丁目8地内 (相原酒店前交差点)	乗用車2台の衝突事 故	0	0	1	5
令和元年 8月1日 15時54分	交 通	多賀城市城南一丁目11番5号 (セブンコート付近)	トラックと乗用車の衝 突事故	0	0	2	4
令和元年 10月5日 10時26分	一 般	七ヶ浜町代ヶ崎浜字八ヶ森 (多聞山芝生公園)	蜂に刺されたもの	0	0	0	14
令和元年 12月18日 7時41分	労 災	塩竈市新浜町二丁目1番35号 (ホームセンター建設工事現場)	乗用車内で作業員3名が 待機中、クレーンが倒れ 下敷きになったもの	1	1	1	4
令和3年 7月12日 18時35分	急 病	多賀城市高橋五丁目6番1号 (仙台育英学園多賀城校舎)	吹奏楽部の部活動中、生 徒9名が熱中症の様な症 状(うち1名不搬送)	0	0	8	0
令和3年 12月18日 21時30分	交 通	多賀城市八幡三丁目5番地内 (ん寿司付近交差点)	軽乗用車同士の交 通事故	0	0	1	5

20 市町別救急活動支援出動状況

区 分	令和 6 年	令和 5 年	対 前 年 比	
	出動件数	出動件数	増減数	増減率%
合 計	285	175	110	62.9
塩 竈 市	100	63	37	58.7
多賀城市	68	25	43	172.0
松 島 町	43	38	5	13.2
七ヶ浜町	29	15	14	93.3
利 府 町	45	34	11	32.4

※ 救急活動支援：救急現場へ消防隊が出動し、医療機関へ迅速な搬送、救命率の向上と、現場活動における二次災害防止を目的に救急隊の活動支援を行うこと。

21 救急活動支援種別出動状況

区 分	令和 6 年	令和 5 年	対 前 年 比	
			増減数	増減率%
合 計	285	175	110	62.9
※CPA事案 (疑い含む。)	117	0	117	皆増
救急隊遅延	31	51	△ 20	△ 39.2
搬送困難	46	47	△ 1	△ 2.1
二次災害防止	57	57	0	0.0
そ の 他	34	20	14	70.0

※ 令和 6 年 4 月 1 日から支援種別に追加したものです。

CPA事案：通報時に心肺停止状態又は心肺停止に移行する可能性がある場合。

(疑い含む。)

救急隊遅延：通報時に心肺停止状態又は心肺停止に移行する可能性がある場合等に消防車が救急車よりも早く救急現場へ到着できる場合。

搬 送 困 難：救急現場が勾配や搬送まで距離等により搬送が困難な場合。

二次災害防止：交通事故等の救急現場二次災害の発生するおそれがあると判断した場合。

そ の 他：上記支援種別以外で、救急活動支援が必要と判断した場合。

第 7 編 救助統計



令和6年の救助概要

令和6年中における救助概要を見ると、出動件数は51件（対前年5件減）、救助人員は54人（対前年6人減）となっている。

出動件数を事故種別に見ると、建物等による事故が22件（対前年2件減）で最も多く、次いでその他の事故が12件（対前年2件増）の順となっている。

～事故種別の救助出動件数及び救助人員～

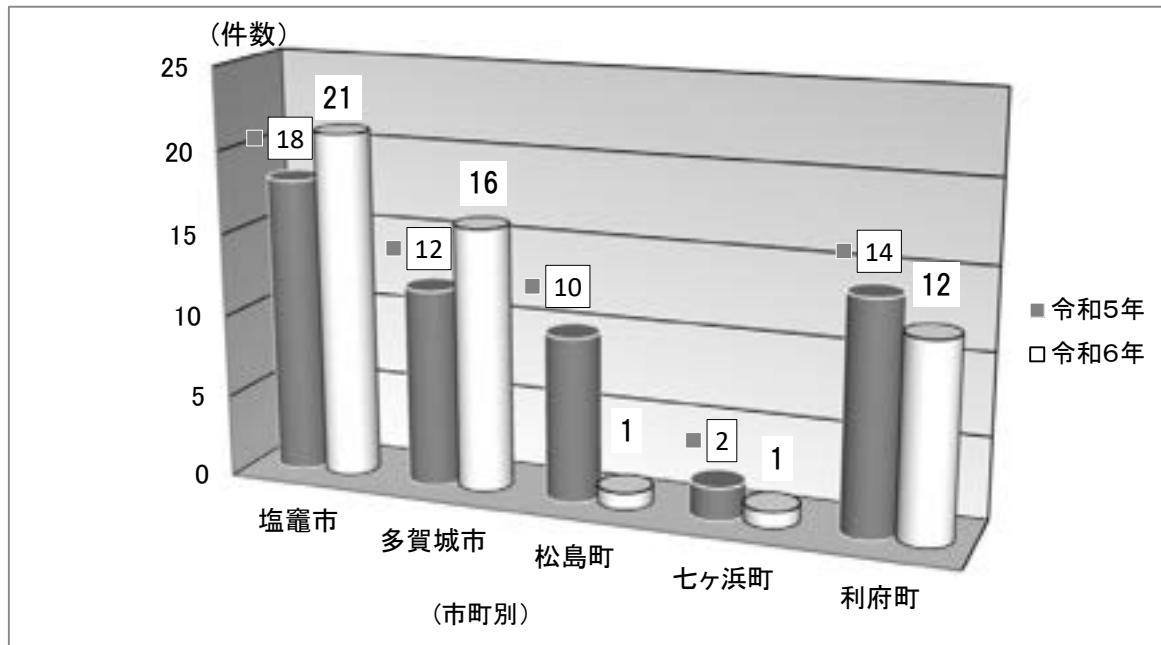
交通事故	10件	（前年12件）	13人	（前年13人）
水難事故	2件	（前年4件）	2人	（前年4人）
自然災害	0件	（前年0件）	0人	（前年0人）
機械による事故	1件	（前年2件）	1人	（前年2人）
建物等による事故	22件	（前年24件）	22人	（前年27人）
酸欠等による事故	0件	（前年0件）	0人	（前年0人）
火災	4件	（前年4件）	4人	（前年4人）
その他の事故	12件	（前年10件）	12人	（前年10人）
合 計	51件	（前年56件）	54人	（前年60人）

～市町別救助発生状況～

区 分		令和 6 年	令和 5 年	増減	合計	事故種別							
						火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	酸欠 事故	その他
合 計	出動件数	51	56	△ 5	51	4	10	2	0	1	22	0	12
	救助人員	54	60	△ 6	54	4	13	2	0	1	22	0	12
塩 竈 市	出動件数	21	18	3	21	0	2	2	0	0	11	0	6
	救助人員	22	18	4	23	0	4	2	0	0	11	0	6
多賀城市	出動件数	16	12	4	16	4	2	0	0	0	10	0	0
	救助人員	18	12	6	17	4	3	0	0	0	10	0	0
松 島 町	出動件数	1	10	△ 9	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	救助人員	1	10	△ 9	1	0	0	0	0	0	0	0	1
七ヶ浜町	出動件数	1	2	△ 1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	救助人員	1	2	△ 1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
利 府 町	出動件数	12	14	△ 2	12	0	5	0	0	1	1	0	5
	救助人員	12	18	△ 6	12	0	5	0	0	1	1	0	5
他 市 町	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

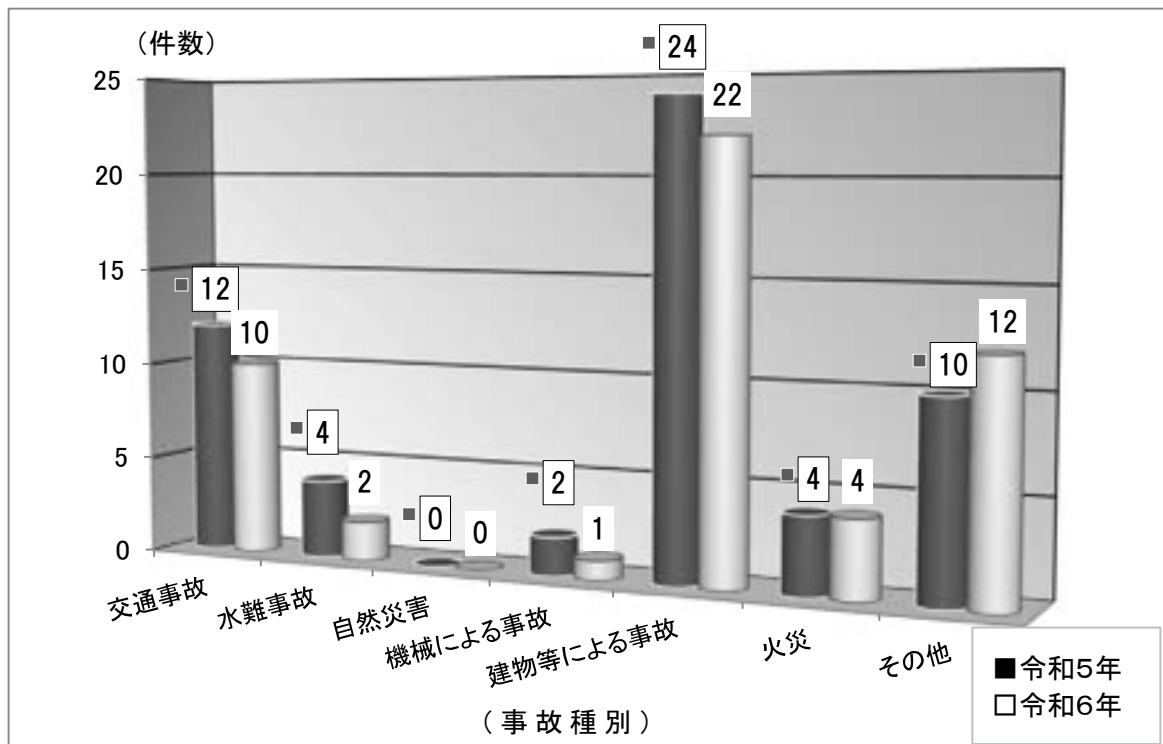
1 市町別出動状況

出動件数51件のうち、塩竈市が21件で最も多く、次いで多賀城市の16件、利府町で12件、松島町及び七ヶ浜町が各1件となっている。



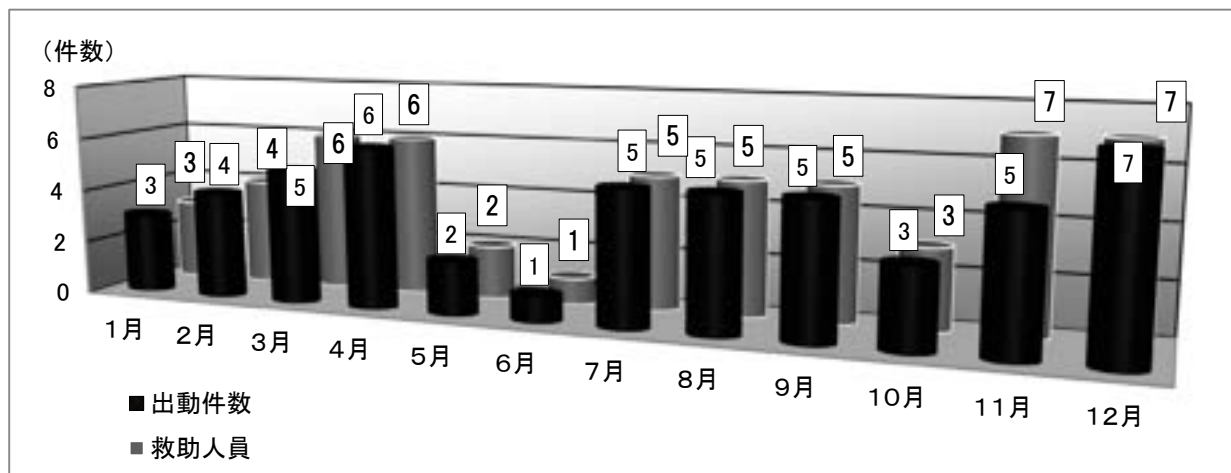
2 事故種別出動状況

建物等による事故が22件と最も多く、次いでその他の事故12件、交通事故10件の順となっている。



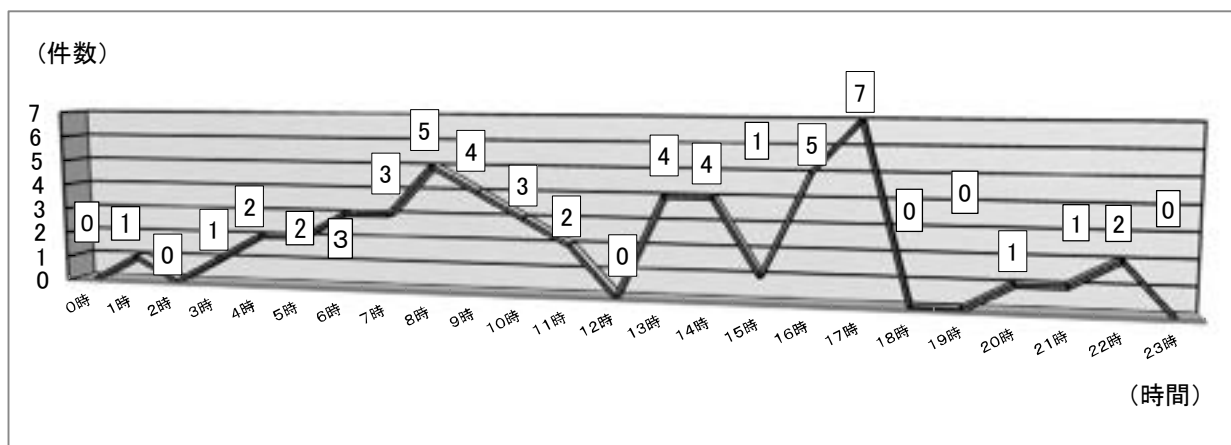
3 月別救助出動件数・救助人員

出動件数 51 件のうち、12 月が 7 件と最も多く、次いで 4 月が 6 件、7、8、9、11 月が同件数で 5 件の順となっている。



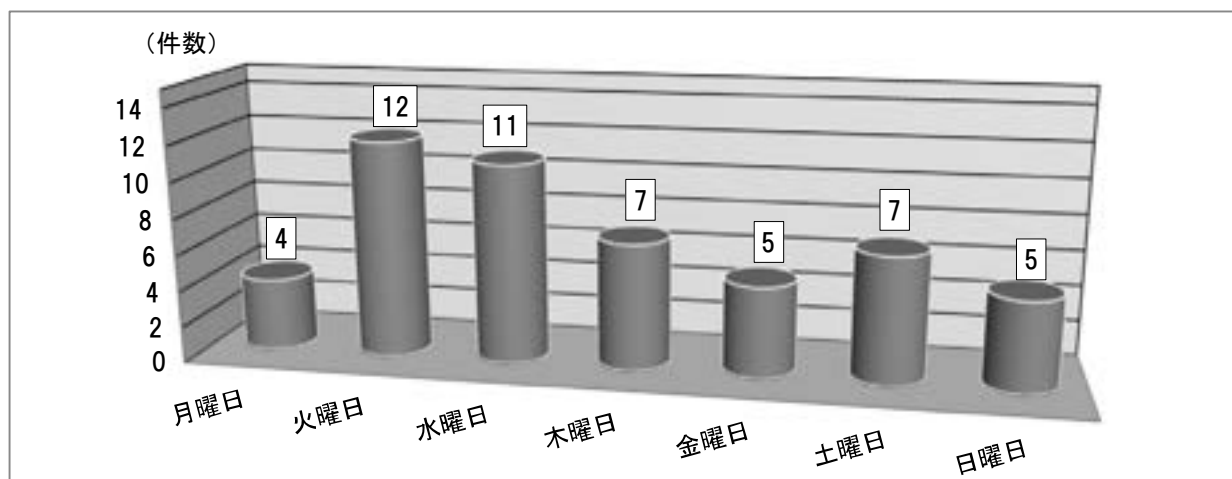
4 時間別救助出動状況

出動件数 51 件のうち、17 時台が 7 件と最も多く、次いで 8 時台、16 時台が同件数で 5 件の順となっている。



5 曜日別救助出動状況

出動件数 51 件のうち、火曜日が 12 件で最も多く、次いで水曜日が 11 件となっている。



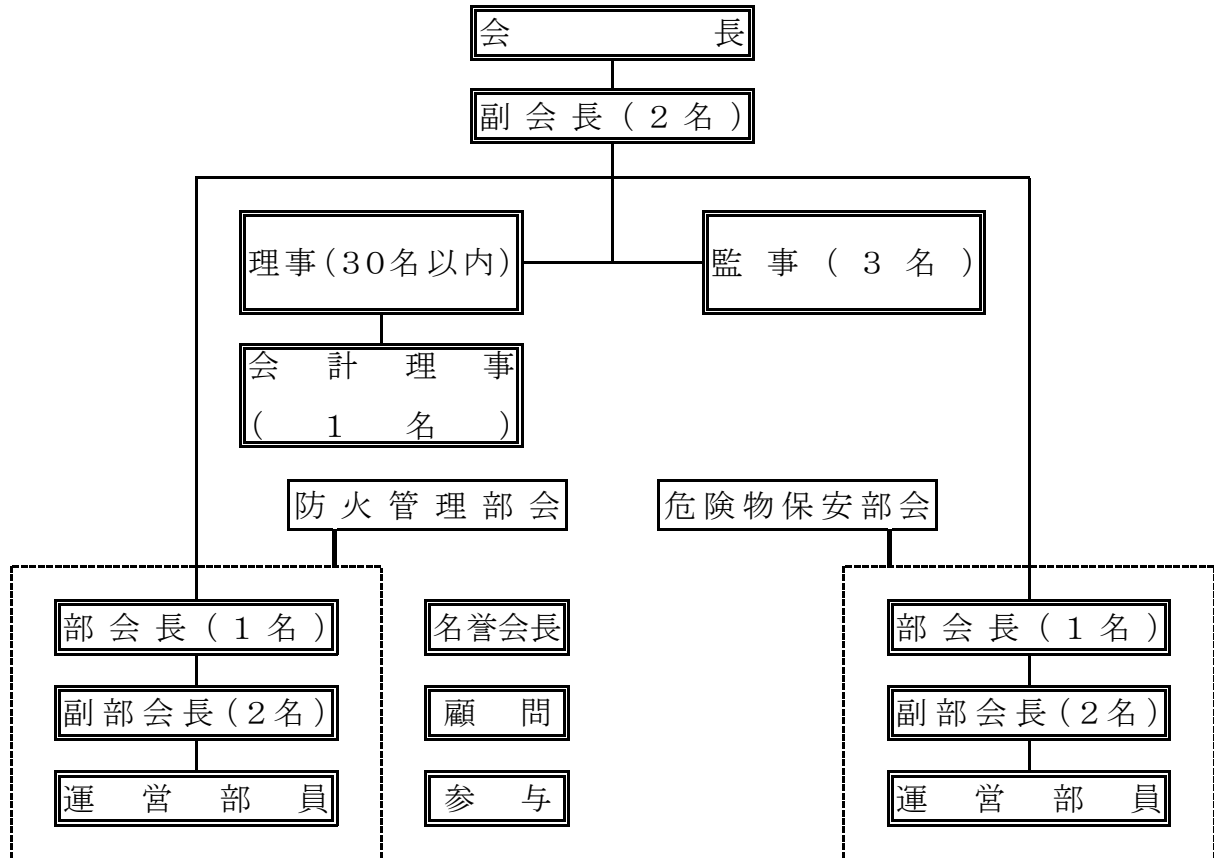
第8編 協力団体



塩釜地区防災安全協会

1 設 立 平成7年4月1日

2 組 織 機 構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 主たる事業

- (1) 防火知識及び危険物災害予防思想の普及に関する事項
- (2) 防火管理者及び危険物取扱者として職務知識及び技術の研究に関する事項
- (3) 火災等の原因及び損害結果を基礎とした予防対策に関する事項
- (4) 講演会及び講習会等の開催に関する事項
- (5) 参考資料、ポスター等の発行及び消防情報に関する事項
- (6) 会員相互の連絡協調に関する事項
- (7) 表彰に関する事項
- (8) その他、本会の目的を達成するために必要な事項

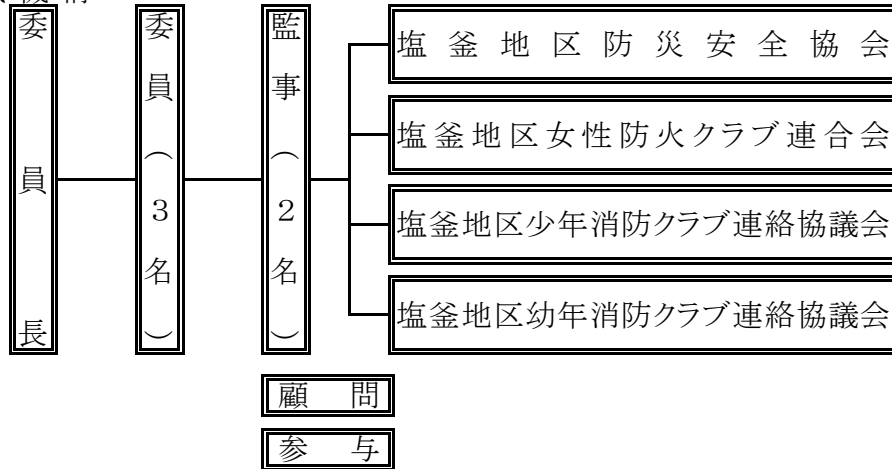
4 会 員 数 (R7. 4. 1) 正会員 534事業所(うち両部会入会 77事業所)

塩 竈 市	193事業所	多賀城市	145事業所
松 島 町	69事業所	七ヶ浜町	43事業所
利 府 町	75事業所	そ の 他 区	9事業所

塩釜地区防火委員会

1 設 立 昭 和 54 年 11 月 14 日

2 組 織 機 構



事 務 局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

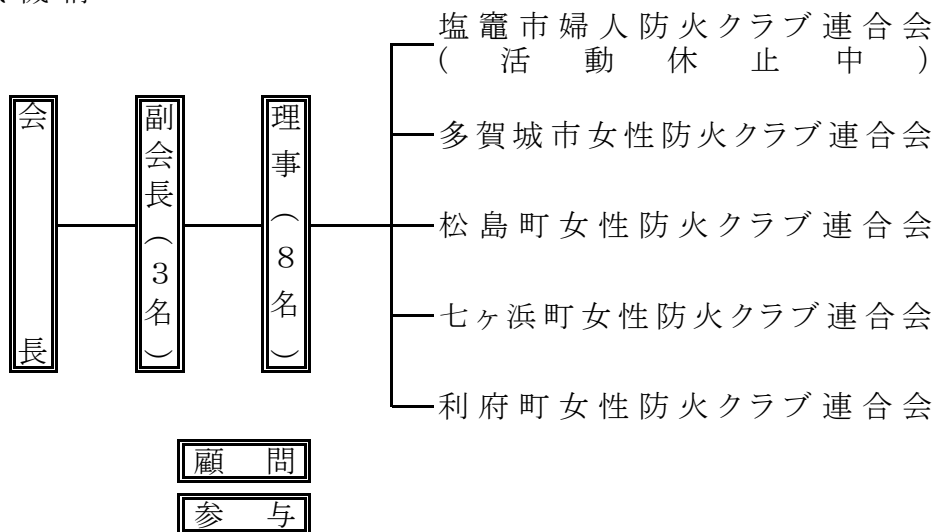
3 目 的

本会は、住民の自主防火防災組織としての幼少年消防クラブ及び女性防火クラブの組織拡大と強化を図るとともに、各クラブの運営指導について研究し、助言し、その健全な育成発展に寄与することを目的とする。

塩釜地区女性防火クラブ連合会

1 設 立 昭 和 50 年 4 月 1 日

2 組 織 機 構



事 務 局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 主たる事業

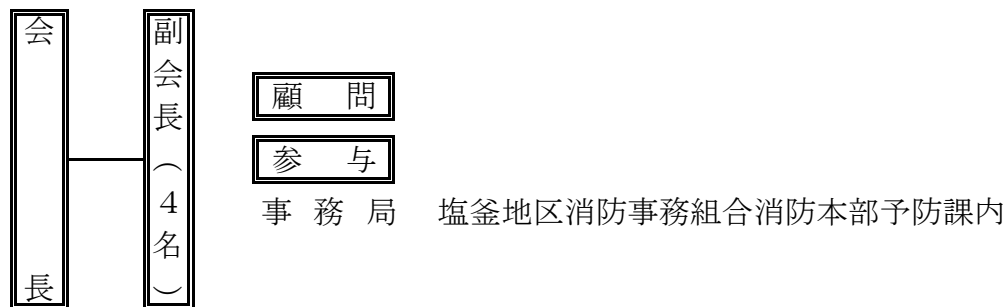
- (1) 家庭防火に関すること
- (2) クラブ相互の連絡協調に関すること
- (3) 指導者の育成に関すること
- (4) 関係当局、その他の消防関係団体との連絡及び協力に関すること
- (5) その他必要な事項

4 会 員 数 (R7. 4. 1)

会 員 51, 201名	塩 竈 市	50クラブ 0名	多 賀 城 市	28, 348名
	松 島 町	5, 756名	七 ヶ 浜 町	6, 942名
	利 府 町	10, 155名		

塩釜地区少年消防クラブ連絡協議会

- 1 設 立 平成3年12月13日
2 組 織 機 構

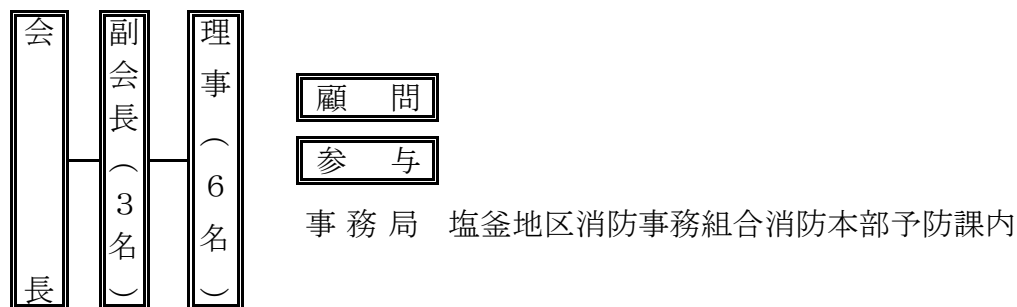


- 3 主たる目標
- (1) クラブの目的、活動について理解を深める
 - (2) 消防についての理解を深める
 - (3) 火災の恐ろしさを知って、防火意識を高める
 - (4) 防火についての心構えを知る
 - (5) 火災の時の処置を知り、身体で覚える
 - (6) クラブ員としての自覚を高める
 - (7) 救急の仕事と応急手当を知る
 - (8) その他必要な事項

- 4 会 員 数 (R7. 4. 1) 25クラブ
- | | | | | |
|-------------|-------|------|------|------|
| 会 員 1, 539名 | 塩 竈 市 | 390名 | 多賀城市 | 575名 |
| | 松 島 町 | 121名 | 七ヶ浜町 | 151名 |
| | 利 府 町 | 302名 | | |

塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会

- 1 設 立 昭和57年9月3日
2 組 織 機 構



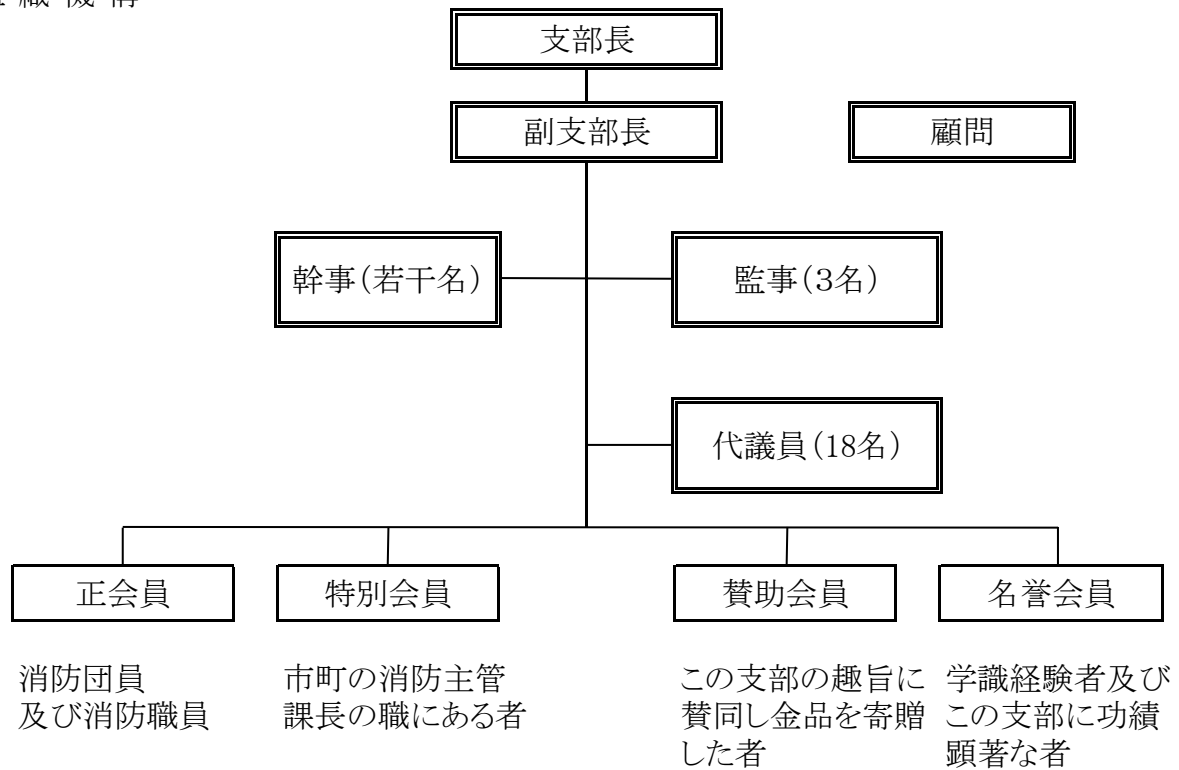
- 3 重 点 主 策
- (1) 火災予防に対する正しい認識を持たせる
 - (2) 火災予防のことを身体で覚えさせる
 - (3) 火遊び防止の徹底を図る

- 4 会 員 数 (R7. 4. 1) 52クラブ
- | | | | | |
|-------------|-------|------|------|---------|
| 会 員 3, 827名 | 塩 竈 市 | 759名 | 多賀城市 | 1, 575名 |
| | 松 島 町 | 234名 | 七ヶ浜町 | 314名 |
| | 利 府 町 | 945名 | | |

宮 城 県 消 防 協 会 塩 釜 地 区 支 部

1 設 立 昭 和 47 年 4 月 1 日

2 組 織 機 構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部警防課内

3 主たる事業

- (1) 消防機関相互の連絡及び事業に対する協力
- (2) 消防思想の普及徹底
- (3) 消防に関する調査・研究・指導
- (4) 消防機械器具及び関係資材の購入の斡旋
- (5) 消防機関会員及び消防功労者の表彰
- (6) 大災害地に対する支援の斡旋
- (7) その他この支部の目的を達成するための必要な事業

4 各市町団員数等 (令和7年4月1日現在)

分 団 数		団 員 数
塩 竈 市 塩 竈	4 分団	70 人
塩 竈 市 浦 戸	2 分団	48 人
多 賀 城 市	8 分団	141 人
松 島 町	6 分団	182 人
七 ヶ 浜 町	10 分団	177 人
利 府 町	5 分団	81 人
総 数	35 分団	699 人

令和7年度塩釜地区統一防火標語入選作品

【特 選】

「火の始末 気に掛け声掛け 再確認」

会社員 眞柄 裕也 さん

【入 選】 小学生の部

「気をつけて ほこりだらけの コンセント」

七ヶ浜町立亦楽小学校 6年生 渡邊 慶斗 さん

「火事ゼロの そんなミライを 作りたい」

塩竈市立第二小学校 6年生 佐々木 竜太郎 さん

「つながうよ 防火で笑顔 いい未来」

利府町立利府小学校 5年生 武藤 美咲 さん

一般の部

「命の火 消さないために 火の用心」

主婦 高川 朋子 さん

「消したはず 気になるあの火 再確認」

会社員 佐々木 淑寛 さん

第48回塩釜地区防火書道展最優秀作品

塩竈市立第一小学校
四年生 佐藤未来さん



利府町立利府小学校
五年生 渡邊美優さん



令和6年版
消 防 年 報
令和7年10月発行
編 集 塩釜地区消防事務組合消防本部
〒985-0021 宮城県塩竈市尾島町17番22号
T E L 022-361-0119
F A X 022-365-1190
メールアドレス soumu@sioshou.jp
ホームページ <https://www.sioshou.jp/>

本誌は、当組合ホームページにも掲載しています。



*SHIOGAMA
AREA*

塩釜地区消防事務組合

SHIOGAMA DISTRICT FIRE FIGHTING UNION partial-affairs-association